

リ官位ヲ受クルヲ能ハザラシムルノ議案ヲ可決シタリト雖モ上院ニ於テ之ヲ廢棄セリ翌年同一ノ議案再起シテ上下兩院共ニ之ヲ可決シタリト雖モ王ハ之ヲ制可スルヲ拒ミタリ然レモ王ノ治世ノ後年ニ至リ官吏ノ議員タルノ權ヲ剝奪セザル可ラストノ主義ハ漸ク行ハレ先ツ第一ニ租稅局ノ官吏ニ關シテ此主義ヲ實行セリ終ニ一千七百年ニ至リ制ヲ立テ、曰ク「ハノーヴル」家ノ君臨後ハ國王ヨリ官位若クハ利益ノ位置ヲ受タル者及び國王ヨリ年金ヲ受ル者ハ凡テ下院ノ議員タルヲ得ズト然レモ此法律ハ過嚴ニ失スル者ニシテ女王アンノ即位ノ初年ニ於テ未ダ之ヲ實行スルノ期ニ至ラザルノ前ニ之ヲ廢止セリ實ニ此法律ノ如キハ憲法政治ノ運轉ヲ妨グル者ニシテ若シ強ヒテ之ヲ

アンジョーシ
一世ジョーシ
二世ノ時ノ諸
條例

實行スルニ於テハ下院ト行政部トノ間ニ激争ヲ生シ到底下院ハ制勝ノ目的アラザル可キナリ按此條例ノ如クナルハ内閣員議院ニ列席スルヲ得ザルコトナル故ニ下院ト行政部トノ調和保ツ可ラズ是レ本文ニ憲法政治ノ運轉ヲ妨グル云々ト云フ所以ナリ女王アンノ時ノ王統承繼條例ニ因リ更ニ一種ノ制限法ヲ行ヘリ此制限法ハ以上ノ制限法ニ比スレバ王權濫用ノ弊害ヲ匡正スルニ適當ナリトス其趣意タル一千七百五十年月廿五日後ニ設ケタル新官職ニ就キシ者及國王隨意ノ期限ノ間年金ヲ受ル者ハ凡テ議院ニ出席スル能ハザルコトナシ又舊來ノ官職ヲ受ル所ノ國會議員ノ如キモ其官職ヲ受シ時ヨリ一旦議院ノ坐席ヲ辭セザルヲ得ズト雖モ此等ノ議員ハ再ヒ之ヲ選舉スルヲ得ル者トスルニ在リ蓋シ此

秘密ノ年金

後項ノ目的トスル所ハ一人ノ代議士ニシテ官職ヲ受ル者
 アルトキハ之ヲシテ其選舉人ノ承諾ヲ請ハザルヲ得ザラ
 シムルニ在リ此主義ハ爾後之ヲ改メントセシテ數回ニ及
 ビタリト雖モ尙ホ立法院ニ於テ斷シテ之ヲ維持セリ又委
 任職司ノ數ヲ増加スルコトニ關シテモ制限ヲ設ケタリ
 シヨ一シ一世在位ノ初年ニ於テ更ニ議院出席權剝奪ノ區
 域ヲ廣メテ定期ノ年金ヲ受ル者モ亦議院ニ出ルヲ得サ
 ルコトナセリ然レモ秘密ニ年金ヲ與フルコト行ハレシヲ以
 テ此法律ハ實際ニ効ヲ見ルコト能ハザリシナリシヨ一シ二
 世ノ時ニ至リ數度此法律ヲ實行セシコト謀リタリト雖モ
 毎子ニ行ハレザリキハリフツクス公ハ此等ノ議案ノ或者
 ナ討論スルノ際言テ曰ク秘密ニ年金ヲ與ルハ賄賂ヲ行フ

ノ最モ有害ナル方法ナリ賄賂ハ特ニ一事ノ爲メニ之ヲ與
 ル者ナリト雖モ年金ハ常ニ之ヲ與ル者ニシテ即チ永久ノ
 賄賂ナリトシヨ一シ三世即位ノ初年ニ於テ熱心ナル民權
 党ノ一人ロースフルル氏ハ五百磅ノ年金ヲ受ケ自家ノ
 主義ヲ賣リ氏ハ數年間此年金ヲ受タリ而シテ氏ガ年金ヲ
 受テ爲メニ其主義ヲ變シタルコトハ氏ノ死後ニ至ルマデ發
 覺セザリキ

一千七百四十
 二年ノ就官條
 例

然レモ下院議員ノ有シ得ベキ官職ノ數ヲ制限セントスル
 ノ政畧ハ固ク執リテ飽クマデモ之ヲ實行セントセリ就官
 條例ハ下院ニ於テ之ヲ廢棄セシテ三回上院ニ於テ之ヲ廢
 棄セシテ二回ニ及ビタリト雖モ一千七百四十二年ニ至リ
 終ニ國王ノ制可ヲ得ル所トナレリ上院ノ異議録中ニ當時

官職ヲ有スル所ノ下院議員ノ數ハ二百人ナリシヲ記セ
リ而シテ以上ノ條例ニ因リ更ニ數多ノ官吏ヨリ議院ニ出
ルノ權ヲ剝奪シタリト雖モ斯ク新クニ權利ヲ剝奪セラレ
タル官吏ハ重モニ官局ノ書記吏及ビ其他ノ屬官ニアリト
ス

此等ノ處置ニ因リ官職ノ過度ノ増加ヲ制シタリト雖モ尙
ホジョーシ三世ノ時ニ於テ其數ハ甚ダ多クシテ政府ハ議
院ニ於テ賛成ヲ得ンガ爲メノ手段トシテ官職ヲ授與シ殆
ド憚ル所アラザリキホレーヌ、ウオルポール氏ハ當時國會議
員ノ可否決ト官職トノ交易行ハレテ毫モ羞辱トセザリシ
ト一實例ヲ貯ヘタリグレンツル氏ハ書ヲウオルポール氏
ニ贈リテウオルポール氏ノ姪ナルフォルド公ヲセント、ゼーム

ジョーシ三世
ノ時ノ官職

スノ宮殿及ビハイドノ公園ノ監督官ニ任ゼンヲ申込タ
リグレンツル氏ノ書ニ曰クナルフォルド公ニシテ自カラ該
官ヲ欲スル者トセバ余ハ公及ビ公ノ明友ブロン氏ガ將來
誠實ニ余ノ主義ヲ贊助スルニ至ル可キヲ回信シテ疑ハ
ザルナリ又余ハ足下ニ於テモ從前ヨリモ屢々下院ニ出席
シテ余ノ主義ヲ贊スルナルベシト信ズルナリ斯ク云ヘバ
足下ニ對シテ賄賂ヲ行フニ似タリト雖モ此ノ如キハ正直
善良ノ人ト雖モ之ヲ行テ決シテ不可ナキ所ノ賄賂タルニ
過ヤザルナリト然ルニウオルポール氏ハ此申込ミヲ敢テ喜
バズシテ其交易ニ與カルヲ拒ミシカバ氏ハ出納局ニ奉
ズル所ノ公然ノ職務ノ爲メニ給料ノ受取ル可キ者アリシ
ト雖モ大藏省ニ於テ數月間其仕拂ヲ停止シタリ

一千七百八十
二年ロッキンガ
ム公ノ條例

當時國王ノ權力ヲ減ゼンコトヲ勉メシ所ノ民權黨ノ政治家
ハ國會議員ノ可否決ヲ動カサンガ爲メニ官職ヲ増加スル
ノ弊習ノ尙ホ行ハル、コトニ最モ着眼シテ痛ク之ヲ惡メリ
ロッキンガム公曰ク現今國會議員ニシテ尙ホ有シ得ベキ所
ノ多少ノ利益アル官職ノ數多クシテ此等ノ官職ハ恰モ富
講ノ褒賞籤ノ如キノ効アリ官職ヲ得ント欲スル所ノ人々
ハ褒賞籤ヲ得ンガ爲メニ富講ノ札ヲ購買スルト同様ノ目
的ヲ以テ議員ノ坐席ヲ購買セリ而シテ此富札ノ相場ハ褒
賞籤ノ多少ニ由テ高低スル者ナリト而シテ一千七百八十
年ニ於テボルク氏ガ下院議員ノ有スル所ノ三十九ノ官職
ト貴族ノ有スル所ノ十一ノ官職トヲ廢センコトヲ主張シタ
ルガ如キモ其目的ハ國財ヲ節約スルニアリト雖モ重モ

愛爾蘭ノ官職

ニ以上ノ弊害ヲ匡正セントスルニ在リシナリ一千七百八
十二年ロッキンガム公ハ王室年俸金ノ經費ヲ制規センガ爲
メニ設ケシ所ノ條例ニ因リ政府及ビ王室ニ關係スル所ノ
數種ノ官職ヲ廢止セリ蓋シ此等ノ官職ハ概テ國會議員ノ
有セシ所ナリトス而シテ又此條例ニ因リ秘密ノ年金ヲモ
廢止セリ
一千七百九十三年ニ於テ愛爾蘭ノ議院ハ英蘭ノ女王アン
ノ條例ト同一ノ主義ヲ取リテ該年以後國王若クハ國王代
理官ヨリ官職ヲ受ル者ハ凡テ議院ニ出席スルヲ得ザルコ
ト定メテ愛爾蘭ノ英ト合併スルニ及ビ從前愛爾蘭ノ議院ニ
出席スル能ハザリシ者ハ又合同王國ノ議院ニ出席スル能
ハザルコト定メ又更ニ他ノ愛爾蘭ノ官吏ヨリ議院出席ノ

更ニ權利剝奪ノ區域ヲ廣ムルヲ

權ヲ剝奪セリ
是ニ至リテ官吏ニ議院出席ノ權ヲ拒ムノ政畧ハ十分ニ行
ハレタリト雖モ議院ハ尙ホ足レリトセズシテ國會ノ條例
ヲ以テ任命セル新官吏ニモ此權ヲ拒ミタルヲ見レバ以テ
議院カ官吏ノ出席ヲ惡ムノ甚シキヲ証ス可キナリ而シ
テ議院ハ常ニ此政畧ヲ固執セシ者ニシテ現行ノ法律中議
院出席權剝奪ノ箇條ヲ有スルモノ二百餘ノ多キアリテ其
外同様ノ法律ニシテ既ニ其末期ニ達シテ消滅ニ歸シタル
者若クハ廢止セラレタル者亦多シトス
斯ク官吏ノ出席ヲ惡ミシカ故ニ下院ニ出席スル官吏ノ數
ヲ大ニ減ズルニ至レリジョージ一世即位來ノ第一回ノ國
會ニ於テハ官職、年金、非役ノ官職ヲ有スル所ノ議員ノ數ハ

裁判官ヨリ議院出席ノ權ヲ剝奪セシヲ

二百七十一人ナリシガジョージ二世ノ時ノ第一回ノ國會
ニ於テハ二百五十七人トナリシヨージ四世ノ時ノ第一回
ノ國會ニ於テハ更ニ減シテ八十九人トナレリ尤モ陸海軍
ノ士官ハ茲ニ算入セザル者トス而シテ下院ニ出席スル所
ノ官吏ノ數ハ官職ヲ廢止セルト之ヲ合併セルトノ爲メニ
更ニ減シ一千八百三十三年ニ於テハ文官及ビ年金ヲ有ス
ル議員ノ數ハ僅ニ六十八人トナリ陸海軍ノ士官ニシテ議員
タル者ノ數ハ八十三人トナレリ
議院出席權剝奪ノ政畧ハ今日ニ至ルマデ依然トシテ行ハ
レタリ英蘭ノ判事ハ國會ノ條例ニ因リ下院ニ出席スルノ
權ヲ剝奪セラレタリ而シテジョージ二世ノ時ニ至リ同一
裁判官ニシテ英蘭ノ者ハ出席セザルニ蘇愛二國ノ者ノ出

席スルハ公平ナラズト云フコト及ビ立法司法ノ職ヲ兼ヌル
 ハ憲法上允當ナラズトノ理由ニヨリ更ニ其剝奪ノ區域ヲ
 廣メテ蘇格蘭裁判所ノ判事ニ及ボシジョージ四世ノ時ニ
 及ビ更ニ愛爾蘭ノ諸法院ノ判事ニ及ボセリ一千八百四十
 年ニ至リ更ニ同一ノ主義ヲ海軍裁判所ノ判事ニ及ボセリ
 而シテ爾後新設セラレタル「エグイチ」諸裁判所ノ新判事ハ
 皆裁判所ヲ組織スル時ノ條例ニ因リテ議院出席權ヲ剝奪
 セラレタリ而シテ獨坐ノ判事ニシテ尙ホ下院ニ出席スル
 ノ權ヲ有スル者ハ一ノ記録判事アルノミ一千八百五十三
 年ニ至リ記録判事が獨有スル所ノ此例外ノ權ヲ剝奪スル
 ノ議案ヲ提出セシ者アリシト雖モマコーレー氏ノ有力ナ
 ル反對說ノ爲メニ此議案ハ廢棄セラレケリ(按英國ニ於テ
二種ノ裁判所

議院出席權ヲ
 剝奪スルハ政
 界ノ至當ヲ得
 シモノタルコト

アリコトハ習慣ニ據リテ裁判所ノ職ヲ兼スル者ニシテ此ノ裁判所
 若クハ普通裁判所ト云フハ其ハ必ズシテ此ノ裁判所
 シテ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所トシテ其
 明カナラザル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所トシテ其
 ノ裁判所トシテ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所
 裁判所トシテ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所
 即チ情事トシテ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所
 記以下各別々ニ其於テ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所
 官ニシテ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所
 有スルハ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所
 ザレハ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所
 リテ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所
 シテ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所
 獨坐ノ判事ト云フハ其ノ弊アル者ハ之ヲ確定シテ以テ裁判所
 此ノ如ク諸種ノ官吏ヨリ議院出席權ヲ剝奪スルハ議院ノ
 獨立ヲ保維センガ爲メニ止ムヲ得ザルノ處置ナリト思惟
 セラレタリ而シテ今日ニ於テハ此處置ニ依テ避ケント欲

スル所ノ危険大ニ減シタリト雖モ尙ホ此處置ノ至當ノ政
略タルコトハ世ノ公認スル所ナリ固ヨリ議院ノ獨立ヲ保維
センガ爲メニ官吏ヲ除却スルトキハ爲メニ優等ノ智識ヲ
下院ニ失フノ損害ナキニアラズト雖モ此損害ハ憲法上ノ
獨立ヲ買ハンガ爲メニ之ヲ受ル者ナレバ實ニ至當ノ處置
ナリト云ハザル可ラザルナリ

國會議員ニ對
シテ賄賂ヲ行
フ

然レモ往時ニ於テハ官位及ビ年金ヨリモ更ニ邪惡ナル手
段ヲ以テ議院ノ獨立ヲ傷害セリ即チ政治上ノ贊助ヲ得ン
ガ爲メニ直接若クハ間接ニ賄賂ヲ行ヒシト是ナリチャール
ス二世ノ時ヨリジョージ三世ノ時ニ至ルマデ我議院ノ歴
史ハ此醜行ノ爲メニ汚穢セラレタリ蓋シチャールス二世ハ
人ト爲リ賤劣ニシテ自カラ制スルコトヲ知ラザルノ人ナレ

ハ王ガ賄賂ノ手段ヲ行ヒタルハ固ヨリ怪ムニ足ラザルナ
リ而シテ王ノ治世ハ腐敗セル治世ニシテ賄賂ノ事最モ熾
ニ行ハレ國會議員ガ續々金錢上ノ賄賂ノ爲メニ誘惑セラ
ルハニ至リシハ實ニ當時ニ始マリシコトナリ「チュードル」家
ノ諸王及ビ「スチュアート」家ノ最初ノ二王ノ世ニ於テハ國王
ノ特權極メテ鞏固ナリケレバ斯カル手段ニ出ルヲ要セザ
リシト雖モ「チャールス」一世ノ敗亡ニ因リ國王特權ノ破壞セ
ラレシ後ハ不正ナル奸猾手段ヲ以テ之ヲ維持セントスル
ニ至レリ議員可否ノ決ハ從前ノ如ク畏懼心ノ爲メニ動か
サレズシテ今ヤ黃金ノ爲メニ動かサルハニ至レリ然ルニ
ゼームス二世ノ時ニ至リ王ハ議員ノ卑屈ナルヲ信ジテ再
ビ特權ヲ以テ支配セント欲シタリシカバ決シテ賄賂ノ陋

手段ヲ行フヲ爲サザリキ
 然レモ革命ノ時ニ及ビ此革命ハ憲法上ノ自由ヲ進ムルノ
 結果アリシニモ拘ラス又同時ニ賄賂ノ陋習ヲ再起シテ大
 ニ其甚シキヲ加ヘ且當時ノ事情ハ不幸ニシテ此陋習ヲ發
 達セシムルニ適シタリ革命ノ後國王ノ特權ハ更ニ狹縮セ
 ラレ隨テ議院ノ權カト事務トハ大ニ増加シタリト雖モ議
 院ヲシテ人民ニ對スルノ責任ヲ守ラシムルノ手段當時尙
 ホ未ダ行ハレザリシナリ下院ニ多數ヲ占ムルノ党ハ輿論
 ノ爲メニ制セラル、コナク選舉者ニ對シテ責任ヲ擔フコ
 ナク且門戸ヲ閉鎖シ内ニ在テ討論及ビ可否ノ決ヲ爲セシ
 ガ故ニ隨意ニ英國ノ政治ヲ左右スルヲ得タリ當時我憲法
 ニハ未ダ適當ニ其權カヲ支配スルノ制モナク又之ヲ制限

スルノ制モナカリシナリ而シテウヰリアム三世ハチャーレンス
 二世ノ行ヒタル如キ醜陋ナル處置ヲ自カラ行フヲ欲セザ
 リシト雖モ尙ホ他人ノ之ヲ行フヲ禁ズルコト能ハザリキ故
 ニ王ノ治世ハ他ノ諸点ニ於テハ自由ト國家ノ光榮トヲ進
 ムルノ傾向アリシト雖モ獨リ當時ノ政治家ノ品行及ビ政
 治上ノ德義ニ關スルノ點ニリ之ヲ見ルトキハ大ニ羞ツヘ
 キ者アリトス

是ニ繼グ所ノ三治世ニ於テ直接ニ賄賂ヲ受授スルコト依
 然トシテ行ハレケリ此事ハ議院ノ記録簿ニ就テ其實證ヲ
 見ルコト能ハズトスルモ尙ホ當時記者ノ録セシ所及ビ賄賂
 ノ行ハル、ヲ非トスル所ノ論難等ニ徴スルトキハ決シテ
 蔽フ可ラザルノ事實ナリトスロベルト、ウオルポール氏ノ執

政ノ時ニ至テハ賄賂ヲ行フコト常行ノ一制度トナリ之ニ
 因テ久シク下院ノ多數党ヲ宰相ニ服従セシメタリ氏ノ政
 敵カ氏ノ罪ヲ訴ヘタリト雖モ竟ニ之ヲ証明スルコト能ハザ
 リシハ實ニ然ルニ相違ナキナリ然レモ是レ唯下院新宰相
 上院ガ共ニ力ヲ尽シテ氏ノ罪ヲ蔽ハントセシニ由ルノミ
 而シテ証據人ハ問ニ答フルコト拒ミタリ蓋シ証據人ガ之
 ヲ拒ミタル者ハ若シ答ヲ爲ストキハ爲メニ後害アランコ
 ト恐レシニ因ル者ニシテ議院ニ於テ無害保証ノ條例ヲ可
 決セシナランニハ証據人ガ答ヲ爲スヲ拒ミシ所以ノ原因
 ナ除クテ得シナルヘシト雖モ上院ハ此條例ヲ可決スルヲ
 肯ンゼザリキ(按無害保証ノ條例トハ某々ノ事ヲ爲スモ決
 條例且ヤ賄賂ノ行ハルヤ顯著ニシテ蔽フ可ラザル者アリ

ビュート公ノ
 執政ノ時ノ賄
 賂

トスルモ尙ホ其實証ヲ得ルノ難キハ是ノ一事ニ如ク者ア
 ラズ是レ亦記憶セザル可ラザルコトナリトス
 斯ク賄賂ヲ行フノ制度ハジョージ二世ノ治世間ニ於テウ
 ルポール氏ニ繼テ内閣ニ立シ所ノ毎回ノ諸宰相ノ常ニ行
 ヒシ所ニシテヘンリー・ペルハム氏ノ執政ノ時ニ至リ此制
 度完成セリト云ヘリ
 ジョージ三世ノ時代ニ論入スルニ及ビ若シ政治上ノ此陋
 習ノ行ハレタル形蹟ヲ見ルコト能ハザラシメハ實ニ至幸ノ
 事ナリト雖モ不幸ニシテ當治世ノ初年ニ於テ既ニ此陋習
 ノ最モ甚シキ實例ヲ現ゼリビュート公ハロベルト・ウールポ
 ル氏ノ術ヲ學ビ賄賂ノ手段ヲ以テ自家ノ權力ヲ維持セン
 ト決心シ且此手段ヲ巧ニニ實行センカ爲メニウールポール

氏ノ機關トナリテ此事ニ煉熟セルヘンリー・フックス氏ニ
 貴族ノ爵ヲ與ルノ約ヲ爲シ以テ氏ヲシテ之ニ尽力セシメ
 タリ而シテヘンリー・フックス氏ニ委託セル職務ハ下院ヲ
 取扱フノ職務ト稱セラレテ世人ノ親シク知ル所ナリ(按ヘ
 一、フックス氏ハ夫ノ民權党ノ領袖トナリテピット氏ニ反
 對シタル有名ナル政治家チヤールズ・フックス氏ノ父ナリ
 一千七百六十二年十月グレンヰル氏ハビニート公ニ説テ曰
 ク下院議員ノ要求ト催促トニ對シテ答辨ヲ爲シ得ルニ非
 ザレハ下院ニ於テ事ヲ行フニ甚タ難シト而シテ此困難ハ
 直ニ十分ニ之ヲ除クヲ得タリ(按グレンヰル氏ノ此語ハ下
 履行スルニ非ザレハ其贊助ヲ得ル能ハザルヲ云フ者ニシ
 テ即チ氏ノ説ニ從ヒ賄賂ヲ與ヘタルガ爲メニ其困難ヲ除
 クヲ得タル也
 ホーリス、ウオルポール氏ハビニート公ガ佛國ト平和ノ
 假條約ヲ締盟シタルノ處置ニ對シテ贊助ヲ得ンガ爲メニ

一千七百六十二年十二月ニ於テフックス氏カ議員ノ可否
 決ヲ購買シタルコトニ關シテ驚ク可キノ一話ヲ爲セリウ
 ルポール氏ノ言ニ曰ク官金支出ノ事ヲ司ル官局中ニ於テ
 公然賄賂ノ店舗ヲ開キ國會議員ハ爭テ茲ニ群集シテ平和
 ノ條約ニ關スル可否決ヲ爲スニ於テ政府ニ服從シタルコ
 ノ報酬トシテ銀行紙幣ヲ受取リタリ而シテ僅ニ二百磅ノ
 代價ヲ以テ可否ノ決ヲ賣リシ者アリ當時大藏書記官タリ
 シマーチン氏ガ後ニ至リ自ラ明言セシ所ニ據レハ一朝ノ
 間ニ二万五千磅ヲ支出シタリト云フ而シテ僅ニ二週間ニ
 シテ平和ノ條約ヲ可トスルノ党ニ非常ノ多數ヲ得タリト
 スタンホープ公ハ全ク以上ノ一話ヲ否拒センコト欲スル
 ノ人ナリト雖モ尙ホフックス氏ガロベルト、ウオルポールノ

術ヲ學ビシ輩中最モ慮慮セザルノ人ニシテ且ツ此時賄賂
 ナ行ヒシニ非ザルニシテ他ニ平和説ニ多數ヲ得タルノ理
 由ヲ見ル能ハザルコトヲ許諾セリ思フニ以上ノ一語ハ過言
 ニ失スル者アルナル可シト雖モフックス氏ノ人下爲リト
 其議院内ノ交際トニ徴スルトキハ此一語ハ實説ナラント
 思ハシムル者アリトス且ヤ此一語ハ他ニ証ナキニアラズ
 シテホレノス、ウオルポール氏ノ説話中ノ疑ハシキ點モ爲メ
 ニ益々明ナルヲ得タリグレンヅガル氏ノ手記中ニ一千七百
 六十一年ヨリ一千七百六十九年ニ至ルマデ秘密服務ノ爲
 メニ費シタル金額ヲ記セル者アリ而シテ該手記ニ記スル
 所ニ據レバ一千七百六十二年十月二十五日ヲ以テ終ル所
 ノ一週年間ニ於テ秘密服務ノ費ニ供セシガ爲メニ大藏省

書記官マーチン氏ニ拂渡シタル金額ハ一万磅ナリトアリ
 又其翌年中拂渡シタル金額ハ四万一千磅ニ下ラズトアリ
 而シテホレノス、ウオルポール氏ノ一語ハ實ニ該年ノ事ニ係
 ル者ナリトス
 又ビニート公ノ執政年間ニ於テ秘密服務ノ費ニ供シタル金
 額ノ總計ヲ見ルモ前後ノ年間ニ比シテ大ニ超過スルアル
 ナ知ル可キナリ一千七百六十一年十月二十五日ヲ以テ終
 ル所ノ一週年間ニ於テ秘密ノ服務ニ費シタル金額ハ五万
 八千磅ナリキ而シテビニート公ノ内閣ニ入リシハ一千七百
 六十二年五月二十九日ニシテ同年十月二十五日ヲ以テ終
 ル所ノ一週年間ニ於テ秘密服務ノ費ニ供シタル金額ハ俄
 ニ増加シテ八万二千二百六十八磅トナレリ翌年四月ニ至

リビ^ニ下公内閣ヲ退キシガ同年ノ秘密服務費ノ額ハ減ジ
テ六万一千磅トナレリ一千七百六十四年ニハ更ニ減シテ
三万六千八百三十七磅トナリ同六十五年ニハ又更ニ減シ
テ二万九千三百七十四磅ニテアリシ

グレンヅ^非ル氏
執政ノ時ノ賄
賂

グレンヅ^非ル氏ノ内額ハ賄賂及ビ贈與ヲ行フ^フビ^ニト公ノ
内閣ノ如ク濫ナラズト雖モ尙ホ常ニ之ヲ行ヒテ殆ド制ス
ル所ナク國會議員ニ贈與ヲ爲スハ通常ノ禮ナリトセシモ
ノ、如シ賄賂ヲ與ベ^ント申込ムモ罪トナラザルノミナ
ラズ若シ先方ニ於テ之ヲ受納スル^ト拒ミシトキハ却テ
其理由ヲ宰相ニ辨解セザル可カラザル如クニ思惟セシモ
ノト見ヘタリグレンヅ^非ル氏ノ手記中ニ於テセ^ー公ヨリ氏
ニ與ヘタル當時事情ノ一端ヲ徴スベキ一書ヲ發見スルヲ

得タリ蓋シ此書ノ如キハ當時宰相ト宰相ヲ贊助スル所ノ
議員トノ關係ノ如何ナリシカヲ示スモノト云フ可シ其書
即チ左ノ如シ

尊君ヨ、予ハ今朝足下ガ面談ノ自由ヲ許セシヲ喜ビ足下
ニ對シテ深ク感謝ノ至リニ堪ヘザルナリ余ガ之ヲ喜ブ
コトハ予ガ其節受納セシ所ノ金錢ノ惠與ヲ喜ブニ比シテ
遙ニ優レルヲ覺ユルナリ予ガ決シテ前言テ食マザル^コ
ヲ証センカ爲メニ今朝足下ガ惠與セシ所ノ三百磅ノ手
形ヲ封入シテ之ヲ足下ニ返呈ス余ガ今朝之ヲ受納セシ
ハ足下ガ折角ニ惠與セル者ヲ面前ニ於テ拒ムハ禮ヲ失
スル者ト思惟シタレバナリ尊君ヨ請フ予ノ性硬直ニシ
テ之ヲ受納スル能ハザルヲ答ル^コ勿レ

予ハ國王及び現内閣ニ列スル所ノ國王ノ党友ニ對シテ
 予ノ微力ナル贊助ヲ與フルガ爲メニ決シテ報酬贈與等
 ナ受ルヲ要セザルヲ猶ホ自由ナル馬ニ向テ距針ヲ加
 フルヲ要セザルガ如キノミト
 然レモグレンヅル氏ハ當時秘密服務ノ費ニ供スベキ金額
 ハ従前ノ内閣ニ比スレバ甚ダ少額ニシテ十分ナラザルコ
 ナ歎シタリ蓋シ氏ガ之ヲ歎ゼシハ至當ノ歎ト云フ可シ
 ノルス公執政ノ間ニ於テハ直接ニ金錢上ノ賄賂ヲ行テ議
 員可否ノ決ヲ購買スルコトハ一層常行ノ事トナルニ至レリ
 王ガ此等ノ謀ニ與ルコトハ常ニ世ノ之ヲ疑察セシ所ナリシ
 ガ今ヤ露白シテ蔽フ可ラザル所トナレリ一千七百八十
 一年三月一日王ハノルス公ニ書ヲ與ヘテ曰ク朕ハロビンソ

ノルス公執政
 ノ時ノ賄賂

シヨリ前夜議院ニ於テ演說セシ者ト多數党ニ列スル議員
 トノ名簿ヲ受タリ而シテ朕ハ八月二十一日ニ下賜セシ金
 額ト同様ノ目的ニ使用セシガ爲メニ今朝更ニ六千磅ヲ彼
 レニ下賜シタリト此書ヲ見ルトキハ王ガ下院ニ於テ自家
 ノ爲メニ戰フ所ノ宰相ノ党ニ多數ヲ得ンガ爲メニ常ニ通
 貨ヲ下賜シタル者ト斷定スルノ外ナキナリ一千七百八十
 二年ノルス公ガ其職ヲ退クニ及ビ四月十八日王ハ再ビ書
 ナ與ヘテ曰ク朕ハ又ロビンソヨリ贈與ヲ爲シタル貴族
 ノ名簿ヲ調製シテ之ヲ大藏長官ニ示ス可シ然レモ大藏長
 官ハ自家ノ權勢ヲ頼ミテ此事ヲ依然トシテ行フヲ拒ムコ
 トナキヤ否ヤ朕之ヲ確言スル能ハザルナリ又下院議員ヘ
 ノ贈與ハ最早之ヲ與フルヲ能ハザルナリ議員ニシテ若シ

爾後賄賂ノ弊ノ減セシム

之ヲ欲セバ其事ヲロッキンガムニ謀ルモ可ナリ然レモロッキンガムが曾テ朕ニ云ヒシ所ニ由テ之ヲ考ルトキハ彼レ必ズ此等ノ要求ヲ拒ミ其他下院ニ於テ新クニ要求ヲ爲ス者アルモ皆之ヲ拒ムナラント思ハル、ナリト

王ノ此語ニ徵スルトキハ直接ニ賄賂ヲ行フノ制度ハノルス公ノ退職後久シカラズシテ廢セラレタルモノ、如クニシテ稍弊習ヲ改良スルニ至ルノ望アリト云フ可シ蓋シ爾後ト雖モ此事全ク廢セラレシニアシズシテ特別ノ場合ニ於テハ時ニ之ヲ行ヒシナルベケレモピット氏ノ内閣ハ大權ト人望トヲ有セシテ以テ又斯カル手段ニ依ルヲ要セザルナリ國王ハ既ニ諸政黨ヲ壓服シテ無上ノ權力ヲ占有シタリ而シテピット氏ハ自家ノ黨友ニ爵位ヲ濫與シテ惜ム

公債及ヒ富講

ナカリシト雖モ尙ホ其人ト爲リ高尙ナル者アリテ賄賂ノ手段ヲ以テ自家ノ党中賤陋ナル者ノ卑劣心ヲ增長セシムルガ如キハ決シテ氏ノ敢テ爲サ、リシ所ナリトス

ジョージ三世即位ノ初年ニ於テ國用ニ供センガ爲メニ公債若クハ富講ノ方法ニ因リテ通貨ヲ募ルハ又不正ヲ行フノ一手段トナルニ至レリ此等ノ手段ニ因リテ偏頗ヲ行フハ金錢上ノ贈與ヲ行フガ如クニ直接ノ賄賂ニ非ズト雖モ其實証ヲ得ルハ却テ易シトス何トナレハ金錢上ノ賄賂ハ秘密ニ之ヲ行フト雖モ公債及ビ富ノ應募切符ヲ分配スルハ公然ニ行フ者ナレハ也一千七百六十三年三月ニ於テピット公ハ國用ニ供センガ爲メニ三百五十万磅ノ公債ヲ募集シ其應募切符ヲ自家ノ黨友ニ分配セリ而シテ其切符

一千七百六十三年ピット公ノ募集セル公債

ノ相場ハ直ニ一割一分ノ増打ヲ生スルニ至レリ此ノ如ク
 應募者ニ格外ノ利益アル方法ヲ以テ公債ヲ募集シタルハ
 算ヲ誤ルノ甚キモノニシテ決シテ公正ノ目的ニ出タリト
 思惟スル能ハザルナリ而シテ當時ノ習慣ニ於テハ何人ニ
 應募切符ヲ分配スルモ是レ全ク宰相ノ自由ニ屬シテ毫モ
 制セラレ、所アラザリシナリ以上公債募集ノ時政府ハ三
 十八万五千磅ノ損失ヲ蒙リ宰相ハ政府ノ費用ヲ以テ自家
 ノ党友ニ私シタリトテ公然非難セラレタリ蓋シ義ニフツ
 クス氏カ銀行手形ヲ議員ニ贈與シテ爲メニ大ニ其心ヲ動
 カスノ効アルヲ發見セシガ故ニ今又宰相ノ權力ヲ支持
 センガ爲メニ更ニ大仕掛ノ方法ヲ以テ不正手段ヲ行ヒタ
 ル者ナリ此不正ナル公債ノ爲メニ數多ノ國會議員ノ之ニ

一千七百六十
 七年グラフト
 ン公ノ募集シ
 タル公債

利益セシ者アルハ蔽フ可ラザル所ニシテ又政府党ニ於テ
 モ敢テ之ヲ蔽ハンコト勉メザリシナリ
 以上ノ手段ハ大効アリシヲ以テ速ニ其好味ヲ忘ラルベシ
 トハ思ハレザルナリ故ニ公債ノ取引ハ大ニ行ハル、所ト
 ナリ數多ノ國會議員ハ著シク此事ニ從事セリ此等ノ弊習
 ノ事ヲ記述セル重モナル歴史家ホレース、ウオルポール氏ノ
 説ニ據レハ一千七百六十七年ニ於テ此等ノ取引ニ從事セ
 ル國會議員ノ數ハ六十人ニシテ大法官ノ如キモ亦之ニ從
 事セリト云ヘリ又同時代ノ一記者ジョーシ、コールブル
 ク氏モ當時行ハレタル此驚ク可キ不正ノ處置ニ關シテ同
 様ノ一語ヲ記シタリ氏ノ説ニ曰クグラフトン公ハ公債募
 集ノ事ヲ内談センガ爲メニ府内數名ノ重モナル紳士ヲ招

キテ響應ノ醜ヲ爲セリ此時タウンゼント氏ハ寝衣ヲ着シ
 然ルマ、ニテ此席ニ臨ミ醜ヲ終リテ公債募集ノ約條ヲ一
 決シ其席ニ臨メル人々ハ皆應募者ノ名簿中ニ自家ノ朋友
 ナ加ヘントスルニ際シ氏ハ恰モ應募金ノ幾何ニ達セシカ
 ナ計算スルガ如クニ見セカケ應募金ハ既ニ全額ニ滿チタ
 リト云ヒテ自家ノ書付ヲ投棄テ退テ椅子ニ就キタル後去
 テ歸宅セリ而シテ氏ハ此計畧ニ因リ公債ノ多分ヲ自家ノ
 一手ニ引受ケタリト

富講ノ一

數年後ニ至リ他ノ方法ヲ以テ同一ナル不正手段ノ行ハル
 事ヲ暴露セリ當時歳入ヲ得ルノ一泉源トシテ富講ヲ催ス
 事ハ政府ノ常ニ行ヒタル處置ニシテ政府ガ數多ノ國會議
 員ニ富札ヲ配付セシマハ一千七百六十九年及ビ同七十年

ノ應募者ノ名簿ニ徴シテ明瞭ナリトス一千七百七十一年
 四月二十三日セイモル氏ハ該年ノ富ノ募集ニ應セシ者ノ
 名簿ヲ求ルノ動議ヲ提出シ且之ヲ求ムルノ理由ヲ論ジテ
 曰ク一千七百六十九年ノ應募者ノ名簿ニ就テ之ヲ見ルト
 キハ國會議員ニ配付セシ富札ハ二万枚ニシテ此等ノ富札
 ハ一枚ニ付二磅ノ増打ヲ以テ賣買セラレタリト然レモ氏
 ノ請求ハ拒絕セラレタリ四月二十五日コロンウオール氏ハ
 國會議員ニシテ二十枚以上ノ富札ヲ受ルヲ禁ズルノ議ヲ
 出ダセリ氏曰ク余ハ國會議員中各五百枚ノ富札ヲ購買セ
 シ者五十人アリテ此等ノ議員ハ爲メニ一千磅ノ利益ヲ収
 得シ且何レモ宰相ヲ賛成スルノ決ヲ爲セリトノ確報ヲ得
 タリト而シテ此議モ亦敗レタリ

一千七百八十一年ノルス公債ノ募集セル公債

一千七百八十一年ニ至リノルス公ハ夫ノビート公ガ不正ノ公債ヲ募リタルト同様ノ事ヲ再ビ行ヘリ蓋シ不幸ナル亞米利加戰爭ノ費用ニ供センガ爲メニ一千二百万磅ノ公債ヲ募集シ此中一部ハ富講ノ方法ヲ以テ之ヲ募集スルニ決セリ而シテ此公債募集ノ約條ハ非常ニ應募者ニ利益アルノ方法ナリシヲ以テ應募切符ハ殆ト一割一分ノ増打ヲ生シタリ是ヲ以テ世人宰相ヲ非難攻撃シ又議院ニ於テモ宰相ハ故意ニ不正ヲ行ヒタル者トシテ其行爲ヲ咎責セリ而シテ斯ク宰相ヲ咎責セシ人々ハ決シテ無名ノ輩ニ非ズシテロッキンガム公フオックス氏ボルク氏ビンク氏ジョーザヴィル氏ヲ首トシテ其他政府反對党中ノ高名ナル人々ナリトスフックス氏ノ計算ニ據レハ此公債ノ爲メニ九十万磅

ノ利益ヲ生ズ可シト云ヘリ又他ノ一説ニ據レバ此公債ノ半額ハ下院議員ニ於テ之ヲ購買セリト云ヘリロッキンガム公曰ク此公債ハ國會議員ニ賄賂ヲ行ヒ之ヲシテ邪惡無謀ニシテ且大損アル戰爭ヲ贊助セシメソガ爲メニ之ヲ募集セシニ外ナラザルナリトフオックス氏ハ屢々公言シテ曰ク下院ノ議員ニ贈與ヲ爲サンガ爲メニ巨大ノ金額ヲ宰相ノ手ニ托セリ是レ下院ノ多數ヲ制シ且之ヲ維持シテ以テ不良ナル内閣ヲ鞏固ナラシムルノ手段トシテ之ヲ行フ者ナリト
此不正手段ヨリ生ズル弊害ノ最モ甚シキ者ハ過度ノ費用ヲ國民ニ蒙ラシムルコト是ナリ若シ國會議員ニ賄賂ヲ行フ者トスル以上ハ拙ナル方法ヲ以テ公債ヲ募集センヨリ寧

巧ミニ銀行帑幣ヲ配與スルノ廉ナルニ加カズトスビエト
ト公ハ平和ノ假條約ヲ可トスルノ説ニ多數ヲ得ンガ爲メ
ニ三四万磅ヲ費セリ然ルニノルス公ノ經驗セル手段ノ爲
メニハ殆ド一万磅ノ負擔ヲ國民ニ課シタリ蓋シ人民ノ代
議士ニ賄賂ヲ行テ之ヲ誘惑スルガ如キハ是レ既ニ惡事ナ
リ然ルニ又此惡事ヲ行ハンガ爲メニ斯カル巨大ノ負擔ヲ
人民ニ課スルニ至テハ是レ惡事ヲ加重スルノ殘酷ノ處置
ナリト云フ可シ

ノルス公ハ一千七百八十二年ニ至リ更ニ公債ヲ募集シタ
リト雖ヒ此時ニハ再ビ以上ノ不正ノ處置ヲ行フヲ爲サ
リキ然レヒ特ニ有限ノ人々ニリ公債ヲ募集スルノ新制度
ヲ行ヒ爲メニ自家ノ党友ヲシテ失望セシメタリ此募集法

一千七百八十
二年ノルス公
ノ募集セル公
債

ピット氏以上
ノ弊習ヲ匡正
スルヲ

ノ如キモ世ノ非難ヲ免ル、ヲ得ザリシト雖是レ實ニ現今
行ハル、所ノ入札ヲ以テ公債ノ應募ヲ申出サシムル方法
ノ萌芽ナリトスピット氏ハ公債及ビ富講ヲ催シテ不正ヲ
行ヒタル從前ノ制度ヲ痛ク惡ミ氏ガ一千七百八十四年ニ
於テ内閣首相トナリテ自カラ財政ノ局ニ當リ其業ニ着手
スルヤ氏ハ以上ノ弊習ヲ匡正スルニ有効ナル手段ヲ取レ
リピット氏ノ傳記ノ撰者ニシテ氏ノ朋友ナルトムリン氏
ガピット氏ノ意見ナリトシテ記スル所ニ徴スルキハ以上
ノ弊習ノ事ニ關シテ世ニ傳ル所ノ説ハ決シテ過言ニアラ
ズト斷ゼザルヲ得ザルナリ氏ノ傳記中ニ曰クピット氏ハ
曾テ政府反對党中ニ在リシキ從來ノ諸宰相ガ市價ヨリモ
廉ナル相場ヲ以テ公債及ビ富ノ應募札ヲ自家ノ私友又ハ

政府ヲ贊助スル所ノ國會議員ニ配付シタルコト大ニ難駁
セリ而シテ今ヤ氏ハ公債ヲ募リ及ビ富講ヲ催スノ新制度
ヲ採用セリ其方法ハ如何ナル約條ニテ公債ノ募集ニ應ズ
可キ乎チ數多ノ人々ヨリ封狀ヲ以テ入札セシメ此等ノ人
々ヲ會シテ其面前ニ於テ此入札ヲ開クナリ故ニ此方法ヲ
施スルハ應募人ノ競争ニ因リ時ノ事情ニ於テ行ヒ得ベキ
最廉ノ約條ヲ以テ公債ヲ募集スルノ利益アルノミナラズ
又一個人ニ私愛ヲ賣リ及ビ宰相ノ權勢ヲ增加スル等ノ弊
源ヲモ塞グコトヲ得ルナリト即チ此方法ニ因リ最廉ノ應募
者ヲ擇ンデ之ヨリ公債ヲ募集ス可キナリ而シテピット氏
ハ一志タリトモ之ヲ自家ノ党友ニ配付セザリシヨチ下院
ニ保証スルヲ得ルノ位置ニ立タリト云フ

政府ノ請負人

茲ニ至リ議院ニ行ハル、今一ノ弊習ヲ記セザル可カラズ
亞米利加戦争ノ爲メニ大利アル政府ノ請負事業大ニ増加
シ政府ノ事業ヲ請負ハシムルコトヲ以テ政治上ノ贊助者
ヲ増加スルノ便利ナル一手段トナスニ至レリ國會ノ一議
員ニシテ海軍兵士ニ酒若クハ牛肉ヲ供給スルコトヲ一手ニ
請負フトキハ其大利アルコトハ公債及ビ富講ノ應募切符ヲ
得ルト異ナラザルナリ而シテ此類ノ恩典ハ下院ノ商人議
員ノ特ニ喜ブ所ナリトス且ヤ其利益ノ及ボス所ハ單ニ事
業ヲ請負ヒタル議員ノミニ限ルニアラズシテ其選舉人ノ
如キモ亦利益ノ配分ニ與ルヲ得ルガ故ニ隨テ政府黨ノ候
補者ヲ選舉センコトニ熱心スルナリ即チ是レ亦政府權勢ノ
ニ源泉ニシテ爲メニ人民ヲシテ非常ノ損害ヲ蒙ラシムル

者ナリトス蓋シ人民ノ負擔ハ益々増加スルノ際ニ在テ政
府ハ議員ヲ籠絡スルノ此手段ヲ施シ濫リニ多費ニシテ無
謀ナル方法ヲ以テ事業ヲ請負ハシムルガ故ニ爲メニ人民
ノ負擔ハ更ニ増加セリ此方法ヲ以テ賄賂ヲ行フハ公債及
ビ富講ノ方法ヲ以テ賄賂ヲ行フニ比スレハ其費用更ニ大
ニシテ且無限ナル者アリ蓋シ公債及ビ富ノ方法ヲ以テ賄
賂ヲ行フトキハ其應募切符ノ増打ニ多少ノ限界アリテ此
増打ノ割合ハ世人ノ公然ニ知り得ベキ所ナリ然レモ事ニ
慣レザルノ政府カ漫然タル方法ヲ以テ(仮令ヒ不正ノ方法
ヲ以テセズトスルモ)事業ヲ請負ハシメ且請負人カ其約束
ヲ履行スルト否ト十分ニ監査セザルニ於テハ請負人ノ
之ガ爲メニ得ル所ノ利ハ測ル可ラザル者アルナリ而シテ

此等ノ弊害ノ行ハルハ、コ顯著ニシテ又之ヲ匡正センコト
勉ムル者ナキニ非ザリキ
一千七百七十九年フリップゼンニシグスクラトク氏ハ政
府ノ請負人中公然入札ノ競争ヲ爲シテ其選ニ當リシ者ノ
外ハ凡テ議院ニ出席スルコト能ハザラシム可シトノ議ヲ提
出スルノ許可ヲ得タリ然レモ三月十一日ニ至リ此議案ヲ
委員ニ付セントノ說廢棄セラレタリ一千七百八十年二月
ニ至リフリップ氏ハ此勳議ヲ再起シ反對說ナクシテ下院ヲ
通過セシムルヲ得タリ然レモ上院ノ第二讀會ニ於テ此議
案廢棄セラレタリ一千七百八十一年ニ至リ更ニ同一ノ議
案ヲ出ダセシト雖モ此トキニハ下院ニ於テ廢棄セラレタ
リ

當時ノルス公ノ内閣將ニ斃レントスルノ際ニシテ政府反
 對党ハ國王ノ權力ヲ減シ財政改革ヲ行ハントシテ主義ヲ固
 執セリ而シテ一千七百八十二年ニ至リフリップクラーク
 氏ハ再び其議案ヲ提出セシニ第二議會ヲ通過セリフック
 ス氏ハ委員會ニ於テ公然入札ノ競争ヲ爲シテ其選ニ當リ
 タル請負人ノ如キモ齊シク議案ノ制限内ニ加ヘ且將來ノ
 請負人ノミナラズ現時ノ請負人ニ對シテモ議案ノ制限ヲ
 施行セシメテ主張セリ後直ニロツキンガム公ノ諸宰相内
 閣ニ入リシテ以テ新内閣ハ自家ノ主義ト全ク適合スル所
 ノ此議案ヲ採用セリ而シテ斯ク内閣ノ贊助ヲ得タルヲ以
 テ此議案ハ終ニ可決セラレタリ即チ議院ハ此處置ニ由リ
 更ニ不正ノ權勢ニ對シテ法律上ノ非責ヲ加ヘタル者ト云

議院ニ於テ非
 責セシ諸種ノ
 弊習ニ關スル
 考察

ヲ可シ
 議院ニ行ハレタル諸種弊習ノ事ニ關シテ吾人ノ得タル所
 ノ証例ヲ考量スルニ當リ此等ノ証例ハ多クハ政治家ノ手
 ニ出デタルモノニシテ隨テ党派心ニ支配セラル、所アル
 一ヲ斟酌セザル可ラズ政府反對党中ノ最も熱心ナル輩ニ
 於テ政府ノ缺典ヲ非難シ而シテ此等ノ非難ハ党派心ノ爲
 メニ彩色セラレテ事實ヲ過大ニ形容スルコトアルベシ然レ
 此此等ノ非難ハ人ト爲リ公正ニシテ政治上ニ有名ナル諸
 大家ニ於テモ之ヲ爲セシ所ニシテ其事實タルコトハ一般ニ
 公認セラレ又斯ク愁訴スル所ノ諸弊害ハ到底議院ニ於テ
 之ヲ非責スルニ至ラザルコトアラザリシナリ從來弊習ヲ匡
 正シ不當ノ權勢ヲ殺ガンガ爲メニ施シタル處置ハ悉ク之

ナ根據ナクシテ施シタルノ處置ナリト云フ可キ乎匡正セ
 ント欲スル所ノ諸弊害ハ實際ニ行ハルハニアラズレテ單
 ニ想像ニ止マル者ナリト云フ可キ乎蓋レ當時弊習ノ行ハ
 レシコハ屢々宣言シ且後世人ノ是認セシ所ノ議院累年ノ
 決議ニ徴シテ歴々見ル可ク歴史家が得ベキノ證徴蓋シ之
 ニ勝ル者アル能ハザルナリ政理學者モンテスキュー氏云ハ
 ルアリ曰ク英國ノ憲法ハ立法權之ヲ擁護セリ此立法權ニ
 シテ腐敗スルノ日ハ英國ノ憲法廢滅スベキノ日ナリト然
 ルニ我立法院ノ賢ナルガ爲メニモンテスキュー氏ノ前言セ
 ル憲法ノ容落ヲ避クルヲ得タルハ我國ノ大幸ナリト云フ
 ベシ

ジョージ二世

ジョージ三世即位ノ初年ニ於テハ政府ニテ不善ノ處置ナ

即位ノ初年ニ
 於テ社會ノ有
 様

行フモ輿論ヲ以テ之ヲ匡正スル能ハザル社會ノ有様ナリ
 キ蓋シ政府ニ弊習ノ行ハルハ單ニ社會ニ弊習ノ行ハル
 ハアルヲ表示スル者タルニ外ナラザルノミ當時最高ノ階
 級ニ立ツノ人々ト雖モ飲酒賭博淫蕩ニ耽リ僧侶ハ毫モ宗
 教上ノ禁戒ヲ守ラズ又中等社會ノ人民ハ野鄙無學ニシテ
 肉體ノ慾ニ溺レ下等社會ノ人民ニ至テハ懶惰貧困ニシテ
 惡例ニ倣ヒ其狀殆ド禽獸ト接セリ諸階級ノ人民皆文明ノ
 風ナク教育ヲ受シ者殆ド之アルナキナリ社會ノ有様此ノ
 如シ故ニ卑劣ナル議員貪慾ナル官位志願者醜陋ナル選舉
 者ヲ養成スルノ材料ニ最モ富ミタリシナリ
 往時我選舉制度ノ不完全ニシテ加フルニ諸種ノ弊害行ハ
 レテ憲法ヲ毀損セシコハ既ニ之ヲ論シタルヲ以テ是ヨリ

何故ニ民權主
 義ハ枯死セザ
 リシカ

姑ラク筆ヲ轉シテ何故ニ民權主義治國ノ術政治上ノ德義ハ斯カル反對ノ諸勢力ノ行ハル、際ニ在テ枯死セザリシ乎ヲ論ゼサル可ラス抑々我國ハ廣大ニシテ光榮アルノ國ニシテ其歴史ハ數多ノ汚點ナキニアラスト雖モ尙ホ英人ノ正當ニ誇リ得ベキ所ノ者アリ又當時ノ人民ハ後世ノ人民ニ比スレバ自由ヲ享有セシコト少ナシトスルモ尙ホ世界中最も自由ヲ享有セシ所ノ人民タリシナリ又其法律ハ近代ノ法理ニ比照スレバ劣ル所アルベシト雖モ尙ホ議院ガ此等ノ法律ヲ制定セシ時代ノ開化ノ度ニ比スレバ決シテ後ル、所アラザリシナリ弊習ノ行ハレシコト彼レノ如クニシテ國家ノ事情此ノ如クナリシハ此彼相反對セル者ノ如シ如何ニシテ此事ノ理由ヲ解釋シテ其怪ムニ足ラザルコト

ヲ示ス可キ乎何故ニ我人民ハ惡政ヲ免ル、ヲ得シ乎當時行ハレタル害毒アル弊習ヲ醫スルノ解毒藥トナリシハ何者ナル乎此事ノ第一ノ原因ハ議院政治ハ最も有力ナル人々ヲ政務ニ從事セシムルノ効アルコト是ナリ此等ノ人々ハ貴族ノ庇護ニ因テ議院ノ坐席ヲ得タルト城市ヲ購買シテ之ヲ得タルト同胞國人ノ選舉ニ因テ之ヲ得タルトテ問ハズ皆其能辨テ以テ議院ニ光明ヲ與ヘ其政術ヲ以テ國家ノ評議會ヲ利導セザルハナキナリ又タ第二ノ原因ハ代議制度ノ行ハレシニヨリ其代表ノ區域狹隘ニシテ其制度ノ整ハザル者アリシニモ拘ラス多少人民ノ元素ヲ含マザルコトナクシテ我下院ハ其最も衰頽セル時ト雖モ尙ホ人民ニ對シテ責任アルコトヲ公唱シ全ク輿論ノ刺撃ヲ感ゼザルニ非

サリシト是ナリ且又下院多數ノ議員ヲ選出スル所ノ少數
 ノ人々ノ如キハ其教育ト識見トニ於テ我國人中ノ最モ卓
 越ナル人ニシテ又英人タルノ氣質ニ背カズ概テ自由主義
 ニ熱心スルノ人タルコトハ疑フ可カラザルナリ
 此外ニ議院及び主治者ノ上ニ有益ナル影響ヲ與ル所ノ二
 ノ原因アリテ一ハ政黨ノ分立スルコト一ハ出版ノ益々勢力
 ナ得ルコト即チ是ナリ而シテ前者ハバルウエル、リット、シ、氏之ヲ形
 容シテ自由ノ筋根ナリト云ヘリ在官黨ニ於テ時ニ人民ヲ
 壓制セント欲スルコトアリト雖モ反對ノ政黨ハ勢ヒ民權主
 義ヲ取ラザルヲ得ズシテ其政權ヲ得ルノ後ト雖モ少ナク
 モ一時ノ間ハ其主義ヲ變ズルヲ得ザルナリ又政黨ナル者
 ハ幾分カ有識ナル輿論ノ缺ヲ補フノ益アル者ナリ蓋シ從

來一般ノ人民ハ知識ヲモ有セズ權勢ヲモ有セザリシト雖
 モ政權ニ參與スル者ハ愛國心ト競争ト名譽心トニ鼓セラ
 レテ我法律上及び政制上ニ漸次ニ行ハル、所ノ善良ナル
 政治主義ヲ抱懷スルニ至レリ若シ夫レ各政黨ノ共ニ結合
 シテ民權ヲ抑制スルアラシニハ再ビ革命戰爭ヲ起スニ非
 ザルヨリハ決シテ之ヲ破ルコトヲ得ザル可シト雖モ幸ニシ
 テ各政黨ノ分立シテ互ニ相争フガ故ニ我人民ハ未ダ自由
 選舉ノ手段ニ因リ自家ノ自由權利ヲ主治者ノ手ニ強取
 シ得ベキノ有様ニ達セザルニ先チ既ニ政黨ノ作用ニ因リ
 テ其自由ヲ擴張スルヲ得タルナリ
 是ト同時ニ新聞著述ハ益々勢力ヲ得テ高等ナル輿論ヲ起
 シ如何ナル政黨ト雖モ之ヲ尊重セザルヲ得ザルニ至レリ

然レ此等ノ政治上ノ機關ヲシテ適當ニ其職務ヲ尽サシムルニ至リシマデニハ實ニ數多ノ歲月ヲ經過セシナリ新聞著述ヲシテ世人ヲ開導スルノ効アルニ至ラシメンニハ先ツ人民文化ニ浴シ及ビ政治思想ヲカラザル可カラザルナリ故ニ社會ノ有様腐敗シテ政府ニ非常ノ弊害アルモ敢テ之ヲ問ハザル如キ時ニ於テハ新聞著述モ亦利慾ニ走り競争スル所ノ諸政黨ノ爲メニ醜劣ナル譏謗ト徒黨的ノ詐欺トヲ以テ其昏面ヲ滿タシ其他政治上ノ德義ノ破レタルヨリ生ズル所ノ百般ノ弊害ノ爲メニ全ク其本質ヲ失ヒシナリ然ルニ自由ト政治上ノ德義ハ其勢力強固ニシテ我國ノ社會出版政府ニ於テ常ニ進歩シタルハ吾人爲メニ之ヲ賀セザルヲ得ザルナリ

議院改革ヲ要スルノ理由

選舉權ノ狹隘ニシテ不公平ナルト選舉者ノ少數ニシテ賄賂ノ行ハル、ト代議士中ニモ弊習ノ行ハル、ト即チ當時ニ露顯セシ所ノ代議制度ノ著大ノ缺點ト弊習トハ議院改革ヲ行ハザル可ラズトスルノ最モ強固ナル論據トナルニ至レリ此等ノ弊害中或ハ稍匡正セラレタル者アリ或ハ之ヲ暴露シテ非難ヲ加ヘタルモ尙ホ依然トシテ行ハル、者アリ然レモ此等ノ諸弊中ノ重モナル者ニ至テハ更ニ勇斷ニシテ且危險ナル匡正法ヲ施サルヲ得ザルナリ公平ニ代議士ヲ出スノ理論ハ古來曾テ十分ニ行ハレシコアラズシテ歲月ヲ經過スルニ從ヒ全ク顛覆セラレタリ人口ナクシテ貴族ノ專有ニ歸シタル衰替セル城市及ビ選舉者タルベキ者ナクシテ單ニ人口ニ富ム所ノ城市ノ如キハ下院ニ

一千七百七十
年チヤタム公
ノ議院改革案

議員ヲ出スト雖此事業ト富資ト知識トヲ以テ鳴ル所ノ製
造ノ行ハル、市府ハ却テ代議士ヲ出サザルナリ
此等ノ不公平ニ對シテ一部ノ匡正ヲ施スノ策ハ時々政治
家ノ主張セシ所ニシテ互ニ大ニ其說ヲ異ニセリ而シテ第
一ニ議院改革ノ說ヲ唱ヘシ者ハチヤタム公ナリトス一千七
百六十六年公ハ城市代議ノ事ヲ論ジテ之ヲ我政體ノ腐敗
セル部分ナリト云ヒ且曰ク此腐敗セル部分ハ決シテ百年
ヲ保ツ可カラズ若シ尙ホ零落セザルニ於テハ之ヲ切斷セ
ザル可カラスト一千七百七十年公ハ又主張シテ曰ク不正
ニシテ貪慾ナル城市ニ抗センガ爲メニ各州郡ニ更ニ新議
員ヲ加ヘザル可カラズト公ハ又曰ク議院ハ當年代中ニ自
カラ改革ヲ行フ乎然ラザレバ必ズ外部ヨリノ復仇ノ爲メ

一千七百七十
六年ウルクス
氏ノ議院改革
案

ニ改革セシメラルベシト以テ公ガ改革ノ處置ヲ施スノ極
テ急ナルヲ思ヒシコトヲ知ル可キナリ次ニ議院改革ノ方案
ヲ出セシ者ハ世ニ知ラレタル政術家ウルクス氏ナリ氏ノ
方案ハチヤタム公ノ主張セシ者ニ比スレハ更ニ區域廣大ニ
シテ且當時愁訴セラレタル弊害ヲ更ニ直接ニ匡正スルノ
目的ヲ以テ起案セシナリ一千七百七十六年ニ於テ氏ハ諸
市府トミッドルセツキス、ヨークシヤ、及ビ其他ノ大州郡ノ
議員ノ數ヲ増加シ衰替セル城市ノ免許ヲ褫奪シテ州郡選
舉區ノ選舉者ヲ増加シマンチエスタ、リーズ、シェツフィールド、
ピルミンガム、及ビ其他ノ商業繁榮ニシテ人口ニ富メル市
邑ニ代議士ヲ出スノ免許ヲ與フベシトノ議ヲ提出セリ此
時以來五十年間主張シテ常ニ實行セラレズ終ニ吾人ノ時

一千七百八十年リチモンド公ノ議院改革案

一千七百八十年他ノ議院改革案

代ニ至テ始テ可決セラレシ所ノ議院改革案中ニ含ム所ノ重要ナル主義ハ以上ウイルクス氏ノ方案中ニ皆之ヲ含メリ
 次ニ下院ヲ改革スルノ議ヲ提出セシ者ハ一人ノ貴族ナリ
 千七百八十年六月ジエージ、ゴルドン公ノ暴動ノ際ニ在テ
 (按)羅馬教徒ニ自由ヲ與ヘタル政府ノ處置ヲ不可トナシ暴
 民蜂起シゴルドン公ヲ推シテ魁首トナシ議院ニ迫リタリ
 之ヲゴルドン公リチモンド公ハ毎年國會ヲ改選シ普通選
 舉法ヲ施シ各選舉區ヲ同一ニスルノ議案ヲ出セリ然レモ
 此議案ハ粗暴ニシテ當時ノ情勢ニ適セザルノ説ナルヲ以
 テ可否ヲ起立ニ問フヲ俟タズシテ廢棄セラレタリ
 然レモリチモンド公ノ粗暴ナル議ハ獨リ公ノミノ主張ス
 ル所ニアラザルナリ當時人民ハ毎年國會ヲ改選シ衰替セ
 ル城市ヲ廢止シ普通選舉ヲ行フ等ノ非常ノ改革ヲ行フ

ヲ喜ベリ然レモ代議政度ヲ改良セント欲スル政治家中ノ持重ナル人々ニ於テハ財政改革ノ策ヲ施シ以テ議院ヲ清淨ニシ國王ノ權力ヲ減殺センコトヲ計畫セリ此計畫ハ以上ノ策ニ比スレハ實行シ易クシテ且必ス其目的ヲ達ス可シトノ見込アリキ故ニ此等ノ人々ハ以上ノ策ハ自家ノ計畫ニ害アリトシテ之ヲ擯斥セリ又此等ノ政治家ヲ贊助スル所ノ請願者ノ如キモ人民ノ代議ヲ更ニ公平ニセンコトヲ請願セリ然レモ當時ノ政治家ハ此疑問ヲ一時延期スルヲ得策ナリト思惟シタリ

蓋シジョージ、ゴルドン公ノ羞恥ス可キ暴動ノ爲メニ何等ノ政治上ノ改革ヲモ論議スル能ハザルニ至リシナリ民權黨ハ後年ニ至リシヤコペン黨(按)佛蘭西革命ノ時ノ最ノ主義

ヲ執ル者ナリトノ非難ヲ受ケシト同シク當時ニ於テモ該
 黨ハ此暴動ヲ煽起セシモノナリトノ非難ヲ受タリ一千七
 百八十年ノ國會ヲ閉ルニ當リ當時勢力日ニ衰ヘタルノル
 ス公ノ内閣ハ機ヲ失ハズシテ王ヲシテ一ノ演說ヲ爲サシ
 メタリ此時ノ演說ニ於テ王ハ新法ヲ敢行スルノ危險ナル
 コナ人民ニ諭シ傍ラ法律ニ抵抗シ若クハ之ヲ改良センガ
 爲メニ激騒ヲ起ス^トニ説及シ以テ巧ミニ改革黨ヲ非トス
 ルノ意ヲ暗示セリ
 當時議院改革ヲ主張セル政治家中ノ稍々過激ナラザル人
 々ニ在テハ種々中和ノ策ヲ立シガ其一策ハ下院議員中ニ
 更ニ一百人ノ州郡代議士ヲ加フ可シト云フニ在リ然レモ
 民權黨ノ或ル領袖ハ此ノ策ハ貴族ノ權力ヲ過大ニシテ政

一千七百八十
 二年選舉區ノ
 實狀ヲ調査セ
 シメントノピ
 ット氏ノ動議

體ノ一部ナル民權ヲ害スル者ナリトシテ之ヲ難駁セリ
 此時ニ方リピット氏ハ其非凡ノ立身ヲ始ルノ際ニシテ氏
 ハ若年ノ時ニ於テハ其父チャム公ノ主張セル議院改革
 案ヲ贊助シタルガ爲メニ大ニ名ヲ得タリ氏ハ一千七百八
 十二年ロツキンガム内閣ノ時ニ於テ初テ此事ニ關スルノ
 議ヲ提出セリ氏ガ其議ヲ提出シタルハ能ク時機ニ投ジタ
 ル者ト云フ可シ何トナレハ此時氏ハ議院ヲ清淨ニスルコ
 ニ盡力セルガ爲ニ既ニ大ニ名聲ヲ揚ゲ又人民ハ主治者ニ
 不滿ヲ抱キ變ニ露顯セシ所ノ弊習ノ爲メニ汚辱ヲ蒙リ又
 亞米利加戰爭ノ不幸ナル結果ヲ憎ミテ時機恰モ憲法上ノ
 改革ヲ行フニ熟シタレバナリ下院ニ於テ當日ノ缺席人名
 ノ調査ヲ了ヘタル後ピット氏ハ有力ニシテ且適正穩當ナ

同年五月七日

ル一演説ヲ爲シ以テ其議ヲ提出セリ氏ハ代議制度ノ實狀ヲ説明シテ人口及ビ財産ヲ有セズ又商業行ハレズシテ唯大藏省若クハ貴族等ニ於テ其代議士ヲ指名スル所ノ城市アルコトヲ述べ又或ル城市ノ如キハ其議員選舉權ノ外ハ一モ財産ヲ有セズシテ其選舉權ヲ最高價ノ購求者ニ販賣スルアルコトヲ示セリ氏ノ言ニ曰クアトコトノ「チーボブ」ハ我下院ニ七八名ノ議員ヲ出ダセリ而シテ我國ト不和ナル外國ノ如キモ斯カル城市ノ選舉權ヲ購買シテ以テ我下院内ニ其黨派ヲ立ルナキヲ保ス可キ乎」ト而シテ氏ハ終ニ選舉區ノ實狀ヲ調査セシムルノ議ヲ出ダセリ憶フニ氏カ此方法ニ出デシ所以ノ者ハ一定ノ方案ヲ立ルトキハ之ニ議院改革黨ノ一致ヲ得ルノ難キコトヲ經驗シタルニ因ルナリ

一千七百八十三年五月七日
ピット氏ノ決議案

而シテ僅ニ二十名ノ多數ヲ以テ議事ノ順序ニ從ヒ他ノ問題ニ移ルコトニ決セシカバピット氏ノ説ハ爲メニ廢棄セラレタリ

一千七百八十三年ピット氏ハ夫ノ聯立内閣ニ抗シテ反對黨ノ位置ニ立ツノ際ニ在テ再ビ議院改革ノ事ニ尽力セリ而シテ當時改革ノ請願ヲ爲スモノ甚ダ多クシテ此等ノ請願書ニ調印セル者ノ總數ハ二万人ニ及ビピット氏ノ説ハ爲メニ大ニ勢力ヲ得タリ此時氏ハ最早調査委員ヲ設クルノ説ヲ立ルヲ爲サズシテ三ヶ條ノ決議案ヲ提出セリ一ニ曰ク議員選舉ニ關シテ賄賂ト濫費トノ行ハル、ヲ匡正セシガ爲メニ適當ノ救治法ヲ施ササル可カラズ」ト二ニ曰ク如何ナル城市タルヲ問ハズ若シ選舉調査委員ノ審問ニ因

リ其選舉人ノ過半数ニ於テ不正ヲ行ヒタルノ罪証ヲ得
 タルトキハ其城市ノ免許ヲ剝奪シ不正ノ事ヲ行ハザリシ
 少數ノ選舉者ニハ州郡ノ議員ヲ選舉スルノ權ヲ與フ可シ
 ト三ニ曰ク市區ノ選舉者ノ數ヲ増加シ又都府ノ代議士ヲ
 増加ス可シトピット氏ハ此議案ヲ維持センガ爲メニ亞米
 利加戰爭ノ災害ヲ來シタル原因ヲ下院ノ腐敗セルト國王
 ノ秘密ノ權勢ヲ行ハルマ下ニ歸シタリ氏ノ言ニ曰ク國王
 ノ秘密ノ權勢ハ不正ノ手段ニ因リ將ニ自由ノ基礎ヲ覆ス
 サントセリト下氏ハ普通選舉ヲ難敷シ又衰替セル城市ノ免
 許ヲ剝奪スルコトノ如キモ氏ハ未ダ之ヲ主張セザリキ然レ
 用此時下院議員ノ精神ハ大ニ一變シ又人民ハ再ビ平和ヲ
 幸福ニ浴シテロツキンガム公ヲ施シタル一部ノ改革ヲ以

一千七百八十
 四年ヨリクシ
 ヤノ請願

テ足レリトセリ故ニ人民ノ代議士ハ一百十四名ノ多數ヲ
 以テピット氏ノ説ヲ廢棄シタリキ
 ピット氏ハ再ビ其説ヲ提出スルノ機會ヲ得ザルニ先チ内
 閣ニ擧ゲラレテ首相トナリ聯立政黨ニ抗シテ彼ノ有名ナ
 ル爭論ニ從事セリ一千七百八十四年一月十六日ダンコム
 ブ氏ハヨイクシヤノ選舉者ヨリノ請願書ヲ出シテ人民
 代議ノ不公平ナル有様ヲ十分ニ熟議センコトヲ下院ニ請ヒ
 タリピット氏ハ此請願ヲ贊助シ且曰ク余ハ近時反對黨ノ
 舉動ヲ見テ愈々余ノ議院改革説ヲ固執スルニ至レリト小氏
 又曰ク余ハ如何ナル位置ニ立ツ時ヲ問ハス中和ニシテ隱
 常ナル改革ヲ徐々ニ施スノ一事ハ余ノ力ヲ及バシ限リハ
 之ヲ贊助センコトヲ常ニ自ラ期セリト然レモ氏ハ自家ノ内

開シ此ニ如キ處置ヲ施スニ一致セザルヲ明言シ又此事ニ一致セル内閣ヲ見ルハ到底望ム可ラザル所タルヲ述ベタリ此事ニ關シテハフット氏モ其同意ヲ表シ且曰クピット氏ハ自家ノ議院改革説ヲ贊助スル者ハ米ダ一人アリ此之ヲ自家ノ内閣ニ舉ゲザリキト云フ然レドモ後直ニピット氏ハ誠實ニ其約ヲ履ムノ意ナリシヤ否ヤハ後直ニ之ヲ試験スルヲ得タリ蓋シピット氏ハ新選ノ議院ニ於テハ強固ナル多數党ノ自家ヲ贊助スルアルヲ發見セリ然レドモ其意ノ如クナル能ハサルノ件唯一アリ王ハ氏ノ議院改革説ニ反對シ内閣ハ冷淡ニシテ敢テ氏ノ説ヲ贊助セズ又下院内ニ氏ノ党友ヲシテ改革説ヲ可トスルノ決ヲ爲サシムルヲモ亦能ハザルナリ王權党ハ概テ改革説ニ反對

一千七百八十五年
ピット氏
ノ議院改革案

シ加之民權党ト雖モホルランド公フズウリアム公ヲ首トシ多クハ改革説ヲ贊成セザリキ輿論ハ米ダ喚起セラレズシテ改革ノ必要ヲ感ゼズ又當時ノ國會ハ多クハ改革ヲ非トスルノ議員ヨリ成リシヲ以テ有効ナル方案ヲ立ルハ到底望ム可ラザルナリ
新選議院ノ第一回ノ會合ヲ開キシ時ピット氏ハ自家ノ議案ヲ出カノ用意ナカリシト雖モ尙ホ氏ハ長老役ヲウツリツシ氏ノ勸議ヲ贊成スルノ説ヲ爲シ且之ヲ可トスル方ニ起立シタリ而シテ次回ノ國會ニ於テハ自ラ議案ヲ提出スベキヲ約セリ氏ハ其約ヲ履行シ一千七百八十五年四月十八日ヲ以テ英蘭人民ガ其代議士ヲ議院ニ出ス方法ヲ改良スル議案ヲ提出セル一議案ヲ提出スルノ許可ヲ得シ

動議セリ氏ハ從前我代議制度ハ社會ノ事情ノ變遷スルニ
 從ヒテ屢々改革セラレ衰替セル數多ク城市ハ國會ニ代議
 士ヲ選出スルノ免許ヲ失ヒ又或ル城市ハ新ニ其免許ヲ得
 若クハ一旦失ヒタル免許ヲ回復セル者アルコトヲ歴史上ノ
 事實ニ照ラシテ證明シ且當時三十六ノ衰替セル城市ヨリ選
 出スル所ノ七十二名ノ代議士ヲ廢シ更ニ同數ノ代議士ヲ
 州郡及ビ都府ニ配加セントノ議ヲ出セリ然レモ氏ハ此方
 案ヲ行ヌコトニ關シテ更ニ議ヲ立テ、曰ク此等ノ擯斥セラ
 レタル城市ノ免許ヲ褫奪センニハ政府ヨリ其代償トシテ
 一百万磅ヲ此等ノ城市ノ所有主ニ拂フ可シ而テ所有主ニ
 於テ尙ホ之ヲ肯諾セザル時ハ決シテ此等ノ城市ノ免許ヲ
 褫奪ス可ラズト是レ實ニ驚ク可キノ說ナリトス氏ハ又十

市ノ城市協同ニ於テ專有スル所ノ選舉權ヲ買上ゲテ之ヲ
 其城市ノ人民ニ分與シ又微小ナル四城市ノ議員選舉權ヲ
 買上ゲテ從前此等ノ四城市ヨリ出シタルト同數ノ議員ヲ
 人口ニ富ム所ノ市邑ニ加フ可シトノ議ヲ立テテリ以上種
 々ノ手段ニ因リ總計一百ノ議員坐席ヲ取上ゲ更ニ改テ之
 ヲ分配スルノ方法ナリキ氏ハ又別ニ方案ヲ立テ、フリース
 ルド借地者ノ外ニ「コピ」ホルド借地者ニモ選舉權ヲ與テ
 以テ州郡選舉區ヲ擴張センコトヲ主張セリ（按「コピ」ホルド
 監督局ノ簿冊ニ登記スル所ヲ證トシテ領主ヨリ土地ヲ蓋
 借有セル者ニシテ其方法ハ地方ニヨリ大異アリトス蓋
 シ此改革ヲ行ヒ且新タニ大市邑ニ代議士ヲ出スノ免許ヲ
 與ルトキハ爲メニ九万九千人ノ選舉者ヲ増加スルノ計算
 ナリキ而シテ氏ノ方案中最モ難駁ヲ受ク可キノ点ハ城市

少所有主ニ代償ヲ與ラルノ一事ニアリ氏ハ自ラ明言シテ
 曰ク此ニ事ハ實ニ余ノ方案中ノ脆弱ナル点ナリ然レモ今
 日ニ於テ苟モ改革ヲ施サシムハ此一事ハ止ム事得ズシテ
 甘ンゼザル可ラザルノ弊害ナリト憶フニ氏ハ當時現行ノ
 代議制度ニ因リテ利益ヲ受ル所ノ人々ヲシテ改革ノ行ハ
 ザル可ラザルコトヲ承認セシムル能ハザルヲ信シテ代償ヲ與
 テ以テ此等ノ人々ノ贊助ヲ買ハシト計畫セシ者ナラン故
 田氏ハ從來市場ニ於テ賣買セシ所ノ城市ヲ政府ニ於テ買
 上ケシコトヲ主張シ以テ醜陋ノ手段ヲ假用シテ議院ヲ清淨
 ニモシト勉メタリ此ノ如ク目下ノ便益ノ爲メニ正理ヲ棄
 ルハ或ハ己ム事得サルモノアリシナルニシト雖モ氏ノ方
 案ハ爲メニ全敗ヲ免ルコト能ハズシテ氏ガ其議案ヲ提出

ピット氏ガ議
 院改革ノ議ニ
 誠實ナリシコト

スルコト許可ヲ請フノ動議ハ七十四名ノ多數ヲ以テ廢棄セ
 ラレタリ
 ピット氏ガ議院改革ノ議ヲ主張シタルハ此時ヲ以テ最後
 トスルガ故ニ當時ニ於テモ氏ガ改革ノ議ニ誠實ナリシヤ
 否ヤヲ疑フ者アリキ氏ハ當時ノ事情ニ於テハ固ヨリ其方
 案ヲ實行スルコトヲ期望スル能ハザリシナリ然レモ氏ノ方
 案ノ敗ヲ取リタル所以ノ者ハ氏ノ力能ク之ヲ制シ得ベカ
 ラザルノ原因アリテ然ル者ナリトス王及ビ議院ハ氏ノ方
 案ニ反對シ人民亦之ヲ贊助セザリシナリ氏ノ方案ハ當時
 ノ輿論ニ比スレバ五十年間先進セル者ニシテ氏ハ議院ヲ
 シテ敗テ其方案ニ一致セシムルノ力ナシ故ニ氏ガ宰相
 ルヲ權力ヲ事ヲ成敗ニ賭シテ飽クマテモ此事ニ盡カスル

一千七百九十年
年フルード氏
ノ動議

スラハ是レ寧ロ主義熱心家ノ舉動ト云フ可クシテ政治家
ノ舉動トハ云フ可カラザルナリ而シテ氏ガ爾後此事ニ盡
カセザリシトノ非難ハ民權党ニ於テモ之ヲ分受セザル可
カラズ蓋シ民權党ハ氏ト同ク數年間此事ヲ不問ニ委シテ
レバナリ
ピット氏ノ盛榮ナル執政ノ爾後ノ五年間ニ在テハ議院ニ
於テ改革ノ語ヲ公言セザリシノミオラズ之ヲ耳語スル者
モアラザリシナリ終ニ一千七百九十年ニ至リブルイ氏
ハ人民ノ代議制度ヲ改良スルノ議案ヲ動議セリ氏ノ方案
ハ各州郡居住ノ家主ヲシテ更ニ百名ノ議員ヲ下院ニ選出
セシムルニ在リ此時ピット氏ハ熱心ニ議院改革說ヲ固執
スルロハ毫モ從前ニ異ナラザリシト雖モフルード氏ノ議

「人民ノ朋友」
社團ト稱スル
協會

一千七百九十
二年四月三十
日グレイ氏ノ
議案提出ノ通
知

ニハ同意スル能ハザルヲ公言セリ而シテフルード氏ノ
議案ハ下院ヲ延期セルガ爲メニ束縛セラレタリ
此時ニ當リ議院改革ノ議ハ種々ノ政治上ノ協會ニ於テ之
ヲ主張スル所トナリ就中人民ノ朋友ノ社團ト稱スル協會
ニ於テ之ヲ主張セリ此協會中ニハ政治及び文學ニ卓絶セ
ル數多ノ紳士ト二十八名ノ國會議員トアリテグレイ氏及
ビエルズキン氏之ガ魁首ナリ而シテ該協會ニ於テ再ビ改革
ノ問題ヲ討議セシメテ議院ニ促スヲ議決シ乃チ一千七
百九十二年四月三十日ヲ以テグレイ氏ハ次回ノ國會ニ於
テ選舉制度ノ實狀ヲ調査セシムルノ議案ヲ提出セシメテ
通知ヲ爲セリ數年前ニ在テハ議院改革ノ說ハ各政黨ノ穩
和ナル人々ノ共ニ誠實ニ贊成セシ所ニシテ大ニ勢力ヲ得タ

リシト雖モ今ヤ事情ノ極メテ危險ナル者アリテ議院改革ノ問題ク如キハ適當ニ之ヲ討議スル能ハザルニ至レリ其事如何ト云フニ夫ク恐懼ス可キ革命ノ戰亂佛國ニ激發シ爲メニ爾後五六十年ノ間ハ我英國ノ自由ヲ沮害スルニ至レリピット氏ハ尙ホ議院改革ヲ可トスルノ持説ヲ固執スルコトヲ公言シタリト雖モ氏ハ當時ニ在テ自家ノ説ヲ實試スルノ甚ダ危險ナルコトヲ信シタリ氏ハ其説ヲ實施スルモ到底成功ヲ期ス可カラズシテ爲メニ非常ノ騷亂ト混雜トヲ來タスノ患アルヲ知レリ氏曰ク今ノ時ハ危險ナル經驗ヲ施スノ時ニ非ズト氏ハ革命ノ主義ニ反對シ隨テ之ニ聯絡スル所ノ各疑問ニハ悉ク反對セリボルク氏ハ曾テ他ノ事ニ關シテ改進主義ヲ取リタル榮譽アル議院改正家ナル

千七百九十三年
グレイ氏ノ
動議

ガ此時ヨリ後ハ氏及ビ氏ノ党ノ數多ノ有名ナル議員ハピット氏ヲ贊助シテ議院改革反對党中ニ列スルニ至レリ而シテ今ヤ万般ノ改革ニ有害ナルノミナラズ言論ノ自由ヲモ沮止スルノ一期限ニ達シ共和主義ニ抗シテ秩序ヲ維持スルノ勇將タルピット氏ハ無限ノ權力ヲ占有スルニ至レリ
一千七百九十三年五月六日グレイ氏ハ前期ノ國會ニ於テ豫メ通知シタル議案ヲ提出セリ氏ハ先ヅ「人民ノ朋友」ノ社團ヨリノ長且密ナル請願書ヲ出セリ此請願書ハ選舉制度ノ弊害ヲ暴露シテ議院改革ヲ行ハザル可ラザルノ種々ノ理由ヲ示セル者ナリ此請願書ヲ朗讀セル後グレイ氏ハ此事ヲ委員ノ討議ニ付ス可シトシ議ヲ立テタリ氏ハ前回ピ

少ト氏が議案ヲ出シタル時ト同シク別ニ一定ノ方案ヲ立
 出スル單ニ現行ノ制度ヲ非トスルノ議論ヲ爲セシニ止
 レテ蓋シ氏ガ一定ノ方案ヲ立テザリシ者ハピット氏ト其
 理由ヲ同クスルナラシ然レモ此ノ如キノ議案ヲ出スニ
 當時ホ下時機ノ不適當ナルコトハアラザルナリ佛國ノ革命
 ヲ恐懼スルノ情ヲ佛王ノ殺害セラレハニ至リテ其頂點ニ
 達シ又英人中公然革命ノ主義ヲ贊スル者多ク我英國ハ佛
 國共和政府ト干戈ヲ交ヘ民權党ハ分裂シテ一般ノ人民ハ
 政制ノ不安全ナルニ驚愕セリ故ニ此ノ如キ時ニ於テハ最
 モ穩當ナル議ト雖モ贊成ヲ得ルコト能ハザルナリ而シテグ
 レー氏ノ議案ハ二夜ノ討論ヲ經タル後僅ニ四十一名ノ贊
 成者ヲ得タルニ過キザリキ

一千七百九十
 七年グノー氏
 ノ動議

グノー氏ハ斯カル失敗ヲ取リ且當時ノ事情ノ不適當ナル
 事此ノ如クナルヲ以テ一千七百九十七年ニ至ルマデハ氏
 ノ議院改革ノ議ヲ再起スルコトヲ勉メザリキ然レモ該年ニ
 至リ氏ハ一定ノ方案ヲ立テ五月二十六日此方案ヲ實行ス
 ベキ議案ヲ提出スルノ許可ヲ請ヘリ氏ハヨーク全州ヨリ
 三名ノ代議士ヲ出スル法ヲ改メテ該州内ノ三郡ヨリ各々
 三名ノ代議士ヲ出スニトナシ又其他ノ大州郡ノ代議士ヲ
 毛増加シ以テ當時州郡代議士ノ全數九十二人ナルヲ更ニ
 二百十三人ニ増加シ又各州郡ノ「フヒ」ホルド借地者及ヒ
 「リトスホルド」借地者ニ「ラリ」ホルド借地者ト同様ノ選舉
 權ヲ與メシコトヲ主張セリ(按)「リトスホルド」借地者トハ借地
 證書ヲ以テ期限及ヒ借地料等ヲ
 定メ以テ土地ヲ借又城市ニ關シテハ氏ハ諸種異様ノ選舉
 有タル者ヲ云フ

權ヲ廢シテ家主ヲシテ凡テ選舉權ヲ有セシムル畫一ノ制
 ナ施サシメテ主張セリ而シテ氏ハ選舉ノ費用ヲ減ゼンガ
 爲メニ全國同一時ニ投票ヲ行ハシメントテ説キタリ氏ノ
 此時ノ方案ハ氏ガ爾後五十年間ノ熟考ヲ積ンテ終ニ完備
 セシメタル卓越ナル議案ノ大意ヲ含ム者ト云フ可シ氏ノ
 方案ハエルスキン氏之ヲ賛成セリニルスキン氏ハ法廷ノ
 辨論ニハ巧ミナリト雖トモ下院ノ演説ハ拙ニシテ氏ノ名
 聲ニ相應セズトノ評アルニモ拘ラズ此時ノ演説ハ雄辨痛
 切ニシテ議論ノ法ニ合ヒ下院ニ於テ之ト比肩ス可キ者ナ
 キノミナラス上院ニ於テモ屢々見ル能ハザルホドノ非凡
 ノ性質ヲ示セリ又フツクス氏モ感歎ス可キノ演説ヲ以テ
 グレト氏ノ議ヲ賛成シタリ然レモ穩當ニシテ巧ニ計畫セ

更ニ改革說ヲ
 弱メシ

ル方案モ其効ナク雄辨痛議モ亦其効ナカリシナリ蓋シ當
 時ニ在テハ改革ヲ以テ革命ト同視シ改革党ヲ以テジヤコ
 ビン黨ト同視シ人民ノ感情ト恐懼ト迷想トハ議院改革說
 ニ反對シタレバナリ故ニ如何ナル議ヲ出スモ世人ハ之ヲ
 見テ隱然言外ニ深ク計畫スル所アル者ノ如クニ邪推シベ
 イン氏及ビ人權論ヲ以テ改革論者ノ真正ナル指導ナリト
 誤解シタリ(按)ベイン氏ハ英國ノ著述家ニシテ米佛二國ニ
至リ熱心ニ革命主義ヲ唱ヘタル人ニシテ遂ニ
米國ニ於テ死ス人權論ハ氏ガボルク氏ノ時勢此ノ如クナ
非佛國革命論ヲ反駁セルノ著書ニ係レリ
 リシカバダグレト氏ノ議ハ非常ノ多數ヲ以テ廢棄セラレタ
 リ
 改革ノ議ハ再ヒ數年間束擱セラレタリ而シテ當年代ノ初
 年ニ於テ事情ノ議院改革ノ問題ヲ議スルニ不適當ナル者

アリシコハ佛國革命ノ初年ト殆ド異ナラザリシナリ蓋シ
 我國ガ銳意シテ戦争ヲ行フコト勝利及ビ敗軍、公債、租稅、如勢
 金〔按〕加勢金トハ英國ヨリ贈リタル戰フ大陸諸國ノ等ノコト爲
 メニ議院及ビ人民ハ全ク其思想ヲ奪ハレタリ漸ク平和ヲ
 恢復スルニ及ビ殆ド同様ニ不幸ナル他ノ事件起レリ即チ
 戦乱ノ爲メニ國內ノ製産力ヲ痛ク害シ勞役社會中ニ困窮
 ト不平トヲ起セシコト是ナリ政府ハ激騒ヲ鎮靜スルコトニ焦
 慮シ且當時王權黨ノ内閣相踵ギシヲ以テ一般ニ主治者ハ
 王權主義ヲ取リテ民權主義ニハ悉ク之ニ反對セリ時勢ノ
 議院改革ニ適セザル此ノ如クナリシヲ以テ從前改革說ヲ
 主張シタル政治家中或ハ其主義ヲ放棄シ或ハ之ヲ蔽フテ
 公言セザル者多カリキ而シテ性質不定ニシテ危險ナル主

一千八百九年
 バルデット氏
 ノ方案

義ヲ抱ク所ノ政治煽動家ノ輩ニ於テ改革說ヲ主張スルニ
 至レリ〔ヘム〕プテンク、ラグ〔及ビ〕其他ノ共和主義ノ政社ハ重
 モニ職人輩ヨリ成ル者ニシテ普通選舉ヲ施シ毎年國會ヲ
 改選センコトヲ主張セリ此等ノ過激ナル說ハ改革反對党ニ
 於ケルガ如ク改革党ニ於テモ亦之ヲ不可トセリ而シテ穩
 和ナル改革說ハ此等ノ過激改革党ニ於テ悉ク之ヲ輕蔑セ
 リ
 然レモ事情ノ不適當ナルニモ拘ラズ改革ノ問題ハ時々議
 院ニ於テ之ヲ討議セリ一千八百九年ニ至リ十三年ヲ經
 過セル後此問題議院ニ再起セリピット氏及ビフォックス氏
 ハ當初ニ在テハ同一ノ主義ヲ探リテ連合シ後ニ至リテ互
 ニ反對ノ位置ニ立チシ政治家ナルガ二氏共ニ既ニ死セリ

一千八百十年

又グレイ氏及ビエルスキン氏ノ如キモ共ニ上院ニ移レリ
 故ニ今ヤ議院改革ノ説ハ他人ノ手ニ屬シテフランシス、バ
 ルデット氏即チ此説ノ主張者トナレリ氏ハ其先輩ノ政治
 家ニ比スレバ力量及ビ權勢ニ乏シキ偏僻ナル一政治家ナ
 リト雖モ尙ホ十分ノ生育ヲ遂ケタル一人ノ英蘭紳士ナリ
 然レモ氏ノ方案ハ僅ニ殘存スル所ノ改革黨ノ賛成ヲモ得
 ル能ハザルホドノ者ナリ氏ハ各州ヲ分畫シテ選舉區ヲ立
 テ各選舉區ヲシテ一名ノ代議士ヲ選出セシメ且租稅ヲ拂
 フ所ノ男子ヲシテ選舉權ヲ有セシメンコトヲ主張セリ而シ
 テ此驚ク可キノ方案ハ十五人以上ノ賛成者ヲ得ルコト能ハ
 ザリキ

翌年ニ至リ議院改革ノ請願書ヲ出ス者多カリキ而シテ五

五月二十一日
 プランド氏ノ
 動議○同年六
 月十三日グレ
 ー公ノ議案

月二十一日ニ至リブランド氏ハ調査委員ヲ設ルノ議ヲ起
 シタリト雖モ此議ハ非常ノ多數ヲ以テ廢棄セラレタリ六
 月十三日グレイ公ハ國民ノ實狀ヲ奏議セントノ議ヲ起シ
 氏が改革説ヲ持スルコトヲ再ビ公示シ氏が會テ常ニ陳述シ
 タリシ意見ヲ固執スルコトヲ証言シ又代議制度ノ弊害ヲ改
 良センガ爲メニ穩當適正ナル策ヲ施スコトハ將來ト雖モ必
 ス之ヲ賛成センコトヲ約セリ而シテ氏ニ續デエルスキン公
 モ同様ノ約ヲ爲セリ

彼ノバルデット氏ハ今ヤ倫敦ノ「ヘムプデン、クラブ」ノ會長
 トナリ氏ハ一千八百十八年ニ於テ男子普通選舉ヲ行ヒ各
 選舉區ヲ同一ニシ暗投票ノ法ヲ用ヒ毎年國會ヲ改選ス可
 シトノ議案ヲ下院ノ議場ニ提出セリコングレーン公ハ此議

案ヲ賛成シタリト雖モ下院ニ於テ公ノ外一人ノ之ヲ賛成
 スル者アラザリキ當時普通選舉ヲ主張スル所ノ數多ク社
 團起リ議院改革ヲ主張スル政社ノ如キモ漸次ニ同一ノ主
 義ニ傾倚セリ而シテ此等ノ政社ハ獨リ男子ノミナラス往
 々女子ニシテ之ヲ組織スル者アリテ女子ノ撰權ヲ主張
 スル者モ多カリシガ故ニバルデット氏ハ誤解ヲ避ケンガ
 爲メニ故サテニ男子普通選舉ト云ヒタルナリ
 一千八百十九年バルデット氏ハ再ビ此事ニ關スルノ議案
 ヲ提出セリ氏ハ下院ガ次期ノ國會ニ於テ速ニ代議制度ノ
 實狀ヲ討議スルアラシク動議セリ此事ニ關シテ討論ノ
 際近頃議院ニ入リシ所ノジョンラスセル公ハ弊習ノ著明
 ニ行ハル、如キ城市ノ免許ヲ剝奪スルヲ可トスルノ說ヲ

一千八百二十
 年ジョンラス
 セル公ノ動議

述ベタリ然レモ以上ノ動議ハ當日ノ議事ノ順序ニ從ヒ他
 ノ問題ニ移リシガ爲メニ廢棄セラレタリ
 次期ノ國會ヲ開クニ當リジョンラスセル公ハ此事ニ關シ
 テ公ノ最初ノ議案ヲ出セリ此時ヨリ公ハ議院改革ノ主張
 者トシテ芳名ヲ後世ニ傳ヘタリ前期ノ國會ニ於テハ公ハ
 グラムハウンドノ城市ニ於テ差ヅ可キ弊習ノ行ハル、
 ナ陳示シ以テ下院ノ注意ヲ促セリ然ルニ今ヤ公ハ更ニ論
 據ヲ廣メテ選舉制度ノ一般ノ弊害ヲ通論セリ蓋シ當時一
 方ニ於テハ普通選舉ヲ主張スル所ノ過激ノ徒アリ又一方
 ニ於テハ何等ノ變革ニモ悉ク抵抗スル所ノ頑固ノ輩アリ
 テ穩和ナル論議ヲ爲サンニハ事情ノ甚ダ之ニ適セザル者
 アリキ然レモラスセル公ノ改革方案ハ極テ穩當中正ニシ

テ當時ノ事情ニ在テモ尙ホ各政黨ノ有識者ノ贊助ヲ期シ
 得ヘキホドノ者ナリトス公ハ最モ望ミヲ屬ス可キ演說ヲ
 爲シ前時ニ於テモ屢々衰替セル城市ノ代議士ヲ出スノ免
 許ヲ褫奪シテ更ニ人口ニ富ム所ノ地方ヲシテ代議士ヲ選
 出セシムルノ令狀ヲ發セシテアルヲ述ベ又代議士ヲ出ス
 ノ權ヲ有セザル所ノ盛大ナル製造市邑ノ非常ニ増加シタ
 ルヲ及ビ小城市ニ於テ選舉權ヲ賣買スル弊害ノ甚シク行
 ハル、コトヲ說キ終ニ左ノ決議案ヲ動議シテ以テ其演說ヲ
 終ヘタリ決議案ノ一ニ曰ク賄賂及弊習ノ甚シク行ハル、
 コノ實証アル諸城市ハ今後代議士ヲ出スノ權ヲ奪フ可シ
 而シテ有罪ノ証ナキ選舉者ノミニハ更ニ州郡ノ代議士ヲ
 選舉スルノ權ヲ與フ可シニ曰ク弊習ノ行ハル、諸城市

グラムパウ
 ドノ城市ノ免
 許ヲ剝奪スル
 ノ議案

ヨリ褫奪シタル選舉權ハ更ニ之ヲ一万五千人以上ノ人口
 ナ有スル所ノ大市邑ト或ル最大ノ州郡トニ配與スヘシ三
 ニ曰ク更ニ手段ヲ設ケテ弊習ヲ探鑿ス可シ四ニ曰クグラ
 ムパウンドノ城市ヲシテ代議士ヲ出スノ權ヲ失ハシム可
 シト
 政府ハ宥和ヲ以テ以上ノ動議ヲ遇シ且ケツスルレ一公ノ如
 キハグラムパウンド城市ノ免許ヲ剝奪スルノ議ニ一致セ
 ノコトヲ決心シ居タルヲ以テシヨン、ラスセル公ハ自ラ以上
 ノ動議ヲ取消スコトヲ諾シ更ニグラムパウンド城市ノ免許
 ナ剝奪スルノ議案ヲ提出スルノ通知ヲ爲セリ然ルニ此際
 王ノ歿セシヲ以テ一時議案ノ通過ヲ中止シタリト雖モ翌
 年ノ國會ニ於テ之ヲ再出シ下院ヲ通過シテ上院ニ達セシ

同院ニ於テハ此事ニ關スル証報ヲ查問シタル後議院延期ノ爲メニ此議案ハ束擱セラレタリ一千八百二十一年此議案ハ再ビ下院ヲ通過セリ同院ニ於テハグラムパウソドヨリ剝奪セルニノ坐席ナリ一ツノ市邑ニ與ヘタリト雖モ上院ハ尙ホ斯カル主義ヲ承認スルヲ避ケンガ爲メニ此等ノ坐席ヲヨク州ニ與フルヲニ修整セリ而シテ斯ク修整ヲ加ヘタルマヽニテ此議案ハ終ニ可決セラレタリ

一千八百二十一年ニ於テ議院改革ニ關スルニノ議案出テタリ一ハラムトン氏ノ議ニシテ一ハジョンラスセル公ノ議ナリ四月十七日ラムトン氏ハ其議案ヲ提出セリ氏ハ城市代議ノ制ヲ廢シ州郡ヲ分テ各々二万五千ノ人口ヲ有スル所ノ選舉區ヲ立テ、之ヲシテ代議士ヲ選出セシメ又選

一千八百二十一年ラムトン氏ノ動議

舉權ノ區域ヲ廣メテ租稅ヲ拂フ所ノ凡テノ家主ニ之ヲ與ヘ選舉事務ヲ便ニセンカ爲メニ一選舉區内ニ數ヶ所ノ投票場ヲ開キ又區吏ヲシテ選舉ノ投票ヲ受取ラシメ且選舉ニ關スル必要ノ費用ハ之ヲ救貧稅ヨリ支出スヘシトノ方案ヲ立テタリ又氏ハ「コピトホルド」借地者及ビ一年期ノリースホルド借地者ヲ州郡ノ選舉人中ニ加ヘンヲ主張セリ氏ノ議案ハ二日ノ討論ヲ經ルノ後十二名ノ多數ヲ以テ廢棄セラレタリ五月九日ニ至リジョンラスセル公ハ賄賂ヲ發見シ弊習ノ行ハル、城市ノ免許ヲ剝奪シ富資及ビ人口ノ増加セル地方ニ議員選出ノ權ヲ移ス可シトノ主意ヲ以テ數條ノ議案ヲ出シタリ然レモ之ヲ討論ノ議題トスルヤ否ヲ決スル豫決ノ問題ニ於テ三十一名ノ多數ノ爲メニ

一千八百二十一年ラスセル公ノ議案

一千八百二十二年
ラスセル
公ノ議案

否決セラレタルが故ニ公ノ議案ハ束縛セラレタリ
ジョン・ラスセル公ハ自ラ明言セルが如ク議院改革ノ事ニ
關シテハ既ニ徒弟年期ヲ約シタル者ニシテ公ハ一千八百
二十二年ニ至リ再ビ議案ヲ出シテ下院ノ注意ヲ促セリ徒按
弟年期ヲ約スルトハ躬議院改革ノ事ニ任シ其必成ヲ期ス
ルハ恰モ一業ヲ卒ントシ徒弟ノ工師ニ就クが如クラスセ
ルノ改正ニ盡カスルハ徒弟ノ修業ノ年間ノ當時普通選舉
ヲ主張スルノ喧囂ハ沈靜シ國內平安ニシテ議院改革ノ問
題ヲ議スルニ不適當ナリトシテ指摘シ得ヘキノ事情ハ一
モ是アラサルナリ公ハ國內ノ富資ト智識トノ大ニ増進シ
タルヲ論明シタル後六十八ノ議員ヲ州郡ニ加ヘ四十人
ノ議員ヲ大市邑ニ加ヘンコトヲ主張シタリ而シテ下院議員
ノ總數ヲ増加セザラシメンガ爲メニ公ハ一百ノ最小ノ城

一千八百二十三年
ラスセル
公ノ議案

市ヲシテ各々其議員二名中一名ヲ失ハシメシコトヲ主張シ
タリ公ハ其議案ノ主意ヲ弱ハメテ代議制度ノ現状ヲ討議
スルハ今日ノ急務ナリト云フノ決議案トナシタリト雖モ
尙ホ其議案ハ百五名ノ多數ヲ以テ廢棄セラレタリ
一千八百二十三年ニ於テラスセル公ハ同一ノ議案ヲ再出
セリ今ヤ公ノ議案ハ數多ノ請願就中ヨリク州ノ一万七千
人ノフリーホルド借地者ヨリノ請願ノ爲メニ大ニ其勢力
ヲ加ヘタリ然レモ暫時ノ討論ノ後百十一名ノ多數ヲ以テ
廢棄セラレタリ
一千八百二十六年ラスセル公ハ再ビ同一ノ議案ヲ提出シ
富資及び智識ノ増加スルニ從ヒ益々代議制度ノ不公平ヲ
加フルコトヲ最モ痛切ニ論辨セリ蓋シ商業繁榮ニシテ人口

一千八百二十六年
ラスセル
公ノ動議

富山所ノ地方ハ代議士ヲ出スナクノ指名選舉ノ城市
ハ依然トシテ下院議員ノ大部ヲ選出セリ而シテ人ヲ感動
セシムル所ノ討論アリタル後公ノ議案ハ百二十四名ノ多
數ヲ以テ廢棄セラレタリ

一千八百二十
九年及ヒ三十
年ブランドフ
ルド公ノ意見

議院改革ノ議起リ且其議ハ全ク新奇ノ主義ニ根據セリ舊
教黨赦免ノ議案ハ彘ニ可決セラレ是ニ反對セシ者及ビ古
派ノ勤王黨ハ多クハ自党ノ領袖ガ舊教黨赦免ノ議案ヲ贊
成シタルコトヲ憤リ俄ニ其說ヲ變ジテ議院改革說ニ左袒ス
ルニ至レリブランドフオールド公ハ此等ノ人々ノ意見ヲ代表
スルコトニシテ六月二日公ハ議院改革ノ議案ヲ提出セリ
公ハ今後舊教黨ガ城市賣買ノ市場ニ入リテ自党ノ代議士

之爲メニ數多クノ坐席ヲ買占メ終ニ我新教ノ制度ヲ危殆ナ
ラシムルニ至ルアラントナリ恐レタリ而シテ自選制度ノ行
ハレ且私曲ノ行ハル、所ノ城市ヲ非トスル公ノ議案ハ僅
ニ四十名ノ贊成者アリシノミニテ七十四名ノ多數ヲ以テ
廢棄セラレタリ翌年ノ國會ヲ開クニ當リ公ハ王ニ呈スル
咨詞ヲ議スルノ際代議制度ヲ改良スルノ必要ナルコトヲ奏
上ス可シトノ修整說ヲ立テ以テ其ノ意見ヲ再出セリ此時
オコチル氏が公ノ議ヲ贊成セシヲ見レハ議院改革者トシ
テ公ノ位置ハ甚ク奇異ナル者アルコトハ明瞭ナリトス
ル氏ハ愛爾蘭人ニシテ最モ熱心ニ羅馬教徒ニ政權ヲ復セ
ザル可ラザルコトヲ主張シ遂ニ英國議院ノ政權ヲ動セシ人
ナリ而シテブランドフオールド公ハ陽ニ議院改革ヲ主張スル
ト雖モ其目的トナル所ハ羅馬教徒ヲシテ勢力ヲ得サシ
メントスルニ在リ然ルニオコチルガ却テ公ノ議案ヲ贊成
シタル故ニ公ノ位置ハ甚ク奇異ナル者アリト云フナリ

而シテ後直ニ公ハ英國々會中ニ於テ下院ノ有ス可キ憲法
 上ノ權力ヲ恢復スルノ議案ヲ提出スルノ許可ヲ得ンコト
 動議セリ公ノ議案ハ詳細ナル改革ノ方法ヲ説キ國會議員
 ニ給料ヲ與フルノ制ヲ再興スルノ件ヲモ含ミタリ然レニ
 公ノ議案ハ唯議院改革ノ全体ノ問題ニ關シテ討論ヲ再起
 シタルマデニテ毫モ他ニ目的ヲ達スルコト能ハザリキ
 然レニ此際ニ於テ以上ノ問題ト同様ニ全体ニ關スル所ノ
 問題屢々討議セラレテ此等ノ問題ハ終ニ最モ緊要ナル結
 果ヲ生ズルニ至レリ一千八百二十六年ノ總選舉ノ時弊習
 露白シ政府ニ不正ノ舉動アリシカバ爲メニ改革説ニ非常
 ノ刺衝ヲ與ヘタリノルサムプトン及ビレイセスターノ城
 市協同ハ宰相黨ノ候補者ヲ助ケンガ爲メニ城市ノ公金ヲ

一千八百二十
 六年及ビ二十
 七年ノルサム
 プトン及ヒレ
 イセスターノ
 訴訟事件
 二月二十一日
 三月十五日

使用シタリトテ告訴セラレシニノルサムプトンノ事件ニ
 關シテハロベルトピール氏ハ城市協同ハ選舉ノ事ニ其公
 金ヲ使用スルノ權アリトノ説ヲ立ルニ至リシト雖モ下院
 ハ斯カル主義ニ一致セズシテ調査委員ヲ選定シタリ然レ
 ニレイセスターノ事件ニ關シテハ調査ニ抗スルノ説勝チ
 占メタリ而シテ翌年ノ國會ニ於テ下院ニテハ此等ノ弊害
 ヲ禁ズルノ議案ヲ可決シタリシニ上院ニテハニルドン公
 ノ盡力ニ因リ第三讀會ニ於テ此議案ハ敗レタリ
 是ニ次キ醜陋ニシテ顯著ナル賄賂ニ關スルニ訴訟起レ
 リペンリン及ビイーストレットフォルドニ係ル者是ナリ而シ
 テ右ノ二城市ニ行レタル賄賂ハ夫ノシヨールハム及ビグラ
 ムパウンドニ行ハレシ者ヨリモ更ニ甚シキニ非ザルガ故

一千八百二十
 六年及ビ二十
 七年ペンリン
 及ビイースト
 レットフォルド
 ノ訴訟事件

ニ之ト同様ニ容易ニ之ヲ處置スルヲ得シナルベキニ唯宰相ノ決斷ナカリシガ爲メニ一ノ爭論ヲ促シ而シテ此爭論ハ改革党ノ勝利ニ歸シテ止ミタリ

ペンリンハ私曲ノ行ハル、ガ爲メニ久シク著明ナリシ城市ニシテ其發覺セシト既ニ二回ニ及ビタリト雖モ宰相ハ之ヲ宥恕セントテ決心シ斯ク私曲ノ甚シク行ハル、城市ノ免許ヲ剝奪スルヲ爲サズシテ單ニシヨールハムノ先例ニ倣ヒ議員選舉權ノ區域ヲ廣メテ更ニ之ヲ近邊ノ町村ニ與ヘントテ主張シタリ然レモシヨン、ラスセル公ハ曩ニグラムパケンドニ關シテ實行セシ所ノ主義ヲ固執シ宰相ノ議案ニ對シテペンリンノ免許ヲ剝奪スルノ修正説ヲ提出スルヲ得タリ

一千八百二十八年ペンリン及ヒイースト、レツトフォルドニ關スル議案

イースト、レツトフォルドノ事件ニ關シテハ該城市ノ免許ヲ奪ヒビルミンガムノ市邑ヲシテ二名ノ代議士ヲ出スヲ得セシムルノ議案提出セラレタリ而シテ議院改革党ハペンリンヨリ剝奪シタル選舉權ヲマンチエスターニ與ヘントテ企圖セリ然レモ今回ノ議院ニ於テハ未ダ此等ノ目的ヲ一モ達スルヲ得ザリキペンリンノ免許ヲ剝奪スルノ議ハ下院ヲ通過シタリト雖モ上院ニ於テ廢棄セラレ又イースト、レツトフォルドノ免許ヲ剝奪スルノ議ハ未ダ下院ヲ通過セザリシナリ

翌年ノ國會ニ於テ二ノ議案出デタリ一ハジヨン、ラスセル公ノ提出セシ所ニシテペンリンノ選舉權ヲ奪ヒテ之ヲマンチエスターニ與ヘントスル者ナリ一ハテ、ニソン氏ノ提

出セシ所ニシテイースト、レット、フォルドノ選舉權ヲ奪ヒテ之
 ナビルミンガムニ與ヘントスル者ナリ政府ハ相互交譲ノ
 議ヲ立テ、曰ク若シ二城市ノ免許ヲ共ニ剝奪スルニ於テ
 ハ甲者ニ關シテハ人口ニ富メル市邑ニ二名ノ議員ヲ選出
 スルノ權ヲ與ヘ乙者ニ關シテハ近邊ノ町村ニ二名ノ議員ヲ
 選出スルノ權ヲ與フ可シト而シテペンリンニ關スル議案
 ノ既ニ上院ニ達セシ時ニ當リイースト、レット、フォルドニ關ス
 ルノ議案ハ始テ下院ニ於テ其討論ニ着手セリ而シテ上院
 ニ於テペンリンノ議案ニ一致スルト否トハ甚ダ疑ハシキ
 者アリキ政府ハ選舉權ヲビルミンガムニ移スノ議ニ抗シ
 タリト雖モハスキスソジ氏ハ之ヲ可トスルノ起立ヲ爲シ
 且辭表ヲ出シタルニウエリントン公ハ之ヲ許セシテ以テ最

一千八百三十
 年リ、ツ、ビル
 ミンガム、マン
 チェスターニ代
 議士選舉ノ權
 ナ與ルノ議

モ改進主義ニ熱心ナル内閣員ニシテ故ケンニング氏ノ朋
 友且同僚タリシパトメルストン公、ダツドリ、公ラム氏、グ
 ラント氏ハ皆續テ其職ヲ辭スルニ至レリ故ニ今ヤ内閣ハ
 全ク保守主義ノ人々ノミトナリ益々議院改革黨ニ歩ヲ讓
 ルヲ欲セザルニ至レリ而シテ後直ニペンリンノ議案ハ上
 院ニ於テ第三讀會ニ及ビテ廢棄セラレ、イースト、レット、フ
 ルドノ議案ハ選舉權ヲ近邊ノ町村ニ保存スルノ修正ヲ受
 タル後下院ニ於テ廢棄セラレタリ
 若シ以上ノ正當ナル要求ヲ政府ガ許諾セシナラシムニハ爲
 メニ改革說ノ進路ヲ止メ若クハ多年間之ヲ遷延スルニ至
 リシナル可キコトハ當時ノ事情ヲ視察セル者ノ多ク然リト
 スル所ナリ然ルニ此等ノ要求ヲ拒ミシテ以テ却テ改革說

ヲ刺激スルニ至レリ一千八百三十年シヨン、ラスセル公ハ
 最早ペンリン及ビイースト、ソットフォールドノ事ヲ論ズルモ
 到底益ナシト思惟シ更ニリトツ、ピルミンガム、マンチエスタ
 一ニ議員選出ノ免許ヲ與ヘ且今後ニ私曲ヲ行ヒシコノ罪
 証ヲ得タル最初ノ三城市ノ免許ヲ全ク剝奪スルノ議案ヲ
 提出セリ公ノ議案ヲ駁スルノ要點ハ若シ此等ノ市邑ニ免
 許ヲ與ルトキハ爾後他ノ大市邑ノ要求ヲ拒ムコト能ハズシ
 テ其底止スル所ヲ知ラザルニ至ルベシト云フニ在リ此時
 一ノ修正案ヲ出セシ所ノサンドン公ノ説ニ關シハスキス
 ソン氏ハ著明ナル言ヲ爲セリ曰ク余ハ尙ホ壯年ナルヲ以
 テ製造市邑ノ大ナル者ニ代議士選出ノ免許ヲ與ヘザル可
 カラザルニ至ルノ日ヲ見ルノ壽ヲ保ツナルヘシ予ハ斯カ

ル日ノ次第ニ迫リテ早晚陛下ノ宰相ガ國家ヲ救済スルニ
 必要ナリトシテ斯カル議案ヲ提出センガ爲メニ下院ニ來
 ルノ日アル可キコト信セリト此豫言ハ一年ヲ經ズシテ果
 シテ實驗セラレタリト雖モ不幸ナル此政治家ハ之ヲ見ル
 ノ壽ヲ保タザリキ(按)ハスキスソノハ千七百七十年ニ生ル
故ニ此討論ノ時ハ六十歳ナリ此年マ
チエスタ、イヨリリ、ヴ、プ、ールニ達スル鐵道開業ノ際瀕而シ
車ニ觸レテ死ス故ニ此豫言ノ成効ヲ見ル能ハザリキ
 テ以上ラスセル公ノ議案ハ四十八名ノ多數ヲ以テ廢棄セ
 ラレタリ抑々此議案ハ毫モ現存ノ權利ニ關係スルコトナク
 免許剝奪ニ對スルノ駁議ヲ受ク可キ者ニ非ズシテ實ニ穩
 當ノ方案ナリト雖モ尙ホ反對者ノ少量且頑牢ニシテ新法
 ヲ忌ムガ爲メニ茲ニ至テ終ニ廢棄セラレタリ
 又本期ノ國會ニ於テ以上ノ議案ト大ニ性質ヲ異ニスル所

年ノ他ノ議案

ノ他ノ議案ヲ出セシ者アリキヲコチル氏ハ普通選舉ヲ行
 ヒ毎三年國會ヲ改選シ暗投票ヲ行フノ議ヲ出セリシヨシ
 ラスセル公ハ大市邑ニ免許ヲ與ヘ人口ニ富ム所ノ州郡ノ
 代議士ヲ増加シ且下院議員全數ノ増加ヲ避ケンガ爲メニ
 或ル十城市ノ免許ヲ奪ヒ又或ル他ノ城市ヨリ一名以上ノ
 代議士ヲ出スヲ禁ズ可シトノ議ヲ出シ以テ右ノ議ニ代ヘ
 ントノ修正說ヲ爲セリ討論ノ際ロベルト、ピール氏ノ曰ク
 彼輩ハ全体ニ於テ人民ガ下院ニ代表セラレザルヤ否ヤ人
 民ノ輿論ハ十分ニ公表セラレザルヤ否ヤヲ考察セザル可
 ラズ余ノ見ル所ヲ以テセバ人民ハ十分ニ代表セラル、チ
 思フナリト此說ハウエリントン公ノ後日ノ有名ナル公言ニ
 對スルノ序言タルニ過ヤザルナリ而シテ以上ノ動議及ビ

一千八百三十
年ノ議院解散

修正ハ共ニ取レタリト雖モ此等ノ年々數度ノ討論ノ爲メ
 ニ大ニ世ノ人心ヲ議院改革說ニ喚起シ若シ大事件ノ起ル
 ニ於テハ直チニ熱心ヲ發ス可キノ勢トナレリ
 本期國會ノ終ラントスルニ際シジョージ四世ノ殞落セシ
 ナ以テ議院ヲ解散セリ當時政府ハ脆弱ニシテ舊政黨赦免
 條例ノ可決後ハ政黨ノ組織解裂シ而シテ前期國會ニ於テ
 議院改革ノ問題ヲ屢々討議セシテ前述ノ如クナルヲ以テ
 今回選舉ノ際ニ於テ議院改革說ハ最モ人望ノ歸スル所ト
 ナレリ而テ總選舉ノ時ハ常ニ人心ノ沸騰スルヲナルニ今
 回ハ外國ニ於テ驚ク可キノ事件起リシヲ以テ人心ノ沸騰
 セシト通常ノ例ノ外ニ出デタリ蓋新議員選舉ノ令狀ヲ發
 セシト殆ド同時ニ於テ佛王チャトレス十世ハ斷行政畧ヲ

試ミタル後俄然其位ヲ失ヒ身ハ一個ノ追放人トナリテ英國ニ向テ既ニ發途セリチャールズ王ハ佛國ノ出版ノ自由ヲ抑制シ其代議制度ヲ壓服セントシテ敗ヲ取リシ者ナルガ故ニ此革命ハ英人ヲシテ同情ノ心ヲ起サシメ爲メニ改進ノ主義ニ刺激ヲ與ヘタリ且又是ニ續キ白耳義ニ於テモ革命アリシヲ以テ益々人心ノ沸騰ヲ増シタリ新選議員ハ此ノ如キ事變ノ際ニ選舉セラレタル者ニシテ十月ニ至リ其會合ヲ開ケリ強固ナル政府若クハ公認セラレタル領袖ノ之ヲ制スルアルナク又通常ノ如ク政黨ノ結合ノ爲メニ束縛セラル、コナカリシヲ以テ今回ノ國會ハ新鮮ナル政治主義ヲ容ル、ニ最モ適シタリ而シテ第一夜ノ會合ニ於テ其方向ハ既ニ定マンリ

ウエリントン
公ノ公言

此ノ如キノ勢ナリシヲ以テウエリントン公ガ纔ニ數語ヲ吐クヤ忽チニ暴風一起シテ公ノ政府ヲ捲キ去リ公ノ党派ヲ破壊スルニ至レリ王ニ呈スル答詞ヲ議スルノ際グレー公ハ議院改革ノ事ヲ論ジ夫ノ舊政黨赦免ノ問題ノ如クニ政府ガ主義ニ於テハ決シテ許容スルヲ欲セザルノ事ヲ單ニ目前ノ便宜ニ從ヒ止ムヲ得ズシテ許容セザルヲ得ザルノ勢ニ迫ルマデ議院改革ノ問題ヲ遷延セシムルナカラシムヲ望ム旨ヲ述ベタリ而シテウエリントン公ガグレー公ノ此言ニ激セラレテ現時ノ代議制度ノ不可ナラザルヲ信ズルヲ公言シタリシハ甚ダ時ノ宣シキヲ失ヒタル者ト謂フ可シ公ハ我國民ガ立法上一切ノ目的ヲ達スルニ適當ナル立法院ヲ現有スルノミナラズ現時ノ立法院が能ク其目的

達スルコトハ何等ノ國ノ何等ノ立法院ト雖モ曾テ及ハザ
 ル所ナリト確信スルコトヲ述ベタリ公ハ更ニ歩ヲ進メ我立
 法院及ビ代議制度ハ十分ニ國民ノ信用ヲ有シ又其信用ヲ
 有スルハ固ヨリ當然ノ事ニシテ立法院ノ討論ハ國民ノ興
 論ニ對シテ大勢力アリト云ヘリ公ハ又更ニ歩ヲ進メ言テ
 曰ク現時何等ノ國タルヲ問ハズ之ニ向テ一ノ立法院ヲ組
 織スルノ任ヲ余ニ受ルコトアレハ余ハ吾人が現有スル如キ
 立法院ヲ起サンコトヲ欲スト雖モ余ハ之ヲ起シ得ルコトヲ確
 言スル能ハザルナリ何トナレハ人類ノ性質ハ一飛シテ我
 立法院ニ適スルホドノ高點ニ達スルコト能ハザレバナリ然
 レモ余ハ成ルベク之ト同様ノ結果ヲ生シ得ル如キ立法院
 ヲ組織センコトヲ最モ勉ムルナル可シ就中我國ト同様ニ諸

種ノ所有品ニ富ム所ノ國ノ爲メニ之ヲ組織スルトキニハ
 特ニ然リトス(中略)斯カル事情ナルガ故ニ余ハグロト公カ
 暗説セル如キ何等ノ議案ヲモ提出スルヲ欲セザルナリ余
 ハ唯此類ノ議案ヲ提出スルヲ欲セザルノミナラズ余一個
 ノ見ヲ以テ之ヲ云フトキハ苟モ余ニシテ政府中ニ位置ヲ
 占ムル間ハ若シ他人ニ於テ斯カル議案ヲ出スコトアルモ常
 ニ之ニ抵抗スルハ余ノ義務ナリト信ズルコトヲ明言セザル
 ヲ得ザルナリト
 蓋シ我英國ノ政体ヲ贊美スルハ珍シカラズシテ久シク世
 ノ耳目ニ慣ルル所ナレバ以上ウヰリントン公ノ説ノ如キモ
 若シ當時ニ非ザリセハ此等ノ他ノ贊美ト同シク人ノ注意
 ヲ惹起シ耳目ヲ驚動スルコトアラザル可キナリ然レモ斯ク

我代議制度ノ全体ヲ辨護スルハ如何ナル政治家ト雖モ敢テ之ヲ爲ササル可シト思ハル、ナリ從來ノ諸宰相ハ當時ノ如ク代議制度ノ弊害ノ屢々露顯セズ又輿論ノ斯ク喚起セラレザルノ時ニ於テモ尙ホ我代議制度ノ理論上ノ功能ヲ辨護スルニ於テ通常大ニ戒慎ヲ加ル所アリキ從來ノ諸宰相中或ハ新法ヲ施スノ危険ナルヲ論ゼシ者アリ或ハ我制度ハ理論上ニ於テ完美ナラザル者アリトスルモ尙ホ實際ニ於テ十分ノ良効アルヲ述ベシ者アリ或ハ人民ガ現時ノ制度ニ満足シテ敢テ變革ヲ望マザルヲ述ベシ者アリ或ハ變革ノ議ヲ唱ヘザル所以ノ理由トシテ外國ノ革命ヲ引証シ又ハ內國人民ノ之ヲ好マザルヲ述ベシモノアリ然レモ當時ノ如ク人心沸騰ノ際ニ在テ我制度ハ完美ニ

內閣ノ失權

シテ人民ノ信用ヲ受ルハ固ヨリ當然ノ事ナリト公言シテ人民ノ判斷ヲ蔑視スルガ如キハ從來宰相ノ爲サザリシ所ニシテウヱリントン公ニ至テ始テ之ヲ公言セシ者ナリ同夜ニ於テブルーム氏ハ議院改革ノ事ニ關シテ議案ヲ出ストキ通知セリ而シテ王室年俸金ノ計算ヲ調査セシメシガ爲メニ委員ヲ選任スルノ議ニ關シテ政府党ハ下院ニ於テ敗テ取リシガ故ニ爾後二週間ヲ經ズシテウヱリントン公ノ內閣ハ其職ヲ辭セリ故ニ內閣辭職ノ近因ハ右ノ失敗ニアリト雖モブルーム氏カ通知シタル議案ノ如キモ內閣ヲシテ後日ノ煩厭ヲ避ケンガ爲メニ辭職ノ決心ヲ爲サシムルニ於テ多少ノ影響ナカラザリシヲ得ザルナリ

年クレト公ノ
内閣

人民ニ於テ議
院改革ヲ熱心
ニ主張スルヲ

首相ハ其職ニ就クヤ第一ニ告知シテ曰ク政府ハ歲月ヲ經ルニ從ヒ漸々代議制度上ニ起リシ所ノ諸弊害ヲ匡正シ又議院ヲシテ人民ノ信用ヲ恢復セシメンガ爲メニ直ニ代議制度ノ實狀ヲ稽查ス可シ蓋シ國家ノ福利安寧ヲ保チ政府ノ基礎ヲ鞏固ナラシメンニハ人民ニ於テ議院ニ十分ノ信ヲ置クコト最モ緊要ナリト雖モ現時ニ於テハ人民十分ノ信ヲ議院ニ置カザルノ患アレバナリト

政府ハ今ヤ議院改革ノ議案ヲ出スコトヲ約シタル者ニシテ「クリスマス」大祭日ノ休會中ニ於テ該議案ノ調製ニ從事セリ而シテ此際人民ニ於テハ熱心ニ議院改革説ヲ主張セリ各所ニ議院改革ヲ主張スルノ集會ヲ開キ政社ヲ創立シ又改革ノ請願ヲ出セシ者甚ダ多カリキ然レモ政府ガ議院ヲ

改革センガ爲メニ當ラザル可ラザルノ困難ハ極テ大ニシテ人民ヨリ成ル可ク至大ノ賛助ヲ受ケンコトヲ要シタリ王ハ議院改革ヲ忌ミ又城市ノ所有主ノ如キハ固ヨリ現時ノ制ニ利スル者ナレハ改革ヲ惡ムノ念強クピット氏ノ如キモ之ヲ壓スル能ハズシテ代償ヲ與ヘントシタルホドナリ又上院議員ノ三分ノ二ハ改革ニ抗シ下院ノ多數議員ノ如キモ或ハ之ニ抗スルヤモ知ル可ラズ而シテ就中國民中ニ王權主義ノ勢力強大ニシテ大ニ改革説ヲ害スルアリ而シテ政府ハ此等ノ諸困難ニ當ラザルヲ得ザルナリ蓋シ王權主義ハ六十年ノ治世ノ間ニ於テ大ニ其勢力ヲ強メ單ニ主治者ノ間ニ局限セラレズシテ廣ク社會ニ行ハレ今ヤ危險ノ將ニ迫ラントスルヲ恐ル、ガ爲メニ王權党ハ愈々其主

一千八百三十
年及ヒ三十
年第一ノ議院
改革案

義ヲ固執セリ又之ニ反シテ熱心ナル改革党ハ其激烈ニ過
ルガ爲メニ改革反對黨ヲ畏懼セシムルト同時ニ政府ヲモ
困却セシメ却テ改革説ヲ害シタリ
二月三日議院ハ休會後再ビ會合セシテ以テグローク公ハ之
ニ告知シテ曰ク政府ハ穩當中正ノ適度ヲ越ヘズシテ必ズ
効驗アル可シト思惟スル所ノ一議案ヲ調製スルヲ得タリ
且此議案ハ全政府ノ一致ヲ受タリト而シテ此議案ハ三月
一日ヲ以テシモンラスセル公之ヲ下院ニ提出セリ公ハ内
閣員ニ非ズト雖此榮譽アル任ヲ托セラレタル者ニシテ
其任ヲ公ニ托シタルハ至當ノ事ナリト云フ可シ公ハ下院
ニ於テハ既ニ改革ノ問題ヲ以テ自家ノ問題トナセシ者ニ
シテ今ヤ公ハ政府ノ政界ノ代辨者トナレリ此議案ノ大要

ヲ畧記セハ英蘭ニ於テハ六十ノ最小ノ城市ノ免許ヲ奪ヒ
他ノ四十七ノ城市ヲシテ各々一名ノ代議士ヲ減セシメ都
府ノ議員ニ八名ヲ加ヘ大市邑ニ三十四名ノ議員ヲ加ヘ州
郡ニ五十五名ノ議員ヲ加ヘ又蘇格蘭ニ五名愛爾蘭ニ三名
ウエールズニ一名ノ新議員ヲ與ルニアリトス斯ク選舉權ノ
分配ヲ改ムルガ爲メニ下院議員ノ總數ハ六百五十八人ニ
リ五百九十六人ニ減シ即チ六十二人ヲ減ズルノ割合ナリ
城市ニ於テハ舊來ノ選舉權ヲ廢シテ更ニ十磅以上ノ家宅
所有者ニ選舉權ヲ與ヘ又城市協同ヨリ其從來專有セシ所
ノ特許ヲ剝奪シタリ此改革ニ因リ新ニ選舉權ヲ得ル者五
十万人ナリトノ計算ナリ又此議案中ニ投票ヲ記録スルノ
方法及ビ投票ヲ行フノ方法ヲ改良スルノ策ヲ立テタリ

此勇敢ナル議案ハ改革反對黨ヲ驚カシメタルト同時ニ過激ナル改革党ノ心ヲ満足セシムルニ足ラザリキ然レモ概シテ之ヲ言ヘバ改革党及び國民ハ之ヲ善遇セリ而シテ今ヤ我歴史中ノ最モ騒然タル時期ノ一ニ近キタリト雖モ此時期中ニ起リタル事件ハ速ニ之ヲ論過シ去ラザル可カラス七夜ノ討論ノ後此議案ハ可否ノ起立ヲ爲スヲ要セズシテ之ヲ提出セシムルトニ決セリ改革反對党ハ勉メテ其勢力ヲ張リ又人民ノ此議案ヲ贊助スルノ熱心ハ益々増加セリ三月二十二日ニ至リ僅ニ一名ノ多數ヲ以テ此議案ノ第二讀會ヲ通過セリ此日ノ出席議員ノ數ハ六百八人ニシテ從來可否ノ起立ヲ取ルノ際ニ於テ斯ク多數議員ノ出席セシトハ其先例ナキ所ナリト云フ四月十九日閣院委員會ニ

一千八百三十一年議院ノ解散

於テゼテラル、ガス、コニーガ英蘭ヨリ選出ス可キ議員ノ數ヲ減ズ可ラズトノ議ヲ出ダセシ時宰相党ハ八名ノ少數ニテアリキ二十一日宰相ハ最早議案ヲ討論スルヲ止メテ到底議院ヲ解散セシムルノ意ナルトヲ告知セリ而シテ同夜宰相ハ延期ノ疑問ニ關シテ再ビ二十二名ノ多數ノ爲メニ敗ヲ取レリ此最後ノ決議ニ因リ勝敗ノ數ハ既ニ定マリタル者ト云フ可シ而シテ翌日王ハ自ラ議院ニ臨ミ直ニ之ヲ解散セシムルノ目的ヲ以テ其延會ヲ命ジタリ蓋シ此日ハ我國ノ歴史中ノ最モ緊要切迫ナル日ナリト云フヘシ改革議案ハ人民ノ感覺ト情慾トヲ喚起セシ所ニシテ内閣ハ此議案ハ上下兩院及び主治種族ノ惡ム所タルトヲ知リシガ故ニ之ヲ維

一千八百三十一年第二ノ議院改革議案

上院ニ於テ此議案ヲ廢棄セシム

持センガ爲メニ政治上ノ激騒ノ際ニ在テ敢テ議院ヲ解散シ以テ人民ニ訴ヘタリ
今ヤ人民ハ此問題ノ勝敗ヲ決ス可キノ位置ニ立ツ者ニシテ遂ニ之ヲ決シタリ蓋シ今回ノ改選ニ於テ改革議案ヲ實行スルコトヲ保証シタル勝チ誇リタル一隊ノ改革黨選舉セラレケリ而シテ七月六日第二ノ改革議案ハ百三十六名ノ多數ヲ以テ第二讀會ヲ通過セリ委員會ニ於テ毎夜最モ煩雜激烈ナル議論起リテ九月二十一日ニ至ルマデハ議案ノ可否ヲ決スルニ至ラザリキ而シテ終ニ此日ニ至リ百九名ノ多數ヲ以テ此議案ヲ可決セリ
上院議員ノ尙ホ此議案ニ反對スルコトハ疑フ可ラザル所ナリト雖モ斯カル激騒ノ際ニ在テ敢テ民意ニ抵抗スルヤ否

一千八百三十一年及ヒ三十二年第三ノ議院改革議案

ヤハ確言シ難キ者アリキ然ルニ十月七日ニ至リ五夜ノ討論ヲ經ルノ後第二讀會ニ於テ四十一名ノ多數ヲ以テ此議案ヲ否決シタリ此時ノ討論ハ上院ノ名ヲ顯彰シタル有名ナル討論ノ一ニシテ又歴史上ノ一大事件ナリトス
是ヲ以テ更ニ再ビ戰爭ヲ開カザル可ラザルニ至レリ内閣諸相ハ人民ニ對シテ改革ヲ行フノ義務ヲ負擔シタルヲ以テ固ヨリ職ヲ辞スルノ心ナキナリ而シテ下院ニ於テハ直ニエブリントン公ノ議ヲ採リテ宰相ヲ信任スル旨ノ決ヲ爲シ以テ宰相ヲ贊助セリ十月二十日ニ至リ議院ヲ延期シタリト雖モ十二月六日ニ至リ再ビ會合セリ此延期ノ間ハ國內激動ト騷擾ト危險トノ狀ヲ呈セリ而テ直ニ第三ノ改革議案ヲ提出セリ此議案ハ以前ノ議案ニ比スレバ改良セ

シ点多ク且新近ナル戸籍表ノ出来セルト其他統計上ノ調査ヲ遂ゲタルトノ故ヲ以テ大ニ改良セリ就中其變更セル点ノ重モナル者ハ前議案ノ如クニ下院議員ノ総數ヲ減ゼザルニアリトス十二月十八日即チ日曜日ノ朝ニ於テ百六十二名ノ多數ヲ以テ第二讀會ヲ了ヘ三月二十三日ニ於テ下院ヲ通過シ再ビ上院ニ達シタリ

上院ニ於テ再ビ此議案ヲ否決スルノ危険ナルコトハ明カナリトス而シテ議員中或ハ勇氣ヲ失ヒシ者アリ或ハ愛國ノ情ヲ發起セシ者アリテ四夜ノ討論ノ後僅ニ九名ノ多數ヲ以テ第二讀會ヲ通過セリ然レニ此議案ハ未ダ危難ヲ免レザルナリ何トナレバ上院ニテハ最早斯カル議案ヲ廢棄スルヲ爲サザル可シト雖モ尙ホ之ニ修整ヲ加ヘテ其最要點

一千八百三十二年四月十三日
上院ニ於テ此議案ノ第二讀會ヲ開キシ

ヲ變更スルコトニ着手セントシタレバナリ而シテ此時ニ當リ人民ハ益々激動シテ危險ノ狀ヲ現シ強迫及ビ腕力ノ説ヲ爲スニ至レリ政社及ビ憤激セル集會ニ於テハ皆威迫ノ狀ヲ示シ國家ノ平和ヲ害スルホドノ一激動ヲ來タサントスルノ勢ニシテ佞令ヒ革命ヲ起スニ至ラザルモ尙ホ將ニ一大騒乱ヲ發セントスルノ有様ナリキ

上院ニテ城市ノ免許ヲ剝奪スル箇條ノ討議ヲ延期セシ

城市ノ免許ヲ剝奪スルコトハ實ニ此議案ノ基礎ナリトス然ルニ上院ニ於テ此議案ノ委員會ヲ開クヤ先ツ第一ニ三十三名ノ多數ヲ以テ城市ノ免許ヲ剝奪スル箇條ノ討議ヲ延期スルコトニ決セリ反對黨ノ貴族ハ改革議案ヲ許容スルコトヲ公言シタルニモ拘ラズ今ヤ之ニ向テ種々ノ修整ヲ加フルコトハ明瞭トナレリ而シテ此等ノ修整ハ宰相ガ人民及ビ

下院ニ對スルノ面目ニ於テ決シテ同意ス可ラザル者ナリトス故ニ上院ヲ壓服スルカ然ラザレハ宰相職ヲ辭スルカ其一ヲ取ラザル可カラザルノ機ニ迫レリ而シテ二者ノ何レニ出ヅ可キ乎ヲ王ニ奏議セシニ王ハ新貴族ヲ造ルヲ否ミタルヲ以テ宰相ハ終ニ其職ヲ辭シ王ハ其辭職ヲ聞届ケタリ此時下院ハ再ビ改革議案及ビ改革黨ノ宰相ヲ援助シエブリントン公ノ動議ヲ採リテ一ノ要求書ヲ王ニ奏上セリ此要求書ニハ下院ガ従前ノ如ク前内閣ヲ信用スルヲ述ベ又彙ニ下院ノ通過セシ所ノ人民ノ代議ヲ改良スルノ議案ヲ毫モ其要点ヲ變ゼズシテ實行スル如キ人々ノミヲ舉ゲテ内閣ニ列セシメンヲ王ニ懇願セリ

又王ハ新内閣ヲ組織スルヲニ關シテ固ク左ノ一事ヲ主持

シタリ即チ新内閣ハ其組織ノ如何ヲ問ハズ必ズ改革議案ヲ行フコトヲ約セザル可カラズト云フコト是ナリ然レモ下院及ビ人民ニ於テ若シ自家ノ改革議案ヲ捐棄シテ反對黨ノ手ニ成ル所ノ改革議案ニ同意スルヲ肯ニスル者トスルモ尙ホ斯カル新内閣ハ到底之ヲ組織スルヲ能ハザルナリ而シテ人民ノ激動ハ愈々甚クシテ又従前ノ比ニアラズ故ニ人民ト政府トノ間ニ殘酷ナル激争ヲ生ズルノ危険ハ目前ニ迫レリ而シテ恰モ此時ニ於テグロト公ハ再ビ内閣ニ舉ゲラレタリ今ヤ議案ハ安全ニシテ最早廢棄ノ患ナシトス蓋シ政府ハ新貴族ヲ造ラントセシガ故ニ上院ハ之ヲ避ケンガ爲メニ更ニ議案ニ抵抗スルヲ思ヒ止マリタレバナリ而シテ世ニ一千八百三十二年ノ大法ト稱スル所ノ此

一千八百三十
二年英蘭ノ議
院改革條例

議案ハ終ニ王ノ制可ヲ得タリ
今ヤ此有名ナル議案ノ箇條ヲ論シ且此條例ハ五十年間以
上愁訴セラレシ所ノ選舉制度ノ弊害ヲ如何ナル度マデ匡
正スルヲ得タル乎ヲ視察セザル可カラズ從前ノ選舉制度
ノ弊害ノ重モナル者ハ指名選舉ノ城市即チ衰替セル城市
ニ於テ舉選權ヲ有セシト是ナリ而シテ今回ノ條例ニ因リ
此等ノ城市中ノ五十六ヲ廢止セリ此五十六ノ城市ハ合計
ニ於テ二千人以下ノ人口ヲ有シ百十一名ノ代議士ヲ選出
セシ者ナリ又此外ニ合計ニ於テ四千人以下ノ人口ヲ有ス
ル所ノ三十ノ城市ハ各々一名ノ代議士ヲ失ヒウエーマウス
メルコムブ、レシスハ各々二名ヲ失ヘリ又次ノ弊害ハ人口
ニ富メル地方ニ於テ代議士ヲ出サザリシトニシテ今ヤ此

弊ヲ匡正セリ二十二ノ大市邑(此中ニ都府ノ近郊ヲモ算入
ス)ハ各々二名ノ代議士ヲ選出スルノ特許ヲ得又此外二十
ノ市邑ハ各々一名ノ代議士ヲ出スヲ得ルトナレリ又今
回議院ノ坐席ヲ分配スルニ於テ人口ニ富メル州郡ノ如キ
モ空看セラレズシテ州郡代議士ノ總數ハ九十四人ヨリ百
五十九人ニ増加セリ州ノ大ナル者ハ之ヲ分テ數州トナシ
選舉區ノ大小盛衰ニ應ジテ代議士ノ數ヲ定メタリ
次ノ弊害ハ選舉權ノ狹隘ニシテ不公平ナリシト是ナリ而
シテ此弊モ亦之ヲ匡正シタリ城市ニ於テハ諸種ノ狹隘ナ
ル選舉權ハ悉ク之ヲ廢シ十磅以上ノ家宅所有者ニ選舉權
ヲ與ヘタリ唯從前ノ選舉權ヲ存シタルハ自治市邑ノ自由
市民ニ屬スル選舉權ノミニシテ且此等ノ自由市民ハ其城

市内ニ居住スルニ非ザレハ議員ヲ選舉スル能ハザルコト
 ナセリ又自由市民中ニテモ一千八百三十一年後ニ其特許
 ヲ受シ者ハ選舉權ヲ有セザルコト定メタリ蓋シ總選舉ノ
 際ニ於テ改革黨ノ候補者ヲ壓服セシメンガ爲メニ濫リニ
 羣民ニ自由市民ノ特許ヲ與ヘ而シテ此等ノ自由市民ハ其
 目的ノ用ニ達シタリ故ニ今此等ノ自由市民ハ悉ク選舉權
 ヲ剝奪セラレタリ爾後ハ自治市邑ノ自由市民トナリテ選
 舉權ヲ享有スルノ權アル者ハ其市邑ニ於テ生レナガラ此
 權ヲ享受スル者ト其他借家等ノ資格ニヨリ此權ヲ享受ス
 ル者トノミニ限レリ

又州郡ニ於テハ定期ノ「コピーホルド」借地者及「リース
 ホルド」借地者ト一年五十磅以上ノ借地料ヲ拂フ所ノ「テナ

ント、アト、ウヰル」借地者トニ選舉權ヲ與ヘ以テ其選舉者ヲ増
 加シタリ（按「テナント、アト、ウヰル」借地者トハ豫メ其期限ヲ定
 地主ニ於テ隨意ニ之ヲ「テナント、アト、ウヰル」借地者ニ選舉權
 取上クルヲ得ルナリ）「テナント、アト、ウヰル」借地者ニ選舉權
 ヲ與ヘタルハ下院ニ於テ「チャンドス」公ノ議ヲ採リ政府ノ
 意見ニ反シテ爾カセシナリ而シテ其目的トスル所ハ地主
 ノ權勢ヲ加ヘントスルニ在リ蓋シ「テナント、アト、ウヰル」借地
 者ハ最モ地主ノ權ニ服スル者ニシテ之ニ選舉權ヲ與ルト
 キハ地主ノ權勢ヲ増加スルコト疑フ可カラザレハナリ然レ
 此之ガ爲メニ實ニ數多ノ人ニ選舉權ヲ與ヘタルガ故ニ此
 事ノ如キモ亦少ナクモ改革條例ノ寛大ナル目的ニ齟齬セ
 ル者ニ非ズト云フ可シ

代議制度ノ今一ノ弊害ハ選舉ニ濫費ノ行ハル、コト是ナリ

而シテ選舉者ノ名ヲ記録シ州郡及ビ城市ヲ分畫シテ便利ナル投票區ヲ立テ又投票日數ヲ減ゼシ等ノ手段ニ因リテ此弊害ヲ匡正セントセリ

以上ノ改革條例ハ勇敢包大穩當ニシテ且憲法ニ合ヘル者ト云フ可シ此條例ハ民權主義ナリト雖モ共和主義ニ非ズ革命ノ危險ヲ冒スコトナクシテ自由ヲ擴張シタリ二年前ニ在テハ議院ハ代議士ナキ市邑ニ代議士選出ノ免許ヲ與ルコトハ一市邑タリモ尙ホ且之ヲ拒メリ然ルニ今ヤ斯ク廣大ニ選舉權ノ分配ヲ改正スルノ業ヲ成就シタリ固ヨリ此條例ノ起草者ニ於テモ此條例ハ理論上ニ於テ完美ヲ尽シタル者ニシテ後世政治家ノ之ニ改良ヲ加フ可キノ餘地ナシト確言セルニハ非ザルナリ然レモ此條例ノ如キハ危險

一千八百三十
二年蘇格蘭ノ
議院改革條例

ナル問題ヲ最モ巧ミニ處辨シタル者ト云ハザル可ラズ而シテ此條例ニ如何ナル缺点アル乎ハ後段此等ノ缺点ヲ匡正セント勉メシコト論ズルノ篇ニ於テ之ヲ示ス可シ然レモ其缺点ハ如何ナル者タルニモセヨ此改革條例ノ緊要ナルコトハ夫ノ權利法典後ノ如何ナル法律ト雖モ之ニ比ス可キ者アルナキナリ此條例ハ之ニ關シテ非常ノ爭論ヲ起シタル丈ケノ價格アル者ニシテ之ヲ計畫スルノ智能ト之ヲ實行スルノ勇氣トヲ有セシ所ノ政治家ニ實ニ不朽ノ名譽ヲ與ル者ナリトス

蘇格蘭ノ代議制度ノ缺点ハ英蘭ニ比スレバ更ニ甚クシテ決シテ辨護シ得可ラザル者ナレバグレイ公ガ其改革案ヲ立ルニ於テ又之ヲ看過ス可クモアラザルナリ而シテ一

千八百三十一年三月九日ニ於テ蘇格蘭ノ代議制度ヲ改正
 スルノ議案提出セラレタリ然レニ議院ハ英蘭ノ改革條例
 ノ討議ニ從事シ且俄ニ解散ヲ命ゼラレシヲ以テ蘇格蘭ニ
 關スル議案ヲ討議スルコト能ハザリキ又一千八百三十一年
 冬期ノ國會モ其開合ノ期限短促ニシテ該議案ヲ討議スル
 ニ違アラザリキ然レニ一千八百三十二年ニ至リ改革党ハ
 一般ニ勝利ヲ得シヲ以テ蘇ノ改革議案ノ如キモ亦其通過
 ヲ必シ得ベキニ至レリ該國ノ代議制度ノ全体ヲ改正シ英
 蘇合併ノ時ニ於テ該國代議士ノ數ヲ四十五名ニ定メタリ
 卜雖モ今ヤ之ヲ増加シテ五十三名トナシ内三十名ハ之ヲ
 州郡ニ配當シ二十三名ハ之ヲ都府及ビ城市ニ配當セリ又
 州郡ニ於テハ一ケ年十磅以上ノ價格ヲ生ズル所ノ所有品

ヲ有スル者及ビ或ル種類ノリースホルド借地者ニ凡テ選
 舉權ヲ與ヘタリ又城市ニ於テハ十磅以上ノ家宅所有者ニ
 凡テ選舉權ヲ與ヘタリ

一千八百三十
 二年愛爾蘭ノ
 議院改革條例

英蘭ノ制度ニ付着セシ所ノ缺点ハ又多ク愛爾蘭ノ制度ニ
 於テモ之ヲ見タリ然レニ該國ノ衰替セル指名選舉ノ城市
 ハ英ト合併ノ際ニ於テ多ク其免許ヲ剝奪シタルヲ以テ愛
 爾蘭ノ改革條例ニ於テハ別ニ免許ヲ剝奪スルヲ爲サザリ
 キ然レニ城市協同ヨリ選舉權ヲ剝奪シテ之ヲ十磅以上ノ
 家宅所有者ニ與ヘ又州郡ノ選舉者ヲ大ニ増加シタリ合併
 ノ時ニ於テ愛爾蘭ノ代議士ノ數ヲ百名ト定メタリト雖モ
 今回之ヲ増加シテ百五名トナシタリ

一千五百五十

一千八百三十二年ニ制定シタル三大改革條例ノ中ニテ愛

年更ニ愛爾蘭ノ選舉權ヲ廣メタルコト

爾蘭ノ改革條例ハ最モ良効ナクシテ條例ノ制定後直ニ之ニ因テ興ヘタル選舉權ノ尙ホ狹隘ナルコトヲ愁訴スル者アルニ至レリ蓋シ該條例ニ據テ選舉者ヲ記録シタリシニ其數甚ダ少ナクシテ大ニ豫期セシ所ニ違ヘリ故ニ數度ノ討議ノ後一千八百五十年ニ至リ一條例ヲ制定シテ選舉權ヲ廣メ城市ニ於テハ八磅以上ノ家宅所有者ニ之ヲ與ヘ又州郡ノ選舉者ノ如キモ更ニ之ヲ増加セリ
斯ノ如クニシテ更ニ基礎ヲ廣大ニシテ以テ我國ノ代議制度ヲ改正セリ故ニ選舉權ヲ享有スル所ノ人民ノ階級大ニ増加シ人民ノ利害ト政治上ノ意見トハ從前ニ比スレバ更ニ自由ニ下院ニ代表セラル、ニ至レリ左レバ改正後ノ議院ハ從前ノ議院ニ比スレバ更ニ改進ノ政略ヲ執リ有力活

議院改革條例ノ政治上ノ結果

改革條例後ノ賄略

濫ニシテ人民ノ輿論ニ從ヒ隨テ其信用ヲ受ルコトハ疑フ可ラザルナリ然レニ尙ホ議院ノ制度ニ付着セル弊害ノ更ニ論ゼザル可ラザル者アルナリ
前段ニ論述セル選舉制度ノ弊害ノ最モ重モナル者ハ選舉上ニ賄賂ノ行ハル、コト是ナリ而シテ改革條例ニ於テハ一モ直接ニ此弊ヲ匡正ス可キノ策ヲ立テザリキ蓋シ立法院ハ選舉者ノ數ヲ増加シタルヲ以テ爲メニ選舉者ガ其選舉權ヲ行フニ於テ獨立ヲ保チ愛國心ヲ發起スルニ至ランコトヲ信シ且既ニ賄賂ヲ禁ズルノ法律アルナレバ別ニ之ヲ禁ズルヲ要セズト思惟セシナリ然レニ賄賂ハ富裕ナル國ノ自由政体ニ付着スル所ノ弊害ニシテ選舉權ヲ増加スルニ從ヒ其賣買モ亦増加スルコトハ速ニ明瞭トナレリ從前賄賂

ハ指名選舉ノ城市ニ行ハレシニ非ズ又ハ一束ニ賣買セラ
 ル、所ノ城市ニ行ハレシニ非ズシテ殆ド城市ノ所有主ト
 同一ノ特許ヲ有スル所ノ小數ノ選舉者ガ自家ノ選舉權ニ
 因テ與フルヲ得ル所ノ議員ノ席ヲ販賣スル如キ場所ニ行
 ハレシ者ナリトス
 然ルニ改革條例ハ賄賂ノ行ハレザル城市ヲ廢シテ賄賂ノ
 弊習ニ慣ル、所ノ城市及ビ選舉者ハ却テ之ヲ存シタリ而
 シテ新ニ造リシ所ノ城市ノ如キモ亦同一ノ誘惑ノ爲メニ
 動カサル、ノ思アリトス故ニ改革條例ハ若シ道德心ヲ以
 テ之ヲ匡正スルニ非ザルヨリハ小城市ノ弊習ヲ減ゼズシ
 テ却テ之ヲ増加スルノ傾向ナキヲ得ザルナリ抑々賄賂ノ
 弊習ハ我國ノ富ノ増加シタルガ爲メニ始テ發セシ者ニシ

テ今日ニ於テ我國ノ富ノ蓄積ノ巨大ナルコトハ前代ノ歴史
 ニ其先例ヲ見ザル所ナルヲ以テ賄賂ノ如キモ更ニ一層甚
 シク行ハル、ニ至ル可キナリ夫ノ「チーボブ」ノ富ハ往時ニ
 在テ選舉上ニ弊習ヲ生ズルノ原因トナレリ然ラバ則チ我
 今代ノ巨大ナル財産ヲ以テ選舉者ヲ誘惑スルコトハ更ニ甚
 シカラザルヲ得ザルナリ綿布石炭及ビ鐵ノ貿易又ハ蒸氣
 機械及ビ鑛道等ノ爲メニ數千ノ人ヲシテ鉅万ノ財ヲ蓄積
 セシメ往時ニ於テ大富ノ商人ト稱セラレシ者ト雖モ遙ニ
 之ニ及バザルナリ濠州ノミノ富ヲ以テスルモ今日ニ於テ
 ハ往時ノ印度ノ富ニ對スルニ足レリ而シテ此等ノ泉源ヨ
 リ富ヲ得シ所ノ人々ハ概チ活潑ニシテ政治思想ヲ有シ議
 院ノ權力ヲ以テ助成シ得ル如キ事業ニ從事シ又名譽ヲ好

ムヲ以テ固ヨリ選舉者ノ利害ト感情トニ訴ヘテ代議士ク
ラント勉ムルノカアルナリ而シテ此等ノ候補者ハ若シ自
家ノ功德ヲ以テ選舉ヲ制スル能ハザルトキハ金錢ヲ以テ
之ヲ購買スルノ資力ニ乏シカラズシテ其鉅万ノ富ハ以テ
選舉者ノ慾心ヲ引クニ足レリ此ノ如ク社會ノ金満家ヲ大
ニ増加シタルヲ以テ賄賂ヲ行フノ資力ヲ増シ又選舉者ノ
數ヲ加ヘタルガ爲メニ賄賂ヲ行フ可キノ區域ヲ廣メタリ
而シテ今日ニ於テハ未ダ選舉者ニ對シテ斯カル懇望ヲ爲
ス能ハザラシムルホドニ城市ノ選舉者ヲ増加シテ以テ十
分ニ以上ノ弊害ノ勢力ヲ制スルニ至ラザルナリ
事情此ノ如クナルヲ以テ爲メニ賄賂ヨリ道德上及ヒ社交
上ニ生ズル所ノ弊害ヲ獎勵スルアル可シ然リト雖トモ之

シガ爲メニ政治上ニ生ズルノ弊害ニ至テハ左マデニ著大
ナラザルナリ往時ニ在テハ下院議員ハ諸種ノ私曲手段ニ
因テ其坐席ヲ占領スルヲ得タルナリ然レトモ一千八百三十
二年後ニ於テハ斯カル醜陋ナル手段ニ因テ坐席ヲ得ル者
ハ全議員中ノ一小部分ニ過キザルナリ往時ニ於テハ自由
ニ選出セラレタル議員ハ私曲ヲ行テ選舉セラレタル議員
ニ對シテ決シテ權衡ヲ保ツト能ハザリシト雖モ今日ニ於
テハ甲者ノ勢力ヲ以テ乙者ヲ壓服スルニ至レリ且又賄賂
ヲ行テ選舉セラレタル議員ノ如キモ其政治上ノ舉動ニ至
テハ選舉ノ時ニ行ヒタル不善ノ爲メニ大ニ影響セラルハ
者ニ非ザルガ如シ八十年前ニ在テハ國王若クハ其宰相ノ
權勢ニ因テ議員ノ可否決ヲ左右スルヲ得タリト雖モ今

日ニ於テハ議員ハ其主義トスル所ニ從ヒ官民ノ別ナク各種ノ政党ニ屬セリ蓋シ今日ノ議員ハ富裕ナルヲ以テ官位及ビ恩典ヲ受ルヲ得ルモ敢テ之ヲ欲セズ又爵位ノ如キモ之ヲ望ムヲ甚ダ稀レニシテ説ヲ狂ゲテ時ノ政府ヲ贊助スルガ如キヲアルナク何レノ政党タルヲ問ハズ唯自家ト政治上ノ意見ヲ同フスル所ニ合シ以テ公正ニ政治上ノ義務ヲ尽セリ

一千八百三十二年後ニ於テ不正ナル弊習ノ屢々露發セシハ甚ダ恥ヅ可キヲナリトス然レモ其最モ甚シキ例ヲ示セシ者ハ從來惡評ノアリシ所ノ城市ニシテ此等ノ城市ハ改革條例ニ於テ姑ク之ヲ存セシ所ノ者ナリトス而シテ其最モ公然不正ヲ行テ羞ルヲ知ラザリシ者ハサツドブリー

サツドブリー
及ビセントア
ルハンスノ免
許ヲ剝奪セル

ノ城市ナリ該城市ニテハ改革條例後ト雖モ尙ホ依然トシテ不正ノ行ハレシヲ以テ終ニ其罰トシテ其免許ヲ失フニ至レリセントアルハンスノ城市ニ於テモ殆ド之ニ讓ラザルノ不正行レテ數年後ニ至リ等シク其免許ヲ剝奪セラレタリ又ウルクウツクスタツフォルドイプスウツク等ニ於テモ不正ナル弊習露發セリ而シテ自治市邑ニ於テ選舉者中最モ賄賂ノ弊習ニ汚サレタル者ハ自由市民ニシテ改革條例ニ於テ此等ノ自由市民ノ權利ヲ維持セシガ故ニ彼輩ハ依然トシテ之ヲ濫用セリヤーマウスニ於テハ自由市民ハ一般ニ醜陋ナル處置ヲ行ヒシガ故ニ議院ノ條例ヲ以テ悉ク該市ノ自由市民ノ免許ヲ剝奪シタリ然レモ賄賂ヲ受ルハ決シテ自由市民ノミニ限ラザルナリ改革條例ニ因テ新ニ

選舉權ヲ與ベタル十磅ノ家宅所有者ノ如キモ屢々不正ノ
 行爲アリテ之ニ選舉權ヲ與ルホドノ價格ナキ者アリ蓋シ
 惡例ニ導カレ選舉者ノ少數ナルニ就セラレテ終ニ德義心
 ナシテ所ノ不正ナル誘惑ノ爲メニ動サル、ニ至ルナリ而
 シテ斯カル弊習行ハル、ト雖モ尙ホ全ク其免許ヲ剝奪セ
 ザル可ラザルホドニ甚シカラザル選舉區ニ於テハ一時議
 員選舉ノ令狀ヲ停止シテ以テ之ヲ罰セシヨ亦多シトス
 是ヲ以テ議院ニ於テハ此ノ羞ツベキ弊習ヲ發見シ及ビ匡
 正センガ爲メニ更ニ有効ナル策ヲ設ンコト勉メタリ令狀
 ナ停止シ最惡ノ選舉區ノ免許ヲ剝奪スルノミニテハ未ダ
 足レリトモザルナリ下院ト選舉ノ新法トノ信用ヲ完カラ
 シメシハ此惡ム可キ選舉權ノ濫用ヲ匡正スルニ於テ一

賄賂ノ弊ヲ防
ガントスルコト

一千八百四十
一年賄賂禁制
條例案

層有効ナル策ヲ立テズンバアル可ラサルナリ
 此事ニ關シテ第一ニ提出セラレタル議案ハ一千八百四十
 一年ノジョヨン、ラスセル公ノ議案ナリ蓋シ賄賂ヲ行テ坐席
 ナ得タル議員中ニテモ當時選舉調査委員ニ於テ行ヒタル
 証據規則ノ爲メニ覆ハレテ其罪証ノ露顯ヲ免レシモノ多
 シトス即チ選舉調査委員ハ若シ賄賂ヲ行ヒタリトノ告訴
 ナ爲ス者アルトキハ先ヅ第一ニ其被告人ガ現任國會議員
 ノ代辦人若クハ議員候補者ノ代辦人ニテアリシトノ實証
 ナ豫メ得ンコトヲ求メタリ(此事ハ必シモ不當ナリトモザル
 ナリ)而シテ其代辦人タリシコトノ証ヲ得ルニ非サレバ委員
 ハ賄賂ノ告訴ヲ調査スルコトヲ拒ミタリ蓋シ被告人ニシテ
 委託ヲ受タルノ代辦人ニ非ザル以上ハ彼レ賄賂ヲ行フモ

選舉上ニ關係アル可ラザレバナリ故ニ若シ豫メ此證據ヲ
 舉タル能ハザルトキハ賄賂ノ告訴ハ地ニ墮チテ全ク無効
 トナル者ニシテ此證據ヲ舉ル能ハザルノ場合多キガ故ニ賄
 賂ヲ行ヒタル議員ト雖モ其坐席ヲ保ツトテ得又賄賂ヲ受
 タル選舉者モ其露顯ヲ免ル、ヲ得ルナリ故ニ斯ク告訴ノ
 失敗スルトナリ避ケンガ爲メニ一千八百四十一年ノ條例ヲ
 以テ全ク調査ノ順序ヲ變更シ委員ヲシテ豫メ代辦人ニテ
 アリシトシテ證據ヲ求ルヲナクシテ直ニ賄賂ノ告訴ヲ受理
 セシメ而シテ此等ノ告訴ヲ受理シタル上ニテ代辦人ヲ使
 用セシメテ明證若クハ暗證アルヤ否ヤナ一般ノ事實ニ徵
 シテ判斷セシムルコトヲセリ是ヲ以テ仮令ヒ代辦人ニテ
 アリシトシテ證據ヲ舉ル能ハザルトキト雖モ苟モ賄賂ヲ行

フトキハ何人ノ之ヲ行ヒタルニ拘ラズ證據人之ヲ告發シ
 テ下院ニ報告セラル、トナレリ
 此條例ハ賄賂ノ露顯ヲ便ニシタリト雖モ又一方ニ於テハ
 此條例ハ往々現任ノ國會議員ニ對シテ過嚴ノ結果ヲ生ズ
 ルコトアリトス代辦人ニテアリシトノ實証ナクモ單ニ推決
 ニ因テ判斷ヲ下ストトナリシガ故ニ國會議員ハ賄賂ヲ行
 ヒシコトヲ自ラ知り又ハ之ニ一致シタリトノ實証ナクモ全
 ク自家ノ委託ヲ爲セシニ非ザル人ノ行爲ノ爲ニ其坐席ヲ
 失フニ至ルコトアリ委員ハ此條例ヲ實行スルニ於テ議員ヲ
 曲庇スルノ意ナキノミナラズ却テ嚴刻ニ失スルノ弊アリ
 キ又證據規則ヲ修整シテ直接ニ現任議員及ビ候補者ニ就
 テ密問ヲ爲スヲ得ルコトナセシガ故ニ之ガ爲メニ偶然ニ

一千八百四十
二年及ヒ五十
二年ノ賄賂禁
制條例

大ニ賄賂ノ弊習ヲ穿鑿スルノ便ヲ加ヘタリ
一千八百四十一年ノ條例ニ次ギ翌年更ニ三條例ヲ制定シ
選舉調査委員ニ於テ既ニ審問ヲ決了シタル後又タハ賄賂
ノ告訴ヲ願下ケタル後ニ於テ更ニ其賄賂ヲ穿鑿スルノ手
續ヲ設ケタリ然レモ此條例ハ良効ナカリシヲ以テ一千八
百五十二年ニ至リ更ニ一條例ヲ制定シテ上下兩院ノ要求
ニ從ヒ國王ニ於テ選任スル所ノ委員ヲシテ最モ嚴密ニ弊
習ヲ探查セシムルノ方法ヲ設ケタリ議院ハ賄賂ヲ穿鑿シ
若シ議員ノ之ニ與リシ者アルトキハ之ヲ罰スルニ於テ毫
モ熱心ノ不足ヲ示サザリシト雖モ賄賂ノ罪業ヲ制止シ醜
陋ナル選舉者ヲ罰スルニ至リテハ其處置ノ甚ダ十分ナラ
ザル者アリ委員ニ於テ賄賂ヲ告發スルモ往々十分ノ罰ヲ

行フニ至ラズシテ止ムコアリカシタリ
ル選舉ノ時ニ於テ百五十五名ノ選舉者ガ賄賂ヲ受納シ又
他ノ選舉ノ時ニ於テ七十九名ノ選舉者ガ之ヲ受納シ又マ
ルドンニ於テ七十六名ノ選舉者ガ之ヲ受納シバルンステ
イプルニ於テハ三百五十五名ノ選舉者ガ之ヲ受納シケム
ブリジニ於テハ百十一名ノ選舉者ガ之ヲ受納シキングス
トシアボンヒルニ於テハ八百四十七人ニ下ラザル選舉者
ガ之ヲ受納シタルコアリ而テ該城市ニ於テハ三回ノ選舉
ニ於テ二万六千六百零六磅ヲ費シタリ二千八百五十四年
ニ至リ此等ノ城市ニ於テ賄賂ノ行ハル、ヲ制止シ且有罪
ノ証アル選舉者ノ撰權ヲ剝奪セントノ種々ノ議案出デ
タリ然レモ以上ノ調査ヲ行ハシメタル條例ニ於テ賄賂ノ

証據ハナラズ所ノ選舉者ハ無害保証ヲ求ムルノ權アリ
 小定メタルヲ以テ此等ノ選舉者ノ罪犯ヲ罰センガ爲メニ
 其選舉權ヲ剝奪スルコト能ハズトノ論出テ、此論ハ遂ニ行
 ハレシガ故ニ以上ノ諸議案ハ悉ク之ヲ取消スニ至レリ
 千八百五十八年ニ至リ委員ハガルウェイノ百八十三名ノ自
 由市民カ賄賂ヲ受納シタルコトヲ報告セシガ故ニ該城市ノ
 自由市民ノ免許ヲ剝奪ス可シトノ議案ヲ出セシ者アリシ
 小雖此以上ト同一ノ理由ニ因リ此議案モ通過スル能ハザ
 リキ
 一千八百五十九年ニ至リクローゼスタインノ舊市ニ關シテ
 非常ノ醜弊露發セリ該市ハ久來醜弊ノ常ニ行レシ所ニシ
 テ一千八百十六年ニ於テ或ル選舉ノ時一人ノ候補者ニシ

一千八百五十
九年クローゼ
スターノ選舉

テ二万七千五百磅ヲ費セシコトアリ又一千八百十八年ニ於
 テ他ノ一人ノ候補者ハ一万六千磅ヲ費セリ而シテ今一千
 八百五十九年ノ選舉ニ於テ賄賂ヲ受納セシ選舉者二百五
 十人アリテ之ニ賄賂ヲ行ヒタル者八十一人アリシコト發覺
 セリ
 此時ニ至ルマデハ斯カル醜弊ノ著明ニ行ハレシ場所ハ何
 レモ一千八百三十二年前ヨリ既ニ代議士ヲ選出セシ所ノ
 場所ナリシニ一千八百六十年ニ至リテ改革條例ニ因テ新
 ニ免許ヲ與ヘタル人口ニ富ミ商業ニ榮ユル所ノウェイクフ
 ールドノ城市ニ於テ亦斯カル弊習ノ大ニ行ハル、トノ歎
 ズ可キ事實ヲ發見シタリ該城市ニ於テ賄賂ヲ受納セシ選
 舉者ハ十六名アリテ之ニ賄賂ヲ行ヒタル者九十八名以上

一千八百五十
九年ウェイク
フィールドノ選
舉

ノ多キニ至リ以テ候補者ノ熱心ナルヲ見ル可キナリ
 此等ノ弊習ノ行ハル、地方ヲ輕ク罰スルノ手段トシテ
 口トセスタト及ビウチスルトニ關シテハ一時議員
 選舉ノ令狀ヲ停止シタリ然レモ下院ハ此等ノ場合ニ關シ
 テモ尙ホ従前ノ如ク露顯セシ所ニ弊害ヲ永遠ニ匡正スル
 ノ策ヲ施ス能ハザルナリ
 一千八百五十四年三月至リ選舉上ニ賄賂ノ行ハルヲ防シ
 ガ爲メニ更ニ全体ニ通ズル所ノ條例ヲ設テ即チ此條例
 ニ因リ候補者ハ公然自ラ委托ヲ爲シタル代辦人及ビ選舉
 検査官ノ手ヲ經ルニ非ズレバ一切選舉上ノ費用ヲ拂フ能
 ハザルトナシ且此等ノ費用ヲ各々廣告セシムルトナ
 セリ蓋シ此等ノ保証ヲ要スルトキハ濫費ヲ制シテ正當

一千八百五十
四年醜弊禁制
條例

費用ヲ獎勵スルシミナラズ正當ノ費用以外ハ之ヲ費ス能
 ハザルニ至ルベシト期圖セシト雖モ此條例ハ清廉ノ風ヲ
 養成スルニ於テ左マデノ實効ヲ奏スル能ハザルキ
 此條例ハ時々之ヲ延續シ一千八百五十八年三月至リ之ヲ修
 整シタリ蓋シ選舉者ニ旋費ヲ贈與スルノ正當ナルヤ否ヤ
 ハ毎回ノ委員互ニ其說ヲ異ニシテ久シク論議ノ存スル所
 ノ点ナリトス旋費ヲ與ルハ賄賂ヲ隱蔽スルノ手段タルヤ
 モ知ル可ラズ又旋費ヲ與ルハ選舉者ニシテ適宜ニ其選舉
 權ヲ行ハシメシガ爲メニハ正當ノ贈與ナルヤモ知ル可ラ
 ズ而シテ一千八百五十四年ノ條例ニ於テハ未ダ此疑問ヲ
 一定セザリシト雖モ或ル法院ニ於テハ選舉者ノ選舉場ニ
 赴クノ費用ヲ供セシガ爲メニシテ不正ニ選舉ヲ誘惑セシ

一千八百五十
八年ノ賄賂禁
制條例○選舉
者ノ旋費

賄賂ノ事ニ關

加爲メニスルニ非ザル以上ハ旋費ヲ贈與スルモ之ヲ賄賂
 ト見做テ可ラズトノ判決ヲ爲セリ是ヲ以テ一千八百五十
 八年ノ條例ハ此判決ノ主義ニ準據シテ候補者若クハ書面
 ヲ以テ其委託ヲ受タル代辨人ガ選舉場ニ赴クノ旋費ヲ選
 舉者ニ贈與スルヲ許セリ然レトモ一層此主義ヲ確守セシメ
 シガ爲メニ旅費トシテ金錢ヲ直接ニ選舉者ニ與ルヲ禁
 シタリ斯ク用心ヲ加ヘタリト雖モ尙ホ旋費ノ贈與ヲ許ス
 トキハ隨テ選舉費用ヲ増加スルノ傾向アリトノ論ハ當時
 及ビ其後ニ於テモ屢々起レリ而シテ此事ハ大ニ疑議ノ存
 スル所ナルヲ以テ將來立法院ニ於テ再ビ之ヲ討議スルニ
 至ル可シト思ハル、ナリ
 此等ノ條例ノ主趣トスル所ハ候補者ガ正當ニ費シ得ベキ

スル立法ノ主
趣

費用ヲ確定シテ其費用ノ計算ヲ公告セシメントスルニア
 リ故ニ不法ナル費用ヲ拂フコトニ抗セント決心セル候補者
 ニ對シテハ安全ヲ與ヘ又法律ヲ犯サント欲スル所ノ候補
 者ニ對シテハ少クモ多少ノ迷惑ヲ蒙ラシムルナル可シ然
 レモ爾後選舉調査委員及ビ時々ノ委員ガ屢々賄賂ヲ發見
 セシテ見レハ此等ノ條例ハ賄賂ヲ制止スルノ効ナキコトハ
 十分之ニ証ス可キナリ大選區ニ於テモ往々賄賂ノ行ハ
 ル、ナキニ非ズト雖モ其最モ甚シク行ハル、ハ小城市ニ
 アリトス故ニ選舉者ノ數ヲ増加シ選舉區ヲ廣ムルトキハ
 多少賄賂ノ弊ヲ救醫スルヲ得ベシト思ハル、ナリ此惡ム
 可キ弊ヲ制止センガ爲メニ爾後更ニ有効ナル策ヲ計畫シ
 スルト雖モ輿論ヲ以テ嚴ニ賄賂ヲ非責スルニ至ラザル間

ハ此等ノ策モ亦實効ヲ奏スル能ハザル可キ歟往時法律ニ於テ決闘ヲ以テ謀殺ノ罪ト同視シタリト雖モ死刑ノ力ヲ以テスルモ尙ホ之ヲ制止スルコト能ハザリキ然ルニ社會ノ輿論ニ變ジテ古來ヨリ名譽ナリトセシ所ノ決闘ノ風習ヲ非難スルニ至リ此風習俄ニ止ミタリ而シテ若シ賄賂ヲ與フル者アルトキハ之ヲ受納スルコト選舉者ハ必ズ常ニ之アル可キナリ然レモ候補者ニ至テハ上等ノ階級ニ屬スルノ人ナルガ故ニ若シ社會ノ勢力ヲ以テスルトキハ之ヲシテ法律ト輿論トノ共ニ非認スル所ノ罪犯ヲ行フ能ハザラシムルニ至ル可キナリ

以上論ゼシ所ノ外ニ下院ノ組織ト選舉權ノ施行トニ關シテ一千八百三十三年ノ議院改革條例制定ノ前後ニ屢々討

議院ノ期限

議セラレタル種々ノ他ノ疑問アルガ故ニ茲ニ簡單ニ之ヲ論述セザル可カラズ

議院ノ期限ヲ短促ニスルコトハ最モ屢々世ノ主張セシ所ノ變革ノ一ナリトス一千六百九十四年前ニハ二トタビ選舉セラレタル議院ハ國王之ヲ解散スルニ非ザレバ在位國王殞落ノ時マデハ依然トシテ永續スル者ナリキチヤール二世ノ時ニ於テ一ノ議院ハ十八年間永續セシ者アリタリ毎三年改選條例(原註ウヰリアムマリー)共ニ制定セラレシ後ハ議院ハ解散ヲ命ゼラルコトナキ以上ハ三年間ヲ續キテ其期限ヲ終ルコトナレリシヨトシ一世ノ即位スルニ及ビ有名ナル毎七年改選條例ヲ制定シテ議院ノ期限ヲ七年トナシタリ此條例ハ便宜ナリトス理由ヲ以テ之ヲ支持シタリ

ト雖抑々之ヲ可決セシハ政事上ノ危険ノ際ニシテ止テ
 得ザルニ出シナリ即チ國民ハ未ダ一千七百十五年ノ叛乱
 ノ餘響ヲ全ク脱セズシテ政府ハ尙ホ僞王（按）子孫ヲ云フ第
 一篇ノ本文及ビノ党與ヲ恐レ世上騒然タルノ際ニ在テ之
 ナ制定セシ者ナリ
 シニ一シ二世ノ時ニ至リ毎七年改選條例ヲ廢止セント勉
 メタル者アリキ而シテ次代ノ初年ニ至リ長老役サウブリッ
 シ氏ハ議院ノ期限ヲ短促ニスルノ議ヲ出シ終ニ氏ノ死ス
 ルニ至ルマデハ毎年此議ヲ出サトルコアラザリキ一千七
 百七十七年ニ至リチャム公ハ最モ熱心シテ誠實ニ悟ル所
 アリシヲ以テ自ラ説ヲ變ジテ毎三年議院改選ノ説ニ一致
 スルコトヲ公言セリ而シテ爾後此問題ハ常ニ議院改革ノ方

案中ニ包入セラレニ至レリ一千七百九十二年ニ於テ人
 民ノ朋友ノ社團ニ於テ立テタル改革方案中ニ於テモ此事
 ナ論シ此年及ビ一千七百九十七年ニ於テグロト氏ガ代議
 制度改良ノ方案ヲ立テシ時ニモ議院ノ人民ニ對スル責任
 ナ増加スルノ一手段トシテ議院ノ期限ヲ短縮スルコトヲ主
 張シタリ斯ク議院ノ期限ヲ短縮スルコトヲ主張スル人々ノ
 中ニ於テモ毎年改選ヲ可トスル乎又ハ毎三年若クハ毎五
 年改選ヲ可トスル乎何年ノ期限ヲ適當トスル乎ニ關シテ
 ハ當時未ダ諸説一致セザリキ然レモ過激ナル改革方案中
 ニ於テハ概テ皆毎年改選ヲ主張シタリ
 更ニ近時ニ至リ毎七年改選條例ヲ廢止スルノ問題ハ政治
 上ノ一疑問トシテ下院ニ於テ穩當ニ屢々之ヲ討議シタリ

一千八百十七年ニ至リフルーバム氏ハ此事ニ關スル議案ヲ提出スルノ通知ヲ爲シタリト雖モ終ニ之ヲ提出セザリキ一千八百十八年ロベルトヘロン氏ハ此事ニ關スル議案ヲ提出スルノ通知ヲ爲シサミニエル、ロミリ、ト氏及ヒブルリハム氏ノ賛成ヲ得タリト雖モ敢テ下院多數ノ賛成ヲ得ズ又其注意ヲ喚起スルニ至ラザリキ而シテ此問題ハ束縛セラレテ議院改革條例制定後ニ至ルマデハ再起セザリシナリ而シテ一千八百三十三年同三十四年同三十七年ニ於テテンニグン氏ハ有力ニ此事ヲ主張シタリシニ毎テニ數多議員ノ賛成ヲ得タリト雖モ尙ホ過半數ヲ得ル能ハズシテ三十七年ノ如キハ僅ニ九名ノ多數ヲ爲メテ氏ノ議ハ廢棄セラレタリ然レモ曩ニ議院改革ヲ行ヒタル大政治家ハ一

每七年改選條

人モ此議案ヲ賛成セシ者アレナシ蓋シ改革條例ヲ爲メニ下院ノ人民ニ對スル責任ヲ大ニ増加シタルガ故ニ此等ノ政治家ハ議院ノ組織上ニ更ニ變革ヲ行フヲ要セスト思惟セシナリ一千八百四十三年ニ至リシヨルマン、クラフォード氏ハ再ビ此疑問ヲ出シタリト雖モ多クノ賛成ヲ得ズ最後ニ一千八百四十九年ニ至リテシニグンド、ニコウルト氏ハ五名ノ多數ヲ以テ此事ニ關スル議案ヲ提出スルノ許可ヲ得タリ然レモ斯ク意外ニ提出シ許可ヲ得タルニモ拘ラズ爾後此事ハ議院外ニ於テハ理論上ノ問題トシテ討議スル者アルニモセシ議院ニ於テハ姑ク此事ニ意ヲ注ガザルニ至リ

每七年改選條例ヲ廢止セザル可ラズトシテ屢々主張スル

例ヲ非トスル
ノ論

所ノ論據ハ、サウサニ世ヲ時ノ國會ガ自ラ自家ノ期限ヲ
 延長シタルハ其權ヲ濫用シタル者ニシテ、佞令ヒ當時此處
 置ニ出ルヲ必要アリシトスルモ此條例ノ如キハ固ヨリニ
 時ヲモラザル可ラズト云フニ在リ而シテ之ニ答ルノ
 論ニ曰ク若シ此事ハ不正ノ事ナリトスルモ其不正ヲ受タ
 ルハ當時ノ人民ニ在ルガ故ニ今之ヲ償フコト能ハズト然
 レモ當時該國會ガ其權ヲ濫用シタリト云フハ則チ國會ノ
 權力ヲ制限内ニ局束セントスル者ニシテ是レ固ヨリ憲法
 ノ認メザル所ナリ國會ハ特別ニ之ニ委托セラレタル有制
 限ノ權力ヲ有スル者ニ非ズシテ如何ナル法律ヲモ隨意ニ
 制定シ若クハ廢止スルノ最上權ヲ有スルナリ故ニ其議決
 セシ所ノ法律ト雖モ之ヲ變改スルヲ得ベキナリ蘇格蘭ノ

合併ト愛爾蘭ノ合併トハ殆ト百年ヲ隔テ、之ヲ成就セシ
 者ニシテ之ガ爲メニ兩國ノ國會ヲ廢絶シ又英蘭ノ國會ニ
 大變革ヲ起シ其緊要ナルハ毎七年改選條例ヲ制定シタル
 ノ比ニ非ズト雖モ先ヅ國會ヲ解散シテ然ル後此等ノ事ニ
 着手セシニハアラザルナリ而シテ毎七年改選ノ條例ノ如
 キモ若シ國會ニ於テ之ヲ望ムトキハ隨意ニ之ヲ廢止スル
 ヲ得ルナリ故ニ議院ノ期限ヲ短縮スルコト主張スルニハ
 便不便ノ論ノ外ハ別ニ論據アル可ラザルナリ
 然レモ此改革說ノ重モニ論據トスル所ハ人民ノ代議士ヲ
 シテ屢々其選舉者ニ訴ヘシメザル可カラズト云フニ在リ
 代議士ニ權力ヲ委托スル期限ノ短促ナルニ從ヒ其權力ヲ
 行フニ於テ戒慎ヲ加ヘ且輿論ニ從フ可シト云フニ在リ七

此改革ヲ非トスルノ論

年間人民ト獨立シテ宰相ト權勢ヲ受ル所ノ議院ハ之ニ信用ヲ置クニ足ラズト云フニ在リ又七年ノ長時限中ニ於テハ社會ノ事情モ變化シ初メ可トセシ所ノ議員ノ舉動モ後ニハ非トスル可シト云フニ在リ

是ニ反シテ改革ヲ非トスルノ説ニ曰ク實際ニ於テ如何ナル議院モ六年以上ニ永續セシ者ナシ屢々解散ヲ命ゼラルハガ故ニ議院ノ期限ハ平均三四年ニ過ぎザルコト往々之アリ故ニ議院ノ期限ヲ僅ニ三年ト定ルトキハ種々ノ事變ノ爲メニ屢々毎年改選ノ議院ト其實ヲ同フスルニ至ル可シ

現時ニ於テモ既ニ議院ノ改選ハ屢々之アリテ議院ヲシテ人民ニ對シテ責任ヲ有セシムルニ足レリ然ルニ更ニ改選ノ度數ヲ増ストキハ徒ラニ政治上ノ激騒ヲ煽起シ今日既

暗投票

ニ弊害アリトシテ苦情多キ選舉上ノ費用ヲ更ニ増加スルニ至ル可シト

近年ニ至テハ此改革ノ議ハ大ニ人望ヲ失フニ至レリ其然ル所以ノ者ハ理論上ニ於テ毎七年改選ノ議院ヲ可トスルニ因ルニアラズシテ實際ニ於テ下院ガ人民ニ對スルノ責任ヲ守リ人民正當ノ冀望ニハ速ニ之ニ從フニ至リタルガ故ナリトス此ノ他議院ニ於テ屢々討議シ選舉場公會新聞紙等ニ於テ世人ノ論議スル所ノ一ノ問題ハ暗投票ノ事ナリ議院改革條例ノ制定アリシ後直チニ該條例ニ因テ増加シタル選舉權ヲ自由ニ行フ能ハズトシテ愁訴アルニ至レリ

曰ク州郡ニ於テハ地主アリ市邑ニ於テハ富商アリテ選舉者ノ自由ノ意志ヲ抑制シ之ヲシテ自家ノ意見ト良心トニ

反シタル選舉ヲ爲サザルヲ得ザラシムト而シテ此等ノ弊
 ヲ救フノ策トシテ暗投票ヲ行ハザル可ラズト主張シ選舉
 權ヲ與フルモ自由ニ之ヲ行フノ手段ナキトキハ是レ殆ド
 選舉權ヲ與ヘザルニ異ナラズト公言セリ
 蓋シ地主富商等ノ權勢ヲ以テ選舉者ヲ束縛スルノ弊ハ當
 時ニ始マルニ非ズシテ往時ニ於テハ斯ク選舉者ヲ束縛ス
 ルハ財産ニ屬スル自然ノ權利ノ一ナリト認メラレタルナ
 リ僅少ノ地主ガ州郡ノ議員ヲ指名スルヲ得タルハ世ノ知
 ル所ニシテ此等ノ地主ガ其フリトホルド借地者ヲ選舉場
 ニ導クハ昔時蘇國山間ノ酋長ガ其種族ヲ邊境ノ攻戰ニ率
 井シニ異ナラザルナリ然レモ今日ニ於テハ更ニ新樣政界
 ヲ選舉上ニ行フニ至レリ蓋シ人民ノ選舉權ヲ有スル者大

ニ増加シ選舉者中ニ種々ノ新階級ヲ生ジタリ故ニ地主ト
 選舉者トノ政治上ノ聯結ハ大ニ緩弛シ最早地主ハ擅權ヲ
 有スル能ハザルガ故ニ他ノ手段ニ依テ之ヲ維持セント勉
 メタリ蓋改革條例ニ據テ選舉權ヲ與ヘシ所ノリースホル
 ド借地者ハ最も從屬ニシテ即チ最も保護ヲ要スルノ階級
 ナリトス故ニ勢ヒ地主ノ權ニ服セザルヲ得ザルナリシセ
 ロハ暗投票ヲ評シテ沈黙ナル自由ノ保固者ナリト云ヘリ
 而シテ今ヤ此手段ニ因テ選舉ノ自由ヲ保護セントセリ
 暗投票ヲ行ハントスル者ハ重モニ選舉者ヲシテ有權者ノ
 威迫ト不當ノ權勢トヲ免レシメントスルニ在リト雖モ又
 賄賂ヲ防グノ一手段トシテ之ヲ主張スル者アリ而シテ之
 ヲ非トスルノ論ハ極メテ多種ニシテ今簡單ニ之ヲ記スル

夫得ズト雖モ憶フニ其最モ重モナル者ハ左ノ一論ニアリ
 曰ク政治上ノ職務ハ凡テ公然之ヲ行フテ其責任ニ當ラザ
 ル可ラズ議院ノ討論ト可否決トハ悉ク之ヲ公ケニシテ人
 民ニ示セリ此ノ如ク主治者及ビ代議士ハ皆公然其職務ヲ
 行ハザル可ラザル者ナレハ選舉者ノ如キモ此規則ノ例外
 ニアラントチ求ムル能ハザルナリ然ルニ獨リ選舉者ノミ
 ハ秘密ニ職務ヲ行ヒ其責任ニ當ラズシテ可ナラン乎ト又
 理論ハ之ヲ措キ暗投票ノ實際ニ効驗ナキヲ説ク者アリ
 其論ニ曰ク選舉者ヲ威迫セント欲スルトキハ仮令ヒ暗投
 票ノ方法ヲ行フモ尙ホ選舉者ガ何人ヲ選舉セシカヲ探知
 スルノ手段ナキニ非ザル可シ又賄賂ノ如キモ暗投票ノ爲
 メニ之ヲ防グヲ得ザル可シ何トナレハ賄賂ヲ行テ選舉ヲ

得ント欲スル所ノ候補者ハ果シテ當選ヲ得タルトキハ賄
 賂ヲ與ヘ若シ當選ヲ得ザルトキハ之ヲ與ヘザル可シトノ
 約ヲ定メ以テ選舉者ヲシテ己ヲ選舉セシム可ケレバナリ
 ト
 蓋シ暗投票ヲ主張スル者ハ自家ノ主持スル所ノ方案ノ利
 益ヲ過言シ又之ニ抗スル者ハ其弊害ト危險トヲ過言セリ
 此事ノ利害ニ關シテハ誠實ナル改革者中ニ於テモ互ニ其
 見テ異ニスル所ニシテ時々其賛成者ノ數ト勢力トヲ大ニ
 増加スルイアリト雖モ其消長常ニ一定ナラザルガ故ニ激
 烈ナル政党ノ競争ヲ發スルノ際ニ於テ俄ニ之ヲ實行スル
 ニ至ルベキ乎將タ此事ハ實際ニ行ハレズシテ小冊子ノ記
 者及ビ討論會ノ理論上ノ一問題タルニ止ルベキ乎ハ眼ヲ

政治ニ注ク者ト雖ヒ從來之ヲ斷言スルヲ難シトセシ所ナ
 リ
 一千八百三十三年ニ於テグロート氏ハ暗投票ノ問題ヲ起
 シ爾來一千八百三十九年ニ至ルマデ數回ノ穩當ナル學術
 上ノ演說ヲ爲シテ常ニ暗投票ヲ主張セリ氏ノ演說ハ氏ノ
 博學ト多力トヲ証スルノミナラズ又氏ノ政治上ノ才能ヲ
 示ス者ナリトス(原註)暗投票ノ事ハ一千八百十七年項急進
 テ始テ主張セシ党政治家ガ其議院改革方案ノ一部トシ
 所ナリト云フ 氏ハ理論政治家タルノ安靜ニシテ且懇篤
 ナル精神ヲ以テ之ヲ主張セシ者ニシテ共和党タルノ激烈
 ナル氣質ヲ以テ之ヲ主張セシ者ニ非ザルナリ而シテ氏ガ
 誠實ニ此事ニ盡力セシガ爲メニ大ニ暗投票說ノ人望ヲ増
 シ議院内ニ於テモ許多ノ賛成者ヲ得ルニ至レリ氏ハ一千

八百三十三年ニ於テハ纔ニ百六人ノ賛成者ヲ得シノミナ
 リシニ一千八百三十九年ニ於テハ二百十六人ノ賛成者ヲ
 得ルニ至レリグロート氏カ議院ヲ去リシ後ト雖ヒ此說ハ
 擲棄セラレズシテ一千八百四十二年ニ至リウード氏ハ此
 說ヲ取リ一千八百四十八年以來ヘンリー、ベルクリー氏亦
 此說ヲ主張セリ氏ハ事實ト古事トニ富ミ加ルニ頓智ニ巧
 ニシテ數年間此說ヲ主張シタリト雖モ漸次其賛成者ヲ減
 スルニ至レリ
 一千八百四十八年ニ於テ氏ノ動議ハ五名ノ多數ヲ以テ通
 過セリ然ルニ一千八百四十九年ニハ五十一名ノ多數ヲ以
 テ廢棄セラレ一千八百五十二年ニハ百二名ノ多數ヲ以テ
 廢棄セラレ一千八百六十年ニハ百七名ノ多數ヲ以テ廢棄

セラレタリ民權主義ノ議案ニ關シテ斯ク俄ニ輿論ノ反動セルヲ見ルトキハ其議案ハ進マズ退カズシテ安定ノ位置ニアリト云ハシヨリ寧ロ其到底失敗スルニ至ルノ傾向アルヲ証ス可キニ似タリ而シテ後年政治上ノ事情ノ一變セシマデハ更ニ數多ノ賛成ヲ得テ此問題ヲ再起スルニ至ラザリキ

財産ヲ以テ被選權ヲ制限スルヲハ百五十年間種々ノ方法ヲ以テ行レシ所ニシテ議院改革條例ノ制定後全廢セラレハ至レリ抑々土地ヲ以テ國會議員タルノ資格ヲ制限セントノ策ヲ初テ立テシ所以ノ者ハ職トシテ選舉上ニ賄賂ヲ行ハルハ防グテ目的トセシナリ城市ニ於テ醜弊ノ行ハルハ者ハ地方ニ關係ナキ富有ナル商人ガ之ニ侵入スル

被選權制限ノ諸條例

ニ原因スルガ故ニ地主ニ於テ之ヲ嫉惡シ遂ニ其競争者ニ對シテ此制限ヲ課セントスルニ至リシナリ一千六百九十六年ニ於テ初テ土地ヲ以テ被選權ヲ制限セントノ議案ヲ出セシトキ非常ノ賛成ヲ得テ速ニ上下兩院ヲ通過セリ然レニ王ハ寧ロ其心ヲ商人ニ寄セシテ以テ此議案ヲ制可セザリキ翌年ニ於テ同一ノ議案下院ヲ通過シタリト雖モ上院ニ於テ之ヲ否決シタリ蓋シ今ヤ上院ハ若シ小額ナル土地ノ制限ヲ立ルトキハ爲メニ地方紳士ノ權力ヲ増加ス可シト雖モ自家ノ親族ト從者トヲ以テ小城市ヲ充クシムル所ノ大貴族ノ權力ハ爲メニ減ゼサルヲ得ズト思惟スルニ至リタレバナリ

地主ノ外ハ何人タリモ下院ノ議員タルヲ得ザラシムルノ

政界ハ終ニ女王アンノ世ニ於テ之ヲ實行シ爾後一千八百三十八年ニ至ルマデハ之ヲ保續シタリ此年ニ至リ此專占偏倚ノ主義ヲ廢シ更ニ新制限ヲ立テ、從來ノ土地制限金額ト同額ノ財産ヲ有スル者ハ不動産ヲ以テ之ヲ有スルト動産ヲ以テ之ヲ有スルト動産不動産ヲ合シテ之ヲ有スルトトテ問ハズ凡テ議員タルヲ得ベキトナセリ一千八百五十八年ニ至リ財産ヲ以テ被選權ヲ制限スルヲハ終ニ全ク之ヲ廢止スルニ至レリ最初ノ方法ノ如ク土地ヲ以テ制限ヲ立ルハ有害ニシテ且不正ノ事タリトス而シテ此等ノ制限ハ議員終始之ヲ避逃スルヲ常トセリ抑々此制限ハ初メ嫉妬心ニ出シ者ニシテ其嫉妬心ノ消滅シタル後ト雖モ其制限ノ尙ホ久ク存セシ者ハ畢竟急進ナル改革党ガ過度ニ

選舉ノ方法ヲ改良セシム

此事ヲ重大視シテ却テ其廢止ヲ妨ゲタルニ因ル者ニシテ若シ此事ナクンハ速ニ之ヲ廢止スルヲ得シナル可シ此制限法律ノ如キハ原ト大影響ヲ生ゼザル小事ニ過ギズト雖モ夫ノ「チャーチスト」ノ趣意書中此法律ヲ廢止スルヲ以テ議院改革ノ五要点ノ一ナリト公言セシヲ見レバ政治家中ノ着實ナル輩ニ在テハ又此法律ヲ以テ政体ヲ護衛スルノ効アル者ト思惟セシモ敢テ怪ムニ足ラザルナリ(按一千八百三十二年)議院改革條例ノ行ハレタル後幾時ナラズシテ職人等集合其趣意書ニ普通選舉ノ改革ヲ主張シテ「チャーチスト」ト稱スル等ノ事ヲ掲ゲシガ故ニ本議員ニ財產ノ制限ヲ廢セシトスルヲ亦其文ニ云々セシナリ

一千八百三十二年ノ改革條例後ニ至リ選舉ノ方法ニ種々ノ小改良ヲ加ヘタリ選舉者ヲ記録スル方法ノ如キモ之ヲ

改良シテ其手續ヲ簡易ニセリ又投票場ノ數ヲ増加シ州郡ノ選舉ノ如キモ城市ト同シク其投票日數ヲ減シテ一日間ト定メタリ大學校ノ如キモ從前ハ投票日數ハ十五日間ナリシニ一千八百五十三年ニ至リ其日數ヲ五日間ニ減ズルヲ喜ンデ諾シタリ（按英國ニ於テハ大學校ヨリモ國會議員ヲ選出スルナリ）又此外ニ舊來ノ或ル習慣ヲ變革シテ更ニ選舉事務ヲ速クシメタリ舊來ノ習慣ニ因リ新議院ノ召集狀ヲ發セシ時ヨリ其會合スルニ至ル迄ノ期限ハ四十日間ト定マリ蘇格蘭ノ合併後ハ更ニ之ヲ増シテ五十日間トスルノ習慣ナリシト雖モ鐵道及ビ電信ノ行ハル、今日ニ於テ斯ク多日ヲ要スルノ理ナキヲ以テ之ヲ減シテ三十五日トナセリ又他ノ舊來ノ一習慣ヲ廢シテ更ニ其手續ヲ簡易ニセリ即チ從

後代ノ議院改革案

前ノ如ク州長ノ手ヲ經テ選舉ノ令狀ヲ各選舉事務官ニ達スルテ廢シテ直接ニ之ヲ選舉事務官ニ達スルコトナセリ一千八百三十三年ノ改革條例ヲ以テ制定セシ所ノ如ク一層全体上ノ改革ヲ代議制度ニ施サントスルコトハ内閣及ビ議院ノ屢々計畫スル所ナリトス改革條例制定後數年間ハ此條例ニ因テ折角ニ制定セシ所ヲ再ビ攪動スルヲ大ニ忌ムノ情アリテ是亦人情ノ然ル可キ所ナリトス舊民權黨ハ此條例ヲ以テ恰モ憲法上ノ一大典ノ如クニ思惟シ之ヲ永久ニ維持セシコトヲ勉メタリ然レモ議院ニ於テ屢々討論ヲ爲シ數回ノ激騷ヲ經歷シ議院外ヨリノ迫促ヲ受ケ終ニ民權黨中ノ一層改進主義ヲ取ル所ノ人々ハ自黨中ノ一層着實主義ヲ取ル所ノ人々ニ對シテ勝ヲ制シ一千八百五十一年

年ニ至リ好機會ヲ俟テ再ビ議院改革ノ事ヲ計畫セシメテ
約シタリ

一千八百五十
二年ノ改革案

一千八百三十二年ノ條例制定後二十年ヲ經過シシヨ
ズセル公ハ前約ヲ履ミ更ニ之ヲ改正セントノ議ヲ出セリ
抑々該條例ハ精密ニ國內各地ノ人口ノ多少ニ應ジテ選舉
權ノ分配ヲ改正セシ者ニハアラズ該條例ハ公平代議ノ理
論ニ根據スル者ニ非ザルガ故ニ敢テ新制度ヲ興サントス
ルヲ爲サズノ唯選舉制度ノ弊害ノ最モ甚シキ者ヲ醫スル
ヲ目的トセリ即チ貴族及ビ地主ノ小數ノ權勢ヲ以テ代議
ヲ左右セシメズシテ之ヲ中等社會ノ手ニ移セリ然レモ該
條例ニ於テハ獨立シテ其選舉權ヲ行フ能ハザル所ノ小城
市ノ如キモ尙ホ多ク之ヲ存置シ人口稠密ニシテ代議士選

出ノ權ヲ與ヘザル可ラザル如キ地方ト雖モ尙ホ之ヲ與ヘ
ザル者アリ該條例ニ於テハ新ニ選舉權ヲ與ヘシ者アリト
雖モ勞役者ニハ之ヲ與ヘザリキ故ニ今ラスセル公ハ其最
初ノ方案ニ關シテ爾後發見セシ所ノ此等ノ缺点ヲ補ハン
トセリ

公ハ現存ノ城市中五百人以下ノ選舉者ヲ有スル者ハ悉ク
之ヲ近邊ノ地方ニ合併シテ共ニ議員ヲ選舉セシメビルケ
シヒド及ビバルンリニ新ニ議員選出ノ免許ヲ與ヘン
トテ主張セリ蓋シ改革條例制定後二十年間ニ國內ノ人口
富資專業ハ大ニ増加セリ教育及ビ政治上ノ進歩ハ甚ダ速
ニシテ先代ニ比スレバ大ニ智識ニ富ム所ノ人民ヲ養成シ
勞役社會ノ有様ノ如キモ著大ノ進歩ヲ呈シタリ故ニ選舉

權ノ區域ヲ廣メテ從來區域外ニ擯斥セシ所ノ諸階級ヲ人
 民ニ選舉權ヲ與フルハ正當ノ事ニシテ決シテ危險アル可ラザ
 ルニ至レリ就中熟練ナル匠工ノ如キハ生計ニ餘裕ヲ生シ
 自家ノ仲間中ニ於テ高位ヲ占ムルヲ見レバ是レ其智識ニ
 富ミ品行善良ナルノ証ニシテ之ニ選舉權ヲ與ヘザル可ラズ
 即チ此等ノ人民ニ選舉權ヲ與ルノ目的ヲ以テ公ハ城市ニ
 於テハ一ケ年五磅ノ價格アル家宅ノ居住者ニ凡テ選舉權
 ヲ與ヘ又々州郡ニ於テハ一ケ年二十磅ノ價格アル土地ノ
 「テナント、アト、ウヰル」借地者及ビーケ年五磅ノ價格アル土地
 ノ「コピトホルド」借地者并「リースホルド」借地者ニ凡テ選舉
 權ヲ與ヘンコトヲ主張セリ又一年四十志ノ直稅ヲ大政府ニ
 拂フ所ノ者ニモ選舉權ヲ與ヘントセリ然レモシヨシヨシ、ラス

一千八百五十
 四年ノ改革案

セル公ノ内閣ハ後直ニ退職シ此議案ハ第二讀會ニ至ラズ
 シテ之ヲ取消シタリ
 一千八百五十四年ニ至リジヨシ、ラスセル公ハアベルデー
 ン公ノ内閣ノ一員トシテ前回ニ比スレバ更ニ包大ナル一
 議案ヲ出セリ此議案中ニハ總計ニ於テ二十九名ノ代議士
 ナ出ス所ノ十九ノ小城市ノ免許ヲ剝奪シ又他ノ三十三ノ
 城市ヲシテ各々一名ノ代議士ヲ減ゼシメ又六十ノ空虛ナ
 ル議員席ヲ州郡、大城市、法學校、倫敦ノ大學校ニ分配スルコ
 ト等ヲ含メリ又此議案ニ於テ州郡ノ選舉權ヲ廣メテ一ケ年
 十磅ノ價格アル土地ノ「テナント、アト、ウヰル」借地者ニ凡テ之
 ヲ與ヘ城市ニ於テハ一ケ年六磅ノ地方稅ヲ拂フ者ヘ凡テ
 選舉權ヲ與ヘタリ又家宅所有者ニ選舉權ヲ與ルノ過嚴ナ

ル畫一ノ方法ヲ修正セシガ爲メニ更ニ種々ノ新選舉權ヲ加ヘタリ即チ一年百磅以上ノ給料ヲ取ル者、株券ヲ有シテ十磅ノ割賦ヲ得ル者、四十志ノ直税ヲ拂フ者、各大學校ヲ卒業セシ者、貯藏銀行ニ五十磅以上ヲ預ケシ者等ハ凡テ選舉權ヲ適當ニ使用シ得ルコソ証トナスニ足レリトセリ又少數ノ選舉者ト雖モ尙ホ之ヲシテ自家ノ代議士ヲ出スヲ得セシメンガ爲メニ選舉上ニ新主義ヲ行ハントセリ即チ或ル州郡及ビ他ノ人口稠密ノ場所ハ各々三名ノ代議士ヲ出ス者ナリト雖モ各自ノ選舉者ハ悉ク三名ノ代議士ヲ投票スルヲ得ズシテ單ニ二名ノミヲ投票スルヲ得ルコトナセリ選舉ノ此新主義ハ二三ノ學者ニ於テ有力ニ之ヲ主張セシ所ナリト雖モ當時議院内ニ於テハ此說ヲ贊成スル者甚

一千八百五十九年ノ改革案

ダ少カリキ蓋シ議員ハ常ニ多數ヲ以テ各疑問ヲ決スルコトニ慣レタレバナリ而シテ以上ノ議案ハ露士亞トノ戰爭ノ爲メニ其討議ヲ延期スルニ至レリ是ニ次ギ一千八百五十九年ニ至リデルビー公ノ内閣ニ於テ他ノ改革案ヲ提出セリ公ハ一千八百三十二年クロー公ノ内閣同僚中ノ最モ能辨ニシテ且活潑勇敢ナル政治家ノ一人ニシテ今ヤ最初ノ改革條例ニ抵抗セシ所ノ保守党ノ領袖トナレリ然レモ該党ハ議院ノ判斷ヲ尊重シテ爾後該條例ヲ許容セシハ甚ダ感ズベキ所ナリトス而シテ此際國王ヨリ該條例ヲ改正セシコトヲ懲慝セシコト三回ニ及ビ前後相踵テ立チシ所ノ三内閣ハ何レモ此改正ヲ行ハシコトヲ約シタル者ナレバ今ヤ改革ヲ施スハ政治上止ムヲ得ザル所

トナレリ而シテ内閣諸相ノ今議決セシ所ノ議案及ヒ其議案ノ根據トスル所ノ主義ハダズレリト氏巧ニ之ヲ説明セリ此議案ハ單ニ人口ト財産トノミヲ目安トシテ代議制度ノ全面ヲ變改セントスル者ニハ非ザルナリ然レモ以上ノ二大元素ト其他社會ノ種々ノ利害及ビ諸階級ノ人民ヲ代表スルコトヲ目安トシテ代議制度上ニ一大改革ヲ施サントスル者ナリ此議案ハ一城市タリモ全ク其免許ヲ剝奪セシ者ナシト雖モ六千人以下ノ人口ヲ有スル所ノ十五ノ城市ヲシテ各々一名ノ代議士ヲ減セシメントセリ而シテ八個ノ空虛ナル議員席ヲ人口ニ富ム所ノヒークンシャー、サウス、ランカシャー、ミッドルセツキスノ諸州ニ配當シ又殘餘ノ七個ノ議員席ハ之ヲ新城市ニ配當セントセリ蓋シ此議案

ノ說ニ據レハ以上ノ改正ヲ行フトキハ爲メニ國內種々ノ利害ヲ十分ニ代表スルヲ得ルニ至ルト云ヘリ
 ジョンスラスセル公ノ前二回ノ議案ニ於テハ城市ノ選舉制限ヲ輕減センコトヲ計畫セリ然ルニ今回ノ議案ニ於テハ之ヲ輕減スルコトヲ爲サザリシト雖モ州郡ノ選舉制限ヲ城市ノ選舉制限ト同一ナラシメントセリ從來城市ニ於テハ家宅居住ニ根據シテ制限ヲ立テ州郡ニ於テハ土地所有ニ根據シテ制限ヲ立テタル者ナリト雖モ今此區別ヲ廢止シテ同一ノ制限ヲ州郡及ビ城市ニ行ハントセリ而シテ市邑ニ居住スル所ノ四十志ノ借地料ヲ拂フ所ノフリーホルド借地者ハ從來州郡ノ選舉區ニ屬セシト雖モ更ニ之ヲ市邑ノ選舉區ニ移サントセリ又一千八百五十四年ノ議案ト同様

ニ種々ノ新選舉權ヲ起シ且前議案ヨリモ更ニ其種類ヲ増シタリ即チ一年十磅ノ割賦金ヲ得ル者貯藏銀行ニ六十磅ヲ預クル者一年二十磅ノ年金ヲ得ル者即チ一週期ニ八志ヲ得ル者各大學校ノ卒業生各種名稱ノ傳教師各種ノ法律專業家許可ヲ受タル醫師樞密院ノ証書ヲ有スル所ノ學校教師等ハ其何レノ地方ニ住スルヲ問ハズ選舉權ヲ有スルコトナセリ又投票用紙ヲ選舉者ニ回付シ以テ選舉ノ手續ヲ便ニセントセリ

此方案ハ二方ヨリ攻撃ヲ受タリウオルポール氏及ビヘンリ
ー氏ハ共ニ勢力アル内閣員ナリシガ州郡及ビ城市ノ選舉權ヲ同一ナラシメントノ説ニ驚キテ内閣ニ占ムル所ノ職ヲ辭シタリ又政府反對党ニ於テモ同一ノ論據ヲ取リ四十

此議案ニ對スルノ駁論

志ノフリートホルド舊地者チシテ其州郡ノ選舉權ヲ失ハシムルコトニ抗シ城市ノ選舉制限ヲ輕減センコトヲ主張セリ政府ハ一方ニ於テハ内閣員ノ辭職ノ爲メニ其勢力ヲ減シ又一方ニ於テハシモンラスセル公ガ議案ノ第二讀會ニ於テ動議セシ所ノ強固ナル修正説ニ應ゼザルヲ得ザルナリ蓋シ公ノ議ハ政府反對党ノ意見ヲ代表スル者ナリトスウオルポール氏及ビヘンリー氏ハ州郡及ビ城市ノ選舉制限ヲ同一ナラシムルトキハ人民中代議士ヲ有スル者ト之ヲ有セザル者トノ間ニ一大區畫ヲ立ル者ナリトシテ之ヲ非難セリシヨンラスセル公モ斯カル主義ヲ施ストキハ結局畫一選舉區ノ制ヲ來タスニ至ルベシトナシ以上二氏ノ駁論ニ同意セリ公ハ又二ノ論據ヲ取リテ議案ヲ攻撃セリ其一ニ

曰ク四十志ノブリールホルド借地者ハ州郡選舉人中ノ最モ
 改進主義ノ元素ナルガ故ニ決シテ之ガ選舉權ヲ剝奪ス可
 ラズト又其一ニ曰ク此等ノ借地者ヲ城市ノ選舉區ニ入ル
 トキハ舊時其恩人ノ權力ヲ増加スルノ機關トナリシ所
 ノボルゲイジテニューア借地者ノ如クニ投票偽造ノ弊ヲ來
 タスニ至ル可シト公ハ又癸キニ十磅ノ家宅所有ヲ以テ城
 市ノ選舉制限ト定メシ以來選舉權ヲ與ルニ足ル所ノ數多
 シ人民ノ階級起リシガ故ニ今ニシテ依然此制限ヲ行フハ
 不可ナリト論ジタリ七夜ノ討論ヲ經ルノ後修整說ハ三十
 九名ノ多數ヲ以テ可決セラレタリ政府ハ此決議ニ於テ敗
 ヲ取リシヲ以テ議院ヲ解散シテ人民ニ訴ヘント決心セリ
 然ルニ新選議院ノ會合スルニ及ビ宰相ノ党ハ選舉ニ於テ

一千八百六十
年ノ改革案

多數ヲ制スルヲ能ハザリシヲ以テ下院ハ王ニ呈スルノ答
 詞ヲ議スルノ際宰相ヲ信ゼザル旨ヲ公言スルノ修整說ヲ
 加ヘ之ガ爲メニ宰相ハ直ニ其職ヲ失ハザルヲ得ザルニ至
 レリ
 ジョシラスセル公ハパーメルストン公ノ内閣ノ爲メニ代
 リテ今一度改革ノ問題ヲ再起シタリ一千八百六十年三月
 一日公ハ一議案ヲ提出シタリ此議案ハ公ガ前年ノ議案ヲ
 破ランガ爲メニ動議セシ所ノ修整說ノ精神ニ根據スル者
 ナリト雖モ一千八百五十二年及ビ同五十四年ノ議案ニ比
 スレバ要點ニ於テ大ニ異ナル所アリ此議案ハデルビー公
 ノ内閣ノ策ト同シク小城市ハ凡テ之ヲ存置スルコトナシ
 一モ免許ヲ剝奪セザリシト雖モ七千人以下ノ人口ヲ有ス

ル所ノ二十五ノ城市ヲシテ各々其代議士ノ一人ヲ減セシ
メントセリ而シテ今回ノ免許剝奪ハ一千八百五十四年ノ
議案ニ於テ主張セシ所ニ比スレバ大ニ寛ナル者アリトス
蓋シ此外ニ更ニ他ノ場所ノ免許ヲ奪フトキハ此等ノ場所
ノ代議士ハ政府反對ノ保守党ト相結ンデ此議案ヲ廢棄ス
ルノ恐アルコトハ公ノ自ラ明言セシ所ナリ夫レ此時ニ於テ
一身上及ビ一地方ノ利益ニ抗爭スルコト雖モ其困難ナル
コト尙ホ且此ノ如キ者アリトセハ是ヨリ先キ一千七百八十
四年ノピット氏及ビ一千八百三十二年ノグレイ公カ當リ
シ所ノ困難ハ實ニ測ル可カラザル者アリシナルベシピッ
ト氏ハ代償ヲ與ヘテ敵党ノ賛成ヲ買ハントシタレモ其効
ナクグレイ氏ハ強固ナル人民ヲ賛助ニ因リテ終ニ敵党ヲ

壓服シ得タリ而シテ今ヤ再ビ代償ヲ與フルノ策ニ出ルガ
如キハ固ヨリ之ヲ行フ可ラザル所ニシテ強固ナル人民ノ
賛助モ亦之ヲ得ルコト能ハザルナリ
今回ノ議案ニ於テハ十五個ノ空虛ナル議員席ヲ州郡ニ配
當シ十個ノ議員席ヲ大都府及ビ新ニ造リタル城市ニ配當
シタリ從來州郡ニ於テハ五十磅ヲ選舉制限トシタレモ更
ニ其區域ヲ廣メテ十磅ノ土地借有者ハ凡テ之ヲ有スルコ
トナシ又城市ニ於テハ從來十磅ヲ選舉制限トシタレモ更
ニ其區域ヲ廣メテ六磅ノ價格アル家宅所有者ハ凡テ之ヲ
有スルコトナサントセリ斯ク城市ノ選舉權ヲ廣ムルハ數
多ノ勞役者ニ選舉權ヲ與ヘンガ爲メタルコトハ議案起草者
ノ明言セシ所ナリ而シテ斯ク新選舉權ヲ與ルガ爲メニ市

府及び城市ヲ合シテ二十万人ノ選舉人ヲ増加スルノ計算ナリキ然レモ一千八百五十四年及同五十九年ノ議案ニ於テ與ヘシトセシ所ノ夫ノ諸種ノ選舉權ハ今回ノ議案ニ於テハ再ビ之ヲ唱ヘザリキ此等ノ選舉權ハ虛想ノ選舉權ナリトシテ嘲笑セラレ投票ヲ偽造スルノ手段ナリトシテ危疑セラレシヲ以テ今ヤ之ヲ除棄シタリ而シテ善良ナル市民タルト否トヲ判別スルニ於テ粗ナリト雖モ尙ホ有形ニシテ見易キ所ノ目安即チ財產制限ヲ頑固ニ維持シタリ此議案ハ多數ノ反對若クハ内閣ノ更迭ノ爲メニ取レシニアラズト雖モ議事ノ遲延セルト他ニ緊急ナル問題ノ速ニ議セザル可ラザル者アリシトノ故ヲ以テ終ニ廢滅ニ歸シタリ此議案ハ五月三日ニ至リ六タビ議事ヲ延期シタル後

議事遲延ノ爲
メニ此議案ノ
廢滅ニ歸セシ
ト

始テ可否ノ起立ヲ取ルヲ要セズシテ其第二讀會ヲ開キタリシガ之ヲ委員會ニ付スルニ及ビ再ビ討論起リ而シテ六月十一日ニ至リ終ニ此議案ヲ取消シタリ又蘇格蘭及び愛爾蘭ノ代議制度ヲ改正スル議案ノ如キモ提出セラレテ討議ヲ俟チタリト雖モ終ニ討議ニ付スルニ至ラズシテ是ヨリ前ニ既ニ廢棄セラレタリ

議院改革ニ對スルノ此等ノ障害ハ如何ナル困難ト不便トナ蒙ラシムルニモセヨ苟モ政府ニ於テ下院内ノ自家ノ党衆ト人民トノ誠實ノ贊助ヲ受ルヲ得バ此等ノ障害ヲ排除スルハ實ニ易々ノ事ナリシナル可シ然ルニ下院内ニ於テハ改革ヲ主張スルト公唱スル所ノ人ト雖モ尙ホ之ヲ忌ムノ狀ナシトセズ假令之ヲ忌ムニ至ラズトスルモ之ヲ冷遇

議院改革ヲ施
スノ障害

シテ敢テ贊助スルヲ爲サバ、リキ又全國人民中ニ於テハ一般ニ此事ニ意ヲ注ガヌシテ新聞紙ハ皆緘黙シテ或ハ改革說ノ勢ヲ弱ハメ請願書ヲ呈出スル者アルナク政治上ノ集會ヲ開ク者アルナク人民ハ毫モ運動ヲ爲サバ、リキ然ラバ何故ニ人民ハ此事ニ頓着セザリシ乎未ダ三十年ニ至ラズシテ何故ニ輿論ニ此ノ如ク著大ノ變化ヲ呈シタル乎蓋シ人民ハ一般ニ一千八百三十二年ノ改革條例ニ因リ代議制度ノ大目的ヲ達シテ良善ナル政府ヲ興シ得タリト信ゼシニヨルナリ良善ニシテ且大利アル條例既ニ制定セラレタリ而シテ輿論ハ之ニ満足セシナリ我代議制度ハ理論上ニ於テハ未ダ完美ノ點ニ達セシニ非ズト雖モ議院ハ國民ノ利害ノ感情トニ一致スルニ至レリホルク氏嘗テ議院ノ良

否ヲ測ルノ尺度ヲ立テ、曰ク下院ノ德精神、本質ノ存スル所ハ國民ノ感情ヲ代表スルノ寫眞トナルニアリト而シ今ヤ我議院ハ殆ド此點ニ達シタリト云フ可シ抑々自由ヲ愛スルハ我英人ノ精神ニシテ終古變ゼザルナリ故ニ英人ハ不公平ヲ憤リ公私ノ不正ハ共ニ之ヲ惡ムト甚シト雖モ理論上ノ苦情ノ爲メニ動カサル、トハ稀シナリトス而シテ固定セル政府ノ下ニ生テ營ムガ故ニ敢テ摸形ノ完備セル政体ヲ立テントシテ欲セザルナリ又高等ニ開化セル社會ノ親和ニ羈絆セラレテ敢テ共和政治ヲ主張スルヲ爲サ、ナルナリ且ヤ一千八百三十二年後ハ政權重モニ中等社會ノ手ニ歸シ勞役者ヲ雇使スル所ノ財主ニ於テ代議ヲ左右シ得ルニ至リシガ故ニ此等ノ財主ハ人數上ニ於テ自家ヲ壓倒

スル所ノ勞役者ニ政權ヲ分ツヲ欲セザルナリ故ニ勢ヒ現
 存ノ選舉制度ヲ變セザルヲ得ズ彼輩ハ現ニ政治上ノ特權
 ナ專有セリ而シテ之ヲ維持センヲ欲スルナリ
 又他ノ原因ノ茲ニ看過ス可ラサル者アリ累代ノ内閣ニ於
 テ以上陳述セシ如キ穩當ナル改革方案ヲ主張スルノ際ニ
 在テ民間ニ於テハ下等人民ニ政權ヲ與ヘテ大ニ多數ノ勢
 カヲ增加センガ爲メニ共和主義ニ根據シテ計畫セシ所ノ
 他ノ策ヲ討議セル者アリキ而シテ此等ノ說ノ行ハル、ガ
 爲メニ穩和ナル改革家及ビ既ニ政權ヲ享有セル人民ハ益
 ヲ選舉權ノ區域ヲ廣ムルヲ忌ムニ至レリ又一層全体上
 ノ改革方案ヲ主張スル政治家ノ如キモ自家ノ策ヨリモ因
 循ナル他ノ策ヲ容ル、ヲ肯ンゼズト雖モ寧ロ一時此問題

ナ遷延シテ輿論ニ先進スル所ノ自家ノ方案ヲ實行スルニ
 適當ナル時機ノ到ルヲ俟ツヲ欲セザルニアラザルナリ
 斯ノ如クニシテ議院改革ノ問題ハ各政黨ノ默諾ニ因リテ
 再ビ一時之レヲ束擱スルニ至レリ

明治十五年九月三十日版權免許
明治十六年十一月三十日出版

壹圓
定價金

譯兼出版人

神奈川縣平民

島田三郎
東京麴町區中六番町卅一番地

兵庫縣士族

乘竹孝太郎
東京牛込區牛込北町卅四番地

經濟雜誌社
東京々橋區彌左衛門町七番地

秀英舍
東京々橋區西紺屋町廿七番地

發行
發兌

賣

大坂心齋橋通北久太郎町

柳原喜兵衛

全 南壹丁目

松村九兵衛

全 唐物町四丁目

森本太助

全 備後町四丁目

梅原龜七

捌

尾州名古屋本町八丁目

片野東四郎

東京日本橋區通一丁目

北畠茂兵衛

全 全通二丁目

稻田佐兵衛

全 全通二丁目

小林新兵衛

書

全 全通三丁目

丸屋善七

全 全南傳馬町一丁目

叢書 四

全 淺草區茅町二丁目

北澤伊八

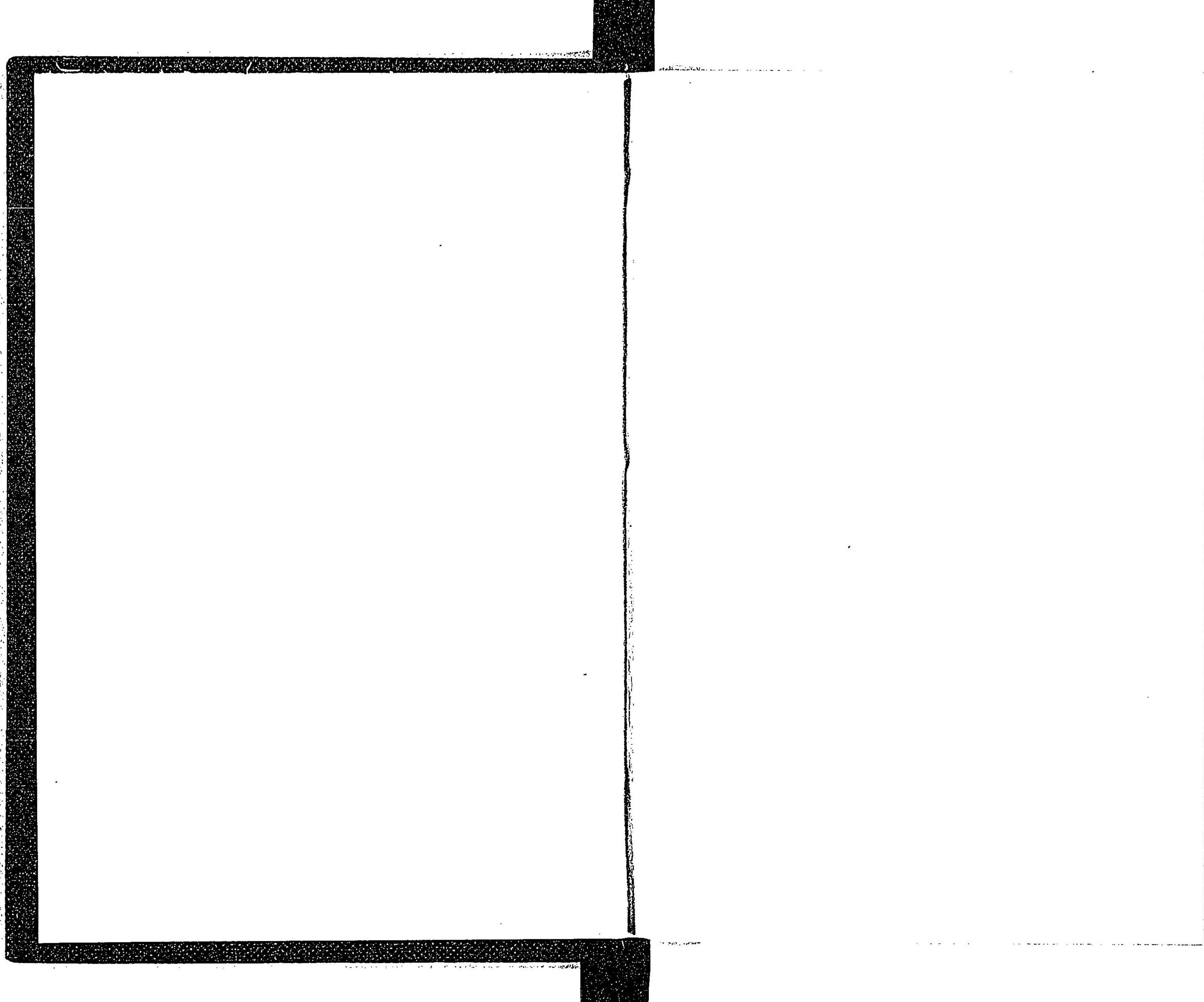
肆

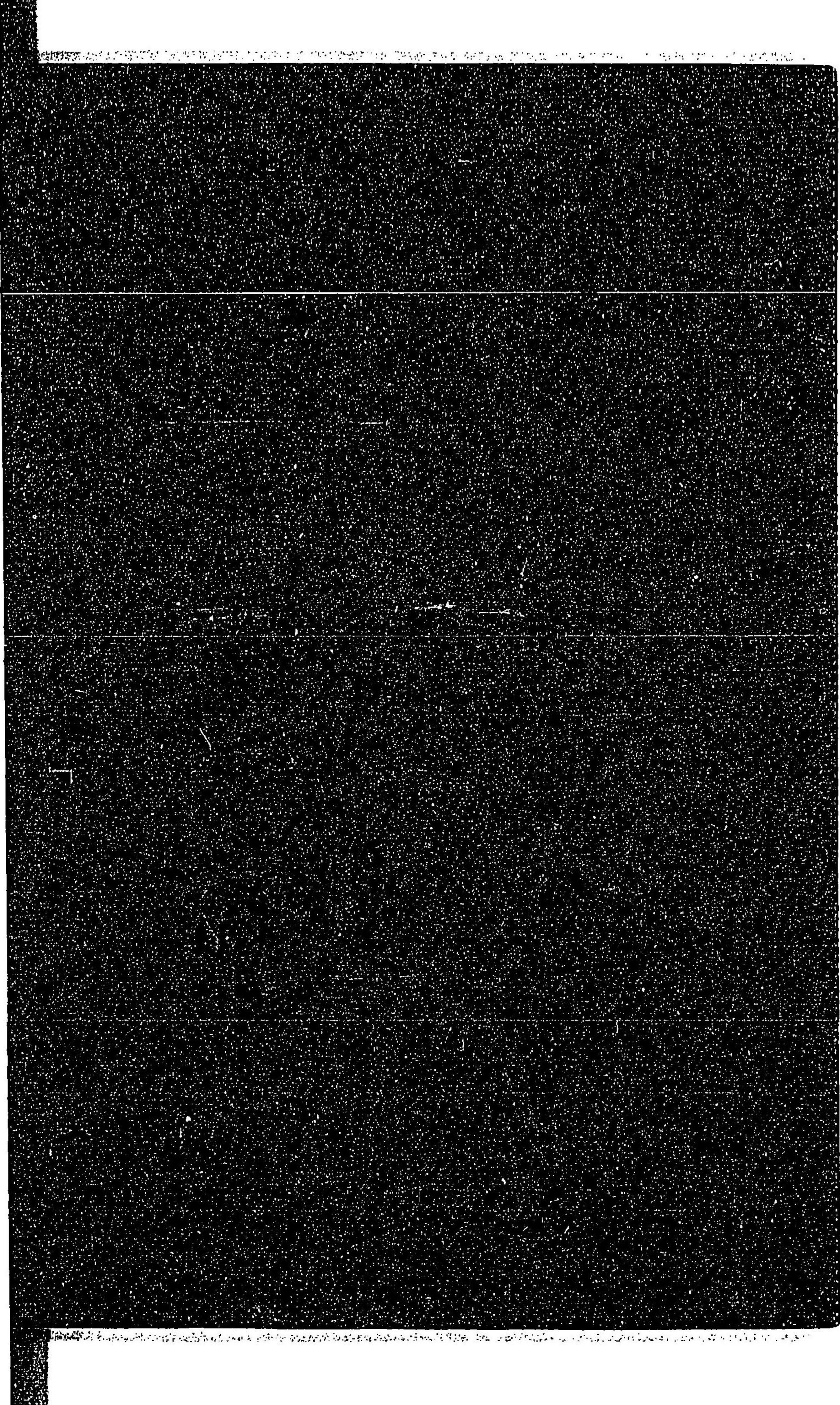
全 芝區三嶋町

山中市兵衛

全 全太神宮前

牧野吉兵衛





27
1